

平成 23 年度理事会, 評議員会ならびに総会における報告承認決定事項

第 54 回社団法人日本糖尿病学会年次学術集会は, 羽田勝計会長主宰のもとに平成 23 年 5 月 19, 20, 21 日の 3 日間, さっぽろ芸術文化の館, 札幌市教育文化会館, ホテルロイトン札幌他において開催された。これに先立つ理事会, 評議員会は 5 月 18 日ホテルロイトン札幌にて, また総会は 5 月 19 日さっぽろ芸術文化の館にて開催された。

1. 第 54 回社団法人日本糖尿病学会年次学術集会の経過報告 (羽田勝計会長)

2011 年 5 月 19 日から 21 日の 3 日間, さっぽろ芸術文化の館, 札幌市教育文化会館, ホテルロイトン札幌などの 5 施設で, 第 54 回日本糖尿病学会年次学術集會を開催致しました。

開催予定日を間近に控えた本年 3 月 11 日に東日本大震災が発生し, 甚大な被害がもたらされました。一時は年次学術集會の開催自体についても危ぶまれたところでしたが, 門協理事長のご指導を始めとした関係各方面の先生方のご尽力により, 無事開催することができ, 大震災 2 ヶ月後にも拘わらず約 9,200 名のご参加を頂きました。これも偏に皆様方のご協力の賜物と感謝いたしております。

さて, 本年次学術集會は, 「糖尿病と合併症: 克服への Prospects」をテーマに致しました。新たな糖尿病診断基準が策定され, HbA1c 値の国際標準化と呼応して, 糖尿病の早期診断が可能になり, また, インクレチン関連薬の登場が, 薬物療法のパラダイムシフトを引き起こし, 血糖コントロールのみならず膵β細胞の保護をも目指した治療が可能になりつつあります。さらに, 合併症においても, 特に腎症ではその寛解すら可能な時代になり, まさに, 糖尿病と合併症の克服へ, 期待の日が射してきたと言えるのではないかという観点からのテーマの設定でした。

具体的には, 新たな Leading-edge Lectures をはじめ, 22 のシンポジウム, 1 つのワークショップなどを企画致しました。一般演題には 2,281 題と, 過去最多のご応募を頂き, いずれのセッションにおいても, 活発な討論が行われました。さらに, 東日本大震災の発生を受けて企画致しました緊急シンポジウム「災害時の糖尿病医療」, 特別セッション「災害時のチーム医療」にも多数の方々のご参加と活発なご討論を頂きました。両セッションが, 既に日本糖尿病学会で開始されている「災害時の糖尿病医療」に関する調査研究事業の一助となれば, 年次学術集會の主催者として存外の

喜びであります。昨年に引き続き行いました Debate Session では, 活発な討議が展開され, 定着しつつあるセッションのひとつと考えられました。教育講演では, 会場入口に専門医研修のレコーダーの設置が試みられ, 今後の本格的導入に向けての課題抽出の良い機会となりました。また, 本年次学術集會より, 糖尿病学における若手研究者の育成を目的に, 「若手研究奨励賞 (Young Investigator Award: YIA)」が創設されました。最終発表演題として 15 題が選ばれ, 厳正な審査の結果, 最終的に, 5 名の若手研究者へ YIA が授与されました。これらの若手研究者による今後の糖尿病学への貢献が期待されるところであります。(本号 p654)。

また, 東日本大震災の復興支援の一助とすべく, 義援金を募集いたしました所, 会期内に 865,463 円の義援金を頂きました。本義援金は, 日本糖尿病協会が受付けておられる義援金に加えさせて頂きました。この場をお借り致しまして厚く御礼を申し上げます。

未曾有の大災害にも拘わらず, 無事に, また盛會のうちに幕を下ろすことができましたのは, 偏に皆様方のご支援とご協力の賜と心より御礼申し上げます。

2. 平成 22 年度事業報告および庶務報告 (加来理事)

●事業報告

1) 第 53 回年次学術集會

会 長 加来浩平 (川崎医科大学糖尿病・代謝・内分泌内科)

会 期 平成 22 年 5 月 27 日 (木) ~ 5 月 29 日 (土)

会 場 ホテルグランヴィア岡山・岡山コンベンションセンター・岡山全日空ホテル・岡山市デジタルミュージアム・ターミナルスクエア・ラヴィール岡山・岡山国際交流センター

参加者 10,500 名

○会長講演 糖尿病管理のあり方を考える～薬物介入パラダイムの理想を求めて

○特別講演 Mechanisms of pancreatic beta cell death and role in diabetes

他 4 題

○特別講演 Insulin resistance and atherosclerosis: The missing link

○特別講演 医薬ターゲットとしてのオレキシン系 ～睡眠覚醒と体脂肪量の制御～

○特別講演 Regulation of glucagon secretion—a sadly neglected field of diabetes research?

○学会賞受賞講演

ハーゲドーン賞 糖尿病大血管障害 ～特異性と
その進展予防～

リリー賞 ①日本人糖尿病患者の特徴と病態に
関する臨床疫学的研究

②2型糖尿病のインスリン抵抗性にお
ける炎症の役割

○シンポジウム

1. 日本人糖尿病の新診断基準をめぐって
他 19 題

○ワークショップ

1. 医療連携, チーム医療のなかで CDEJ の役割
をどこまで拡大できるか

○Debate Session

1. 食後高血糖の評価時間, どちらがより適切か:
1 時間 vs. 2 時間? 他 15 題

○Meet the Expert

1. East-West differences in diabetes epidemiol-
ogy: Obesity, beta-cell function, insulin sensi-
tivity 他 11 題

○教育講演

1. 糖尿病療養指導士に期待されるもの ～今, 改
めて自らに問うその専門性とは? ～
他 8 題

○糖尿病劇場

続・糖尿病劇場

○口演発表 1,052 題

○ポスター 820 題

2) 第 45 回「糖尿病学の進歩」

世話人 山田研太郎 (久留米大学内科学講座内分
泌代謝内科部門)

会 期 平成 23 年 2 月 18 日 (金)・19 日 (土)

会 場 福岡国際会議場 (福岡市)

参加者 3,868 名

①第 1 日目

A 会場

○レクチャー: 糖尿病診療に必要な知識 1

1. 2 型糖尿病の血管合併症—JDCS の成果

○シンポジウム: 糖尿病の診断基準と HbA1c の
標準化

1. 糖尿病の新しい診断基準 他 3 題

○レクチャー: 糖尿病診療に必要な知識 4

1. 糖尿病網膜症治療の進歩 他 2 題

B 会場

○レクチャー: 糖尿病診療に必要な知識 5

1. 糖尿病妊婦の管理 他 2 題

C 会場

○レクチャー: 糖尿病診療に必要な知識 2

1. 1 型糖尿病の診断と治療 ～カーボカウ
ントを応用したインスリン療法～ 他 5 題

○レクチャー: 糖尿病研究の新しい展開 1

1. インクレチン研究の新たな展開 他 7 題

D 会場

○レクチャー: 糖尿病診療に必要な知識 3

1. 耐糖能異常と動脈硬化—加齢の関与—
他 5 題

○レクチャー: 糖尿病療養指導に必要な知識 2

1. 合併症を防ぐ血圧・脂質管理 他 7 題

E 会場

○シンポジウム: 糖尿病患者の心理と指導

1. 行動変容を生み出すエンパワーメント
他 3 題

○ワークショップ: デイバート型ワークショップ

1. 間食を止められない患者にどう対応する
か? 他 2 題

②第 2 日目

A 会場

○シンポジウム: 糖尿病の足病変とフットケア

1. 糖尿病患者へのフットケア実技
他 3 題

○シンポジウム: インクレチン系の機序とその糖
尿病治療への応用

1. 膵β細胞におけるインクレチン作用
他 4 題

B 会場

○レクチャー: 糖尿病診療に必要な知識 6

1. 内分泌性糖尿病の病態 他 5 題

C 会場

○レクチャー: 糖尿病研究の新しい展開 2

1. 1 型糖尿病の遺伝因子と膵島抗原
他 5 題

○レクチャー: 糖尿病診療に必要な知識 8

1. 糖尿病と動脈硬化: 久山町研究
他 5 題

D 会場

○レクチャー：糖尿病診療に必要な知識 7

1. スルホニル尿素素の適切な使用法 他 5 題

○レクチャー：糖尿病療養指導に必要な知識 4

1. 日本糖尿病療養指導士の役割と展望 他 5 題

E 会場

○レクチャー：糖尿病療養指導に必要な知識 3

1. 高齢者の糖尿病 他 5 題

3) 地方会活動

1. 第 44 回日本糖尿病学会北海道地方会

会 期 平成 22 年 11 月 14 日 (日)
 会 場 北海道大学学術交流会館
 会 長 小池隆夫(北海道大学大学院医学研究科
 内科学講座・第二内科)

参加者 662 名

2. 第 48 回日本糖尿病学会東北地方会

会 期 平成 22 年 11 月 6 日 (土)
 会 場 仙台国際センター
 会 長 岡 芳知(東北大学大学院医学系研究科
 分子代謝病態学分野)

参加者 803 名

3. 第 48 回日本糖尿病学会関東甲信越地方会

会 期 平成 23 年 1 月 29 日 (土)
 会 場 都市センターホテル
 会 長 芳野 原(東邦大学医学部内科学糖尿病
 代謝内分泌科)

参加者 2,002 名

4. ①第 81 回日本糖尿病学会中部地方会

会 期 平成 22 年 4 月 17 日 (土)
 会 場 金沢大学医学部講義室
 会 長 武田仁勇(金沢大学医学部臓器機能制御
 学(内分泌代謝内科))

参加者 629 名

- ②第 82 回日本糖尿病学会中部地方会

会 期 平成 22 年 10 月 30 日 (土)
 会 場 じゅうろくプラザ
 会 長 武田則之(朝日大学歯学部附属村上記念
 病院教授)

参加者 705 名

5. 第 47 回日本糖尿病学会近畿地方会

会 期 平成 22 年 11 月 13 日 (土)
 会 場 大坂国際会館
 会 長 西沢良記(大阪市立大学大学院医学研究
 科代謝内分泌病態内科学)

参加者 2,106 名

6. 第 48 回日本糖尿病学会中国・四国地方会

会 期 平成 22 年 10 月 29・30 日 (金・土)
 会 場 愛媛県民文化会館 (ひめぎんホール)
 会 長 大澤春彦(愛媛大学大学院医学系研究科
 分子遺伝制御内科学・臨床検査医学(糖
 尿病内科))

参加者 768 名

7. 第 48 回日本糖尿病学会九州地方会

会 期 平成 22 年 10 月 29・30 日 (金・土)
 会 場 別府国際コンベンションセンター
 B-ConPlaza
 会 長 吉松博信(大分大学医学部総合内科学第
 一講座)

参加者 1,447 名

4) 分科会活動

- 第 25 回日本糖尿病合併症学会

会 期 平成 22 年 10 月 22・23 日 (金・土)
 会 場 びわ湖ホール
 会 長 柏木厚典(滋賀医科大学)

参加者 567 名

5) 出版事業

- ①会誌「糖尿病」第 53 巻 4 号, サプリメント 1 (抄
 録集) ~ 第 54 巻 3 号を発行

Diabetology International Volume 1 Number 1 &
 2 を発行

- ②糖尿病患者向け指導書

i 糖尿病食事療法のための食品交換表 第 6 版
 200,000 部発行

ii 糖尿病治療の手びき 改訂第 54 版
 30,000 部発行

iii 糖尿病性腎症の食品交換表 第 2 版
 5,000 部発行

iv 糖尿病食事療法のための食品交換表 CD-ROM
 版 (ver. 4) 2,000 部発行

v 糖尿病性腎症の食品交換表 CD-ROM 版 (ver.
 2) 付き 増刷なし

vi Food Exchange List 増刷なし

vii 糖尿病食事療法のための食品交換表 活用編
 15,000 部発行

- ③医師, コ・メディカル向け指導書

i こどもの糖尿病・サマーキャンプの手引き 第
 3 版 増刷なし

ii 糖尿病食事療法指導のてびき 第 2 版
 2,000 部発行

iii 糖尿病療養指導の手びき 改訂第 3 版
 増刷なし

- | | | |
|--|-------------|---------------------------|
| iv 糖尿病治療ガイド 2008-2009 | 2,000 部発行 | 平成 22 年 8 月 28 日～29 日 |
| 糖尿病治療ガイド 2010 | 140,000 部発行 | ⑪第 27 回糖尿病 Up・Date 賢島セミナー |
| v 糖尿病学用語集 第 3 版 | 18,000 部発行 | 平成 22 年 8 月 28 日～29 日 |
| vi 糖尿病遺伝子診断ガイド 第 2 版 | | ⑫第 35 回 腎不全対策を語るつどい |
| | 増刷なし | 平成 22 年 9 月 19 日 |
| vii 糖尿病専門医研修ガイドブック 改訂第 4 版 | 2,500 部発行 | ⑬第 8 回 1 型糖尿病研究会 |
| | | 平成 22 年 10 月 10・11 日 |
| viii 小児・思春期糖尿病管理の手びき 改訂第 2 版 | 増刷なし | ⑭糖尿病シンポジウム 奈良会場 |
| | | 平成 22 年 10 月 24 日 |
| ix 糖尿病学の進歩 44 集 | 1,200 部発行 | ⑮東京新聞健康講座「糖尿病の正しい知識 2010」 |
| x 糖尿病の療養指導 2010 | 1,200 部発行 | 平成 22 年 10 月 26 日 |
| xi 科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン 2011 | 5,000 部発行 | ⑯糖尿病予防キャンペーン 東日本地区講演会 |
| | | 平成 22 年 10 月 30 日 |
| xii Treatment Guide for Diabetes 2007 | 増刷なし | ⑰第 10 回日本先進糖尿病治療研究会 |
| | | 平成 22 年 11 月 6 日 |
| 6) 糖尿病週間 | | ⑱平成 22 年度「食育健康サミット」 |
| 平成 22 年 11 月 8 日～14 日, 第 46 回全国糖尿病週間の行事が一斉に行われた。テーマは「A1c あなたを守る 指標です」。 | | 平成 22 年 11 月 18 日 |
| 7) 国際糖尿病連合会議 | | ⑲第 22 回分子糖尿病学シンポジウム |
| ・IDF-WPR Executive Board Meeting (2010. 10, 釜山, 大韓民国) への出席 | | 平成 22 年 12 月 4 日 |
| ・IDF-WPR Council Meeting (2010. 10, 釜山, 大韓民国) への出席 | | ⑳第 22 回日本糖尿病性腎症研究会 |
| 8) 普及・啓発・後援事業 | | 平成 22 年 12 月 4 日～5 日 |
| ①第 46 回全国糖尿病週間の共催 | | ㉑糖尿病シンポジウム 石川会場 |
| 期 間 平成 22 年 11 月 8 日～14 日 | | 平成 22 年 12 月 19 日 |
| ②日本糖尿病協会への協力 | | ㉒糖尿病シンポジウム 福岡会場 |
| 「さかえ」および「つぼみ」発行の企画等 | | 平成 23 年 3 月 21 日 |
| ③世界糖尿病デーへの参加 | | ㉓糖尿病シンポジウム 富山会場 |
| 第 4 回「世界糖尿病デー」関連イベントの開催 | | 平成 23 年 3 月 27 日 |
| 平成 22 年 11 月 14 日 | | ㉔「糖尿病の検出及び発症予防」事業 |
| ④糖尿病重症化予防 (フットケア) 研修会 | | 通年 (平成 23 年 3 月 31 日まで) |
| 平成 22 年 3 月 20 日～21 日 | | |
| ⑤2010 年度全腎協全国大会 in 和歌山 | | |
| 平成 22 年 5 月 23 日 | | |
| ⑥「糖尿病市民公開講座」糖尿病治療で悩んでいませんか? | | |
| 平成 22 年 7 月 4 日 | | |
| ⑦世界口腔保健学術大会記念「第 16 回口腔保健シンポジウム」 | | |
| 平成 22 年 7 月 10 日 | | |
| ⑧糖尿病 市民公開講座 —あなたが糖尿病といわれたら— | | |
| 平成 22 年 7 月 25 日 | | |
| ⑨第 13 回糖尿病地域医療研究会総会 | | |
| 平成 22 年 7 月 31 日 | | |
| ⑩糖尿病重症化予防 (フットケア) 研修会 | | |

●庶務報告

1) 総会

平成 22 年 5 月 27 日, ホテルグランヴィア岡山にて第 53 回通常総会を開催した。平成 21 年度事業報告, 庶務報告, 収支決算報告が承認され, また平成 22 年度事業計画追加および補正予算ならびに平成 23 年度事業計画および予算が承認された。第 56 回会長に荒木栄一学術評議員が選出・承認された。

2) 評議員会および学術評議員会

平成 22 年 5 月 26 日にそれぞれ開催された。

3) 理事会

定例理事会は平成 22 年 5 月 26 日, 11 月 28 日, 臨時理事会は平成 22 年 5 月 28 日, 平成 23 年 2 月 17 日の合計 4 回開催された。

●会員状況報告 (平成 23 年 3 月 31 日現在)

1. 役員等

1) 役員

- 理事 18 名 (21 年度末 19 名, 1 名減)
 監事 2 名 (21 年度末 2 名)
 2) 学術評議員 608 名 (21 年度末 609 名, 物故者 1 名)
 3) 評議員 79 名 (21 年度末 80 名, 1 名減)

2. 会員等

- 1) 名誉会員 29 名 (21 年度末 29 名, 追加 1 名, 物故者 1 名)
 2) 正会員
 22 年 3 月末日会員数 16,217 名
 22 年度新入会 764 名
 名誉会員へ -1 名
 退会 -338 名 退会内訳:
 希望退会 209 名
 会費未納 105 名
 物故者 24 名

正会員 現在数	16,642 名 (425 名増)
3) 賛助会員	
22 年 3 月末日会員数	44 名
22 年度新入会	1 名
賛助会員 現在数	45 名 (1 名増)

3. 物故会員

- 名誉会員 小坂樹徳
 功労学術評議員 石渡和男 能登谷洋子 横井敏夫
 学術評議員 梅村周香
 正会員 安藤瑠璃子 石丸安世 池田幸宏
 泉岡久夫 緒方明貴 小澤伸子 小澤 稔
 金田 伸 萱島 徹 神田 勤 黒田 晋
 佐藤光重 滝田杏児 田村康博 道源博保
 西村葉一郎 橋本利彦 林 睦子
 森田達仁 山崎雅俊
 (敬称略, 連絡のあった方のみ)

3. 委員会報告

- 1) 「糖尿病」編集委員会 委員長 小泉順二
 1. 委員会の開催: 7 回 (平成 22 年 4 月 10 日, 5 月 28 日, 7 月 18 日, 9 月 12 日, 11 月 21 日, 平成 23 年 1 月 30 日, 4 月 17 日)
 2. 論文受付状況 (平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日)
 ・ 投稿論文受付総数 119 編【内訳: 原著 37 編, 症例 58 編, ミニレビュー 2 編, 短報 1 編, 速報 1 編, 委員会報告 1 編, 編集者への手紙 2 編, コメディカルコーナー 17 編 (原著 16 編, 短報 1 編)】
 ・ 採否決定した論文数 119 編 (内訳: 可 80 編, 否 31 編, 辞退 8 編)
 ・ 採択率: 72% 採択日から掲載までの期間: 2 ヶ月。

3. 投稿規定の改訂

- (1) コメディカルコーナーを廃止し, 原著論文を①疫学 ②成因・分類 ③診断・治療 (食事・運動・薬物) ④病態・代謝異常・合併症 ⑤患者心理・行動科学 ⑥社会医学・医療経済学の各分野に分類することとした。
 (2) HbA1c の記載について, 国際標準値移行日までに掲載する論文で HbA1c に関する記述があるものについては, JDS 値, 国際標準値あるいは NGSP 値なのか文面に記載するよう 9 号から対応し規定に入れた。
 (3) 利益相反に関する記載も入れ, 申告書の提出を求める。
 など大幅に改訂を行った。改訂時期は総会后 6 月号からを予定している。

4. 出版状況: 第 53 巻 4 号から第 54 巻 3 号までの 12 誌と Supplement 1 「第 53 回年次学術集会抄録号」を発行。詳細は下表の通り (下段: コメディカルコーナー)。

2) 「Diabetology International」編集委員会

委員長 春日雅人

2010 年 5 月 28 日, 9 月 5 日ならびに 2011 年 2 月 19 日の 3 回にわたり委員会を開催した。2010 年 5 月より投稿の受付ならびに査読を開始し, 10 月 15 日からは電子査読システム (Editorial Manager) を導入した。2011 年 4 月 25 日の時点で, 合計 65 編の論文の投稿を頂いた。このうち 27 編が accept され, 20 編が reject され, 18 編が査読中などであり, 採択率は約 60% である。On-line では 2010 年 9 月 24 日より accept となった論文を逐次掲載しており, 冊子体としては 2010 年 1 月号が 11 月に 2010 年 2 月号が 2011 年 3 月に刊行された。2011 年 1 月号は 2011 年 5 月に刊行の予定であり, 発刊がやや遅れ気味である。当面の課題は MEDLINE への収載と Impact Factor の取得であり, これには定期刊行がなされていることが最も重要であり, そのためには総説も含め少なくとも 7~8 編/月の投稿が必要である。この点に関し会員の皆様の絶大なる御協力をお願いしたい。

3) 「食品交換表」編集委員会 委員長 石田 均

- (1) 食品交換表編集委員会を平成 22 年 5 月 28 日 (金), 10 月 3 日 (日), 平成 23 年 2 月 19 日 (土) の 3 回, カーボカウント小委員会を平成 22 年 5 月 28 日 (金)*, 7 月 25 日 (日), 11 月 3 日 (水・祝), 平成 23 年 2 月 19 日 (土)* の 4 回開催した (*は食品交換表編集委員会との合同開催)。
 (2) 出版事業について [平成 22 年 4 月 1 日~平成 23

会 報

	総頁数	原著	症例	ミニレ ビュー	短報 報告	受賞 講演	地方会 記録	委員会 報告	編集者 への手紙	会報	特集
Vol. 53 No. 4	105	1	1		1		1		1		1
Supplement 1	第 53 回年次学術集会抄録号										
No. 5	66	2 1	5	1	1						
No. 6	78	2	6				1	1			
No. 7	123	3	4				1			1	
No. 8	82	2 2	4				1				
No. 9	45	2 2	4								
No. 10	58	2 2	4	1							
No. 11	43	1	2		1	4					
No. 12	48	1 1	4								
Vol. 54 No. 1	90	1 1	2				1	1		1	1
No. 2	63	2 2	3				1		1		
No. 3	94	1 1	2				1				1
合計		20 12	41 —	2 —	2 1	4 —	7 —	2 —	2 —	2 —	3 —

年 3 月 31 日, () は発行以来の累計部数]

- 食品交換表 第 6 版
売上部数：154,750 部 (2,552,953), 発行部数：
200,000 部 (2,700,000)
- 糖尿病性腎症の食品交換表 第 2 版
売上部数：6,224 部 (91,052), 発行部数：5,000
部 (98,000)
- 糖尿病食事療法指導のてびき 第 2 版
売上部数：1,396 部 (17,626), 発行部数：2,000
部 (21,000)
- 食品交換表の英訳版
売上部数：289 部 (2,651), 発行部数：0 部 (2,900)
- CD-ROM 版食品交換表 (ver. 3)
売上部数：11 部 (7,557), 発行部数：0 部 (8,100)
- CD-ROM 版食品交換表 (ver. 4)
売上部数：1,169 部 (1,169), 発行部数：2,000 部
(2,000)
- CD-ROM 版 (ver. 2) 付糖尿病性腎症の食品交換表
売上部数：170 部 (2,082), 発行部数：0 部 (2,500)
- 食品交換表 活用編
売上部数：10,220 部 (56,547), 発行部数：15,000

部 (65,000)

- (3)引用許可願いの審査 (平成 22 年 4 月 1 日～平成
23 年 3 月 31 日)
 - 食品交換表 第 6 版：申請 22 件
無条件許可 8 件, 条件付き許可 14 件.
 - 糖尿病食事療法指導のてびき 第 2 版：申請 1 件
で, 無条件許可.
 - (4)CD-ROM 版 (ver. 4) 食品交換表の発行について
平成 22 年 7 月下旬に, Windows 7, Windows
Vista に正式に対応した「CD-ROM 版 (ver. 4) 食
品交換表」を発行した. Windows XP, Mac OS
X にも対応している.
 - (5)カーボカウント小委員会の活動について
カーボカウントの手引書の原案を作成中であり,
4 月中に理事会に提出の予定である.
 - (6)食品交換表の改訂について
第 6 版の改訂に向けて学術評議員にアンケート
調査を行い, 147 通の回答をいただいた.
- 4)「糖尿病治療の手びき」編集委員会
委員長 西沢良記

- 今年度は、2010 年 5 月 29 日（第 53 回日本糖尿病学会総会会期中）および 2011 年 2 月 18 日（第 45 回糖尿病学の進歩会期中）の 2 回の委員会を開催した。
- 5 月の委員会においては、本委員会が編集実務を担当している患者用書籍『糖尿病治療の手びき』（現在：改訂第 54 版、2006 年 2 月発行、南江堂）の改訂に関して、改訂目次ならびに担当執筆者の最終検討を行った。改訂の基本方針は、①糖尿病の診断基準改訂の反映、②『科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン 2010』との整合性の確認、③インクレチン療法の追加、④持続血糖モニター（CGM）の内容の追加、⑤妊娠糖尿病の診断基準の見直しの反映、など現版（第 54 版）発行後の糖尿病診療の最新情報の反映・追加が主目的である。
- 進行としては、2010 年 6 月の執筆依頼、2010 年 9 月の原稿締切後に、委員会で全原稿の検討を行い、一部修正を行った上で最終原稿として、2011 年 2 月 18 日の委員会時には初校の確認を行った。現在、2011 年 5 月の第 54 回日本糖尿病学会までに刊行予定である。
- 『糖尿病治療の手びき』の改訂に伴い、今後は、本委員会のもうひとつの担当書籍である指導者用書籍『糖尿病療養指導の手びき』（現版：改訂第 3 版、2007 年 6 月発行、南江堂）の改訂に着手する予定で、現在、改訂内容・改訂目次案を委員会内で検討中である。ただし、2011 年 5 月の第 54 回日本糖尿病学会時に本委員会の一部改選が予定されており、現委員会では改訂方針の提示に留め、執筆者等の詳細は新委員会に引き継ぐ予定である。
- なお、2011 年 2 月末時点における、『糖尿病治療の手びき（改訂第 54 版）』の売上は約 17 万部、『糖尿病療養指導の手びき（改訂第 3 版）』の売上は約 3,700 部である。

- 5) 小児糖尿病委員会 委員長 雨宮 伸
1. 「小児・思春期糖尿病管理の手びき（改訂第 3 版）—コンセンサスガイドライン」発行について
本委員会編集書籍「小児・思春期糖尿病管理の手びき（改訂第 3 版）—コンセンサスガイドライン」は日本小児内分泌学会糖尿病委員会との共同編集で行った。刊行は 2011 年 5 月、年次集会に向けて予定している。
 2. 2011 年の ISPAD サイエンススクールの日本での開催について
若手小児糖尿病専門家の養成のための ISPAD サイエンススクールは、浦上達彦会員（日本大学駿河台病院）を担当責任者として 2011 年 9 月 30

日～10 月 5 日に湘南国際村センターで開催予定であった。欧米以外での開催ははじめてであり、日本糖尿病学会および日本糖尿病協会からの援助のもと、門脇孝理事長の出席・講演を予定し、国際交流委員会 ISPAD 部会の支援も受けて準備を進めていたが、ISPAD 事務局の強い要請により、開催を延期し、来年同じ場所で行うこととなった。

3. 小児科医の糖尿病専門医取得について

小児科医が糖尿病専門医を取得できる施設の条件緩和が承認されたので、当委員会でも各地方会を通して体制変更について積極的に支援していく。また、小児糖尿病を診ていることの多い小児内分泌学会の医師にも年次集会で日本糖尿病学会への加入を紹介している。

4. 小児糖尿病委員会の構成員について

上記 1. および 3. の事項とも関連して、従来の各地域からの推薦委員のみでは活動に限界がある。小児科医からの学会参加を促すためにも、研究活動を含めた委員の拡充について理事会に要望した。

- 6) 日本糖尿病協会委員会 委員長 佐々木敬
委員会は平成 23 年 2 月 18 日に開催され、担当理事ならびに各支部の委員により、今後も日本糖尿病協会の活動との連携を通じた患者療養支援につき意見交換がなされた。

1. 本委員会の活動目的について

日本糖尿病協会と協力し国内および海外、特にアジアや西太平洋地域における糖尿病療養支援を展開する方法等につき検討して行くことを確認した。

2. 糖尿病対策推進会議の地区活動状況の把握について

国内における協会との合同の活動については、糖尿病対策推進会議により学会事務局へなされる「地区活動報告（都道府県別）」が参考になると考えられる。同報告書の内容を当委員会にて確認する必要性が指摘された。

3. 日本糖尿病協会との合同会議の開催による協議も改めて提案された。

- 7) 選挙管理委員会 委員長 柏木厚典
委員 渥美敏也 高橋和真 山田信博 榊原文彦
三家登喜夫 松木道裕 豊永哲至

(1) 例年同様、本委員会は郵便、e-mail 等を利用して委員会活動を進めていくこととし、従来の申し合わせに従い、理事会推薦の岡芳知委員を委員長と

し、以下の事項を確認した。

23年度「会長選挙」の手順は前年度「会長選挙手順」を踏襲し、

- ・支部からの推薦締切日は平成22年11月15日(月)とする。
 - ・推薦された方の意思確認は11月24日(水)までに事務局必着とする。
 - ・理事長への報告は11月26日(金)までに行う。
 - ・11月28日(日)の定例理事会で、最終候補者3名を決定する。
 - ・候補者の所信のフォーマットは前年度と同様とし、平成23年1月8日(土)を締切日とする。
 - ・候補者の所信が提出された後に委員会を開催する。
- (2)岡芳知委員長より、委員退任の申し入れがあり、新たに理事会が推薦した柏木厚典委員が後任の委員長に就任した。
- (3)平成23年2月4日に委員会を開催し、以降の進め方について協議検討した。

1. 会長選出手順およびこれまでの手順についてそれぞれ確認した。
2. 所信の確認
3名の候補者から提出された所信について、内容、印刷の字体や文字数、行間隔などを検討し、本人への指摘事項を決定した。
3. 今後の手順について
所信の手直し終了後に、規則に則り従来の形で理事長への報告、会員への周知、学術評議員への所信の送付等を行うことが確認された。
4. 学術評議員会での投票手順の確認について
 - ①開票作業には、会長候補者のいない支部の委員と、候補者のいない支部から委員長が指名した者、委員長を含めて合計8名である。今回は北海道支部、東北支部、中国・四国支部、および九州支部所属の出席者から、3名に依頼する。
また、委員に欠席者がある場合は、上記4支部所属の出席者の中から追加して依頼する。
 - ②昨年と同様に投票用紙配布直前に会場を閉鎖し、回収後開放する。このことは、学術評議員へ候補者の所信を送る際に記載する。
 - ③今回は候補者名を予め投票用紙に記載し、所定の欄に丸印を付したものを有効とする。
 - ④最多得票者に決定する。同数の場合は学会

入会年月の早い者とする。

- ⑤各候補者の得票数は公表する。
- ⑥迅速に開票作業を行うため、投票用紙を折り曲げて投票する場合は「横二つ折りまで」とすることを注意事項として通達する。

以上は、議場で予め公表する。

8)年次学術集会運営委員会 委員長 春日雅人
平成22年12月12日に熊本で委員会を開催し、平成25年に荒木栄一会長のもとで開催予定の第56回年次学術集会開催候補地ならびにその会場等の視察を行い、種々の助言を行った。結論として、概ね熊本での年次学術集会の開催は可能と判断できるが、スムーズな運営のためには熊本市内における宿泊施設の確保が必要であるとの助言を行った。

9)「糖尿病学の進歩」プログラム委員会

委員長 春日雅人

平成23年4月9日に委員会を開催し、第46回「糖尿病学の進歩」は幸いなことに地震による大きな影響はなく、予定通り平成24年3月2日～3日に盛岡市で開催できることが佐藤譲世話人から報告された。プログラムに関しては、「糖尿病学の進歩」はpostgraduate courseとしての性格をより明確化した観点から作成することが確認された。また、第47回「糖尿病学の進歩」は住田安弘世話人から平成25年2月15日～16日に四日市市で開催される予定であることが報告された。「糖尿病学の進歩」の開催に際して従来から出版されていた「糖尿病学の進歩」ならびに「糖尿病の療養指導」の2冊の書籍については、今後その出版を中止する方向で合意されているが、その代替案についての検討が不十分のため、第46回については書籍として出版することを決定した。

10)日本医学会に関する報告 評議員 門脇 孝
平成23年2月23日に第78回定例評議員会が開催され、日本プライマリ・ケア連合学会、日本手外科学会の新規加盟が承認された。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、4月8日～10日に予定されていた第28回日本医学会総会の会場での講演会・博覧会は中止となった。講演会については9月17日～18日に特別企画として、博覧会については6月24日～26日に、いずれも縮小した規模で行なうこととなった。

11)内科系学会社会保険連合 委員 渥美義仁
委員 梅田文夫、加来浩平、渥美義仁

平成 22 年度の診療報酬改定では、糖尿病学会の要望した案件として、持続血糖モニタリング (CGM) が新規に認められた。CGM はこの保険収載をきっかけに広く用いられるようになったが、DPC 病院での課題が残っている。また、GLP-1 受容体作動薬処方時に血糖自己測定が加算できるようになり、より安全な処方が可能となった。内科系社会保険連合会 (斉藤代表) は、平成 22 年の改定で外科系手術料の成果が大きかったことを受けて、次回の改定で内科系技術が正しく評価されるよう、“内科特定診療”(手術に相当する内科重症疾患の治療技術) 疾患を絞り込み、厚労省に要望する戦略をとっている。糖尿病学会からは、糖尿病性ケトアシドーシスがこの要望項目に採用されている。他に、糖尿病腎症栄養食事指導料の見直し、生活習慣病管理料の中の糖尿病に関する部分の要件見直し、間歇注入シリンジポンプの点数見直し、在宅自己注射指導管理料から持続皮下インスリン注入療法指導管理料を分離新設すること、などを提案する予定である。

12) 国際交流に関する報告 理事 田嶋尚子

1. 委員会の開催

2011 年 1 月 16 日 (横浜)、第 1 回日本糖尿病学会・日本糖尿病協会合同国際交流委員会を開催した。

2. 平成 22 年度の活動

i) IDF 部会

IDF 関連

①NCD Alliance への協力

2011 年 9 月に開催される国連総会にて UN Summit on NCDs が 2 日間の日程で行われることとなった。UN Summit の主要テーマは Incidence & impact, National capacity policy, Prevention & control, International cooperation & coordination で、ラウンドテーブルディスカッションが計画されている。IDF Global は IDF-WPR および各 member associations に協力を強く要請しているが、WHO は態度を明確にしていない。

②第 21 回 World Diabetes Congress (WDC) 2011 (Dubai, UAE)

2011 年 12 月 4~8 日 Dubai で開催される WDC 2011 で設置される Global Village 展示スペースは、統一感を出すために学会・協会の共同企画とし、展示内容について学会側は黒瀬健委員、協会側は伊藤千賀子理事が中心になり企画することになった。

Youth Leaders in Diabetes Program に派遣する日本国内の候補者を選考した。履歴書を元に検討した結果、日本からの候補として、2 名を選出し、日本糖尿病協会から書類を提出することを決議した。

IDF-WPR 関連

①IDF-WPR Congress

第 8 回 IDF-WPR Congress が 2010 年 10 月 17~20 日に (釜山, 韓国) で開催された。会期中、IDF-WPR Executive Board Meeting および Council Meeting が開催され、第 9 回 IDF-WPR Congress (2012 年) および第 10 回 IDF-WPR Congress (2014 年) は、それぞれ日本およびシンガポールで開催されることが決定した。

次回の IDF-WPR Council Meeting は 2011 年 5 月 21~22 日に 54th JDS (札幌) の際に開催する。主要議題は Diabetes Foot Care Project in WPR, NCD Alliance への協力、次期 WPR Chair-Elect 選出である。

②第 9 回 IDF-WPR Congress の開催

本会議の日程と運営組織を検討し確認した。開催日程は 2012 年 11 月 25-27 日、会場は京都国際会議場、「Program」「PR」「Fund Raising」「Registration」「International Advisory Board」「Local」の各委員会を設置し、清野裕会長および稲垣暢也準備委員長が委員長案を作成し、門脇 孝・田嶋尚子(糖尿病学会)、立川俱子(糖尿病協会)副会長の確認を経て国際交流委員会に報告する。広報については 54th JDS (札幌) にて第一報を発表、第 21 回 WDC 2011 までにプログラムを確定することを確認した。

③IDF-WPR Chair-Elect

2013 年 1 月~2015 年 IDF 総会までを任期とする IDF-WPR Chair-Elect には、日本の方針として WPR の活動に貢献している理事を推薦することとした。

④糖尿病教育とケアの活動

河野茂夫 (国立京都医療センター) を Chair として IDF-WPR Foot Care Program を正式に立ち上げ、WHO-HQ、WHO-WPR と協力して本事業を推進することが承認された。APDEC 2008 (東京) 抄録集が配布され IDF-WPR のサイエンスと教育の活動として評価された。次回は 2013 年にソウルにて開催予定である。Western Pacific Declaration of Diabetes の責任者として Nam Han Cho (韓国) が選出され、Foot Care Program と NCD alliance と密に連携して推進することとなった。2010 年 11 月 14 日の世界糖尿病デーには、日本全国 100 ヶ所以上の建造物がブルーにライトアップされ、糖尿病撲滅を願う様々なイベントが行われた。

ii) AASD 部会

2010 年 10 月 17 日 (釜山, 韓国) で常務理事会が開催された。会員数は増加しており、現在約 1,300 名 (日本 519 名, 中国 500 名, 韓国 167 名他) である。年次 AASD 会議は、IDF-WPR Congress がアジア地域内で開催される場合には同時開催することが決定され、第 3 回 AASD 会議は 2011 年 7 月 22~24 日に北京で、第 4 回は 2012 年に京都で開催することになった。堀田

JDI 編集委員長を会長、谷澤委員を事務局長、矢部委員を実務担当とする体制を構築した。

iii) JDI 部会

堀田 JDI 編集委員長が、JDI 発行についての現状と、同誌が Science Citation Index Expanded (SCIE) に採択され 2 年後よりインパクトファクターが付与されること、掲載率を上げるために月刊化を視野に入れていることなどを報告した。

iv) EASD 部会

2010 年 5 月、53rd JDS(岡山)にて第 1 回 East-West Forum が開催された。第 2 回は 2011 年 9 月、EASD (リスボン)の際に合同シンポジウムとして企画されている。East-West Forum 東京会議 (12 月 6 日)において、今後は、ワーキンググループを組織し日本と欧州の若い医師の交換留学プログラムの実施や国際臨床研究について検討することが承認された。また、散在する国際合同研究について情報収集と整理を行い、研究資源の最適化を図っていくこととした。

なお、EASD より、日本から欧州の病院・研究機関に 1 年を限度とする 2 名の留学奨学金の提供の申し出があったので、有効に活用できるよう検討している。

v) ISPAD 部会

2011 年秋に日本で初めて国際小児思春期糖尿病学会 (ISPAD) 主催の Science School for Physicians が開催されることになった。2001 年に開始されたこのトレーニングコースは、国際的に活躍する糖尿病臨床医および研究者を育成することを目的とし、以降、欧州あるいは米国で毎年開催されてきた。参加者は世界各国の若手小児科医、内科医および研究者であり、毎年 25 名程度が応募者の中から書類選考される。その多くは優れた研究業績を挙げ、また臨床面でも所属施設の中心的指導者として活躍している。実行委員長を浦上達彦会員とし、会期は 9 月 30 日～10 月 5 日、開催場所は湘南国際村センターで開催準備を進めていたが、ISPAD 事務局からの強い要請により、開催場所は同じとして来年に延期されることとなった。

13) 学術調査研究・教育に関する報告

●学術調査研究・教育委員会 委員長 春日雅人

平成 22 年 8 月 1 日に委員会を開催し、若手研究奨励賞規定を作成した。理事会での承認を得て、第 54 回年次学術集会の応募演題から適用することとなった。第 4 次の「糖尿病の死因に関する調査」を開始することが理事会で決定された。また、従来の班研究に加え、個人を対象にした研究費の公募を始めることとした。

(1) 糖尿病運動療法・運動処方確立のための調査研究委員会 (開始：2007 年 7 月 16 日)

委員長 佐藤祐造

本調査研究委員会は平成 22 年 4 月 11 日、5 月 28 日、7 月 18 日、11 月 3 日、平成 23 年 1 月 8 日、3 月 13 日の計 6 回開催した。平成 22 年度の活動状況は下記の如くである。

第 53 回日本糖尿病学会年次学術集会 (5 月 27 日～29 日、岡山)にて、平成 21 年度に実施した糖尿病患者 4,176 名を対象とした、わが国の運動療法実施状況に関する全国調査結果を報告した。また、第 48 回欧州糖尿病学会 (EASD：9 月 21 日～24 日、スウェーデン、ストックホルム)にて、平成 20 年度に実施した糖尿病専門医、専門医以外の内科医合計 403 名を対象とした、日本医師会との共同企画による運動療法の実施状況に関する全国調査成績をポスター発表した。

いずれの調査でも、食事療法の指導はほとんど全ての患者に行われているが、運動療法に関しては、約 4 割と食事療法とは大きな「較差」が存在することが判明した。

そこで、本委員会では、運動療法実施上のバリアーとなっている「適切な指導書がない」を解決する目的で、運動療法の「指導マニュアル」を作成することとした。

本書は、これまでの本委員会の検討結果と日本人における糖尿病運動療法の効果に関するエビデンスを集約し、医師、看護師、栄養士、健康運動指導士など指導者だけでなく、患者も理解でき、運動療法実施上の疑問点を解決できるテキストを目指した。

具体的には、運動の必要性、運動療法の適応と禁忌、運動療法の実施方法、注意点、評価方法、継続のための秘訣、用語集、糖尿病運動療法の保険適応など糖尿病運動療法指導に必要な実践的事項を本委員会メンバーが中心となり執筆し、委員の間で何度も査読を行い、全体的な調整も行った。また、平成 22 (2010) 年 12 月に発表された米国糖尿病学会 (ADA)/米国スポーツ医学会 (ACSM) の糖尿病運動療法に関する勧告も記載するなど可能な範囲カレント内容とし、6 月 1 日に刊行予定である。

近日中に「糖尿病」へ最終報告を投稿する。

(2) 1 型糖尿病調査研究委員会 (開始：2007 年 12 月 23 日)

共同委員長：花房俊昭

共同委員長：小林哲郎

1) 劇症および急性発症 1 型糖尿病分科会 (分科会委員長：花房俊昭)

劇症 1 型糖尿病における ZnT8 抗体の測定結果について報告した (Clin Immunol 2010)。急性発症典型例診断基準は原案が作成され、引き続き検討中である。インターフェロン投与後発症 1 型糖尿病について論文投

稿中である。GAD 抗体の有無による劇症 1 型糖尿病の class II HLA について論文投稿中である。急性膵炎合併例の画像診断に関する調査および皮膚科学会と共同で行っている DIHS 合併症例劇症型の実態調査は、総会にて報告予定である。2 型糖尿病に合併した劇症 1 型糖尿病の診断について論文投稿準備中である。

2) 緩徐進行 1 型糖尿病分科会 (分科会委員長: 小林哲郎)

①委員会施設における糖尿病発症 5 年以内例の臨床像の前向き検討: これまでに 589 例を集積し、インスリン非依存糖尿病例中に約 10% の膵島関連自己抗体 (GAD 抗体 and/or IA-2 抗体 and/or IAA) 陽性例を認めた。GAD 抗体陽性率は他の抗体と比べて有意に高頻度であった。これらの結果について機関誌「糖尿病」で委員会報告を行った (糖尿病 54: 65-75, 2011)。

②全国調査: 現在まで 38 施設の登録を受けている。さらに登録を増やし緩徐進行 1 型糖尿病の実態を明らかにして行く。

3) 遺伝子解析チーム (チームリーダー: 池上博司)

日本人 1 型糖尿病の体質を明らかにして、診断・予防・治療に資する情報を得ることを目的に、3 つのサブタイプ (急性発症, 劇症, 緩徐進行) の疾患感受性遺伝子解析を網羅的に進めている。密な SNP (900K) を用いたゲノムワイドのアソシエーションスタディ (GWAS) の一次スキャンでは HLA 領域で複数の SNP がゲノムワイドの有意水準をクリア, HLA 以外で P 値の低い候補 SNP に関して二次パネルを用いた解析を行い, 有望な SNP を複数同定した。三次パネルでの検証と HLA による層別解析を進めている。

(3) 日本を含めたアジア地域のメタボリックシンドロームの臨床像の把握およびその原因の解明に関する調査研究委員会 委員長 南條輝志男

日本を含めたアジア地域においてメタボリックシンドロームの重要性は幅広く認知されているものの、これまで複数の診断基準が存在し、特に腹部肥満を必須項目とするかどうかやウエスト周囲径のカットオフ値については議論があった。本委員会では、当該地域におけるメタボリックシンドロームの臨床像の実態調査を進めるべく、共通の研究プロトコールと調査票を策定してアジア各国の共同研究者に配布しデータ収集に努めてきた。2009 年に IDF や AHA/NHLBI 等から、腹部肥満を診断の必須項目とせず、ウエスト周囲径のカットオフ値に関しては国・地域や民族ごとに異なる値が設定されることを容認する声明が発表された。さらに 2010 年には横断研究ならびに縦断研究に基づいた我が国のメタボリックシンドロームに関する新たなエビデンスが厚生労働省研究班から報告された。これ

ら内外の知見を踏まえつつ、とりまとめの作業を進めている。

(4) 糖尿病関連検査の標準化に関する調査検討委員会

Committee on the standardization of diabetes-related laboratory testing (開始: 2007 年 8 月 19 日) 委員長 柏木厚典

(i) 平成 22 年 5 月 26 日第 53 回日本糖尿病学会から糖尿病の新診断基準として、HbA1c 値が血糖値関連の指標と同様に一次評価項目に取り入れられることが公表された。

(ii) 平成 22 年 7 月 1 日から糖尿病の新診断基準の施行が開始された。また①HbA1c 値に関する論文または海外での学会発表、臨床研究、疫学研究には、現在の HbA1c (JDS 値) から、HbA1c (NGSP 相当値, 国際標準値) = $1.019 \times \text{HbA1c (JDS 値)} + 0.3 (\%) = \text{HbA1c (JDS 値)} + 0.4\%$ (測定の変動幅 2~3% を考慮して) の式で推算する。②この際、論文での表現は、各雑誌の HbA1c 表記法に従う (例えば ADA の公式雑誌, Diabetes, Diabetes Care では A1C (%) を、EASD の公式雑誌 Diabetologia では HbA1c (%), わが国の雑誌では HbA1c (%) 等)。一方、③日常臨床での HbA1c では、一定の準備期間をへて公式な使用開始時期が公表されるまでは、現在の HbA1c (JDS 値) を用いる。④わが国の原著論文、総説などで HbA1c 値を表記する場合には、いずれを用いたかを明確にする。

(iii) 新 HbA1c 表記法「HbA1c (国際標準値)」の導入に関して、①関連学会への周知徹底、②検査機器製造メーカー、検査センター、病院臨床検査への新測定系導入や測定値の表記法のソフト変更などを考慮すると、平成 24 年 4 月 1 日からの次期診療報酬制度の改正時期にあわせることが最適と考えられる。

(iv) 平成 23 年 1 月 22 日、第 1 回日本臨床検査標準協議会に糖尿病関連検査標準化委員会が立ち上げられ、「HbA1c 測定に関する信頼性認証試験」「グリコアルブミンの標準物質の作成」が討議された。認証に関しては、最終的には日本糖尿病学会が中心となり認証委員会を構成し、実際の試料の作成、送付、測定値の回収などは、日本臨床検査標準協議会が担当するなどの役割分担が必要である。

(v) 平成 23 年 5 月 2 日に、IFCC メンバー Garry John, Cas Weykamp を迎えて IFCC/JDS expert meeting をおこなった。JDS の新糖尿病診断基準と HbA1c 国際標準化の現状を紹介し、ヨーロッパでの HbA1c 表記法の現況について意見交換を行なった。HbA1c の表記法に IFCC 値を用いることの妥当性が討議された。

14)平成 23 年度坂口賞および学会賞に関する報告

- 1)坂口賞は、柴田昌雄氏、田中剛二氏に授与する。
- 2)学会賞審査委員会(委員長 河盛隆造)を平成 23 年 1 月 16 日に開催し、各受賞者を選出した。

①平成 23 年度ハーゲドーン賞

加来浩平(川崎医科大学糖尿病・代謝・内分泌内科)

「糖尿病の統合的理解を目指した血糖降下薬の基礎的・臨床的研究」

②リリー賞

- i)藤本新平(京都大学医学部附属病院糖尿病・栄養内科)

「糖尿病における膵β細胞代謝—分泌連関障害の分子機構」

- ii)高橋倫子(東京大学大学院医学系研究科疾患生命工学センター構造生理学部門)

「膵島におけるインスリン開口放出機構の可視化解析」

15)学会認定事業に関する報告

(1)専門医認定委員会 委員長 柴 輝男

委員会は小委員会も含め 7 回開催された。平成 22 年度の専門医試験は 274 名が受験し、236 名(合格率 86%)が合格した。研修指導医は 85 名(随時審査も含む)、認定教育施設は 19 施設(無床 1 施設含む)、教育関連施設 18 施設が新たに認定された。更新は専門医 886 名・研修指導医 261 名・認定教育施設 162 施設であった。更新辞退者 41 名(退会者 13 名含)があり、平成 23 年 4 月における専門医数は 4,341 名、研修指導医 1,457 名、教育認定施設 609 施設(無床 7 施設含)、教育関連施設 25 施設、連携教育施設(小児科) 3 施設である。

専門医試験委員会と WG を開催し、症例の評価・面接の在り方などについて検討し、症例の評価票を作成し書類審査を行った。専門医更新の単位として義務付けることとした指定講演の聴講は、地震の影響を鑑み制度の運用開始を 1 年延期することとした。糖尿病臨床研修・研修カリキュラムの評価等について WG を立上げ検討を開始している。

(2)専門医試験委員会 委員長 荒木栄一

平成 22 年 5 月 27 日、第 32 回試験委員会を開催し、第 21 回専門医試験の試験方法と出題問題の作成分担、口頭試験担当者、試験監督担当者を決めた。8 月 22 日に委員長、数名の委員により試験問題のチェックを行い、9 月 12 日に委員全員で試験問題の選定を行った。第 21 回専門医試験は、平成 22 年 10 月 24 日、東京国際フォーラムにおいて実施した。受験者には昨年

同様、事前に一部出題範囲・面接での評価について公表し、選択問題もマークシート方式で実施した。面接試験に関しては専門医認定委員会と合同 WG を開催し、面接試験採点要項を作成した。

受験者は 274 名で、10 月 31 日に合否判定案を決定、11 月 23 日専門医認定委員会に報告、236 名の合格(合格率 86%)が承認された。今年度も希望のあった受験者に対し成績の開示を行なった。

第 22 回(平成 23 年度)の試験は平成 23 年 10 月 23 日(日)都市センターにて、第 23 回(平成 24 年度)の試験は平成 24 年 10 月 28 日(日)東京国際フォーラムにて実施を予定している。

16)分科会に関する報告

日本糖尿病合併症学会 羽田勝計

日本糖尿病学会の分科会である日本糖尿病合併症学会は、第 25 回日本糖尿病合併症学会年次学術集會を、柏木厚典会長(滋賀医科大学附属病院)の下、平成 22 年 10 月 22、23 日の 2 日間、大津市、びわ湖ホールにて開催した。

年次学術集會は、シンポジウム 6 題、そして一般演題は例年通り全てワーク・ショップ形式で行われた。市民公開講座も 10 月 23 日に開催された。本学会が設けた学会賞各賞の受賞者は以下の各先生で、Outstanding Foreign Investigator Award は Prof. Steven M Haffner (Baylor College of Medicine in the Division of Cardiology, Houston, Texas, USA)、Distinguished Investigator Award 齋藤康会員(千葉大学)、Expert Investigator Award は川上正舒会員(自治医科大学さいたま医療センター)、Young Investigator Award は杉本一博会員(弘前大学大学院臨床検査医学講座)、竹本稔会員(千葉大学附属病院糖尿病・代謝・内分泌内科)、三田智也会員(順天堂大学代謝内分泌内科)、眞鍋一郎会員(東京大学大学院循環器内科)に贈呈され、受賞講演が行われた。

第 26 回日本糖尿病合併症学会年次学術集會は、川上正舒会長(自治医科大学附属さいたま医療センター)の下、平成 23 年 10 月 14、15 日の 2 日間、さいたま市、大宮ソニックシティにて開催されることが決定している。学会の機関誌「糖尿病合併症」は抄録号を含め 3 回発行された。

17)糖尿病総合対策への取り組みに関する報告

理事長 門脇 孝

日本糖尿病対策推進会議の第 12 回幹事会および第 1 回常任幹事会が 2010 年 8 月 6 日に開催された。第 12 回幹事会において、糖尿病診断基準の改訂、HbA1c の国際標準化、糖尿病学会アクションプラン

DREAMS について報告を行った。

(1)「対糖尿病戦略 5 ヶ年計画」作成委員会

委員長 岩本安彦

委員：渥美義仁，荒木栄一，稲垣暢也，植木浩二郎，
佐倉 宏，谷澤幸生，野田光彦，花房俊昭，
羽田勝計

委員会：開催なし

下記内容で「第二次対糖尿病戦略 5 ヶ年計画」を提示し，パブリックコメントなどに基づく若干の修正のち，昨年 5 月の定例理事会，評議員会で承認され，学会ホームページに掲載した。

1. 第一次 5 ヶ年計画の成果と課題
2. 対糖尿病 5 ヶ年計画策定の必要性
3. 「対糖尿病 5 ヶ年計画」における重点と目標
4. 糖尿病対策の考え方
5. 糖尿病の基礎的研究
6. 糖尿病の臨床的研究
7. イノベーションの成果に立脚した予防法・治療法を開発
8. 糖尿病撲滅にむけた社会環境の構築
9. 次世代の糖尿病研究・診療を担う人材の育成
10. 糖尿病対策の組織構成
11. 「対糖尿病 5 ヶ年計画」で予測される成果

(2)「健康日本 21」の糖尿病対策検討委員会

委員長 伊藤千賀子

I. 委員会：2 回開催した（平成 22 年 6 月 20 日（日），平成 22 年 9 月 12 日（日））

II. 委員会活動

平成 21 年 7 月 12 日に日本糖尿病対策推進会議の幹事会で糖尿病学会からの日本糖尿病対策推進会議への提言が行われた。その中で本年度は「糖尿病治療のエッセンス 2007」の改訂作業を行った。2010 年 5 月 27 日に糖尿病学会総会で糖尿病の新しい診断基準と分類が公表された。日本糖尿病対策推進会議の幹事会が 8 月 6 日に開催され、「糖尿病治療のエッセンス」をできるだけ速やかに完成させる方針が決まった。出版費用は日本医師会で負担することになった。これを受けて 10 月中旬の改訂を目指して作業した。

6 月 20 日 委員会開催：既に「糖尿病治療のエッセンス」の内容について ①病診連携（小林委員） ②糖尿病患者初診のポイント（吉岡委員・森川委員），糖尿病診断フロー（伊藤委員） ③治療目標・コントロール指標（西村委員） ④食事療法，運動療法（西村委員） ⑤薬物療法のタイミングと処方の実際（野田委員・井口委員） ⑥インスリン治療（佐藤委員） ⑦糖尿病合併症（大沢委員・土井委員）に分担して検討をしてい

たので，項目ごとに修正内容を十分議論した。この原稿をもとに準備稿を作成した。

9 月 12 日 委員会開催：準備稿が各担当委員に配られ意見が集まっていたので，委員会で討議して最終案をまとめた。「糖尿病治療のエッセンス」を 10 月中に出版するためには最終稿を 9 月 24 日までに作成する必要があった。その後日本糖尿病対策推進会議のワーキングを通して最終案とした。2010 年 10 月 25 日に日本医師会雑誌の 11 月号と共に医師会員に送付することができた。委員会は 2 回の開催であったが，その間 Mail 等で内容の検討等，委員の方々に多大な尽力をいただき，予定通りに出版することができた。委員を始め出版社など関係各位に心から感謝している。

なお，新しい糖尿病の診断基準や治療目標について使用されている HbA1c の値は混乱を回避するために従来から使用されている JDS 値のみとし，「糖尿病治療のエッセンス」は 2010～2011 版とした。今後 HbA1c が国際基準となる見通しがついた時に数字を変更する。また，今回は「新しい血糖降下薬」として一括したインクレチン製剤についても，改訂では血糖値降下薬の表の中に挿入する予定である。

(3)糖尿病データベースの構築委員会

委員長 田嶋尚子

1. 委員会の開催

平成 22 年度は，平成 22 年 6 月 20 日（日）東京，8 月 12 日（木）東京，10 月 23 日（土）京都，および平成 23 年 2 月 18 日（金）福岡にて，計 4 回にわたり委員会を開催し JDCP study の円滑かつ効率的な推進のための戦略について検討した。特に第 2 回委員会では，食事療法ならびに歯周病に関するデータ収集とその解析について討議した。また，JDCP study 事務局では定例会議を月 2 回（計 18 回）開催し，データ回収率の向上と精度管理のための具体的な方策（QUO カード配布，ニュースレター・HP の充実，施設訪問など）について検討した。

第 4 回委員会では糖尿病データベース構築委員会の設立と経緯について説明があった。JDCP Study は平成 17 年に日本糖尿病学会データベース構築委員会の研究事業（小林正研究代表者）としてスタートした。その後，糖尿病とその合併症対策が国の健康対策事業として捉えているところから，その重要性を鑑みて本研究は平成 18 年度から厚労省科学研究補助金を得て 5 年間にわたる研究として進められることとなった。平成 21 年度からは厚労省の指定研究となり，研究計画期間 5 年間のうち 4 年目から研究代表者が田嶋尚子理事に交代，同年 10 月には日本糖尿病学会からの委嘱により田嶋理事が日本糖尿病学会データベース構築委員

会委員長に就任した。平成 23 年度以降も JDCP Study は、日本糖尿病学会データベース構築委員会（委員長：田嶋理事）が主導する研究として継続される。また、本研究が厚生労働省指定研究であったことから、基本データについては国立国際医療研究センターと共同管理することとした。なお、本研究の支援事業のために、平成 18 年度から 5 年間にわたり財団法人鈴木万平糖尿病学国際交流財団から調査研究助成を受けた。

2. 平成 22 年度の活動内容

1)平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金(糖尿病戦略等研究事業)「糖尿病における失明、歯周病、腎症、大血管合併症などの実態把握とその治療に関するデータベース構築による大規模前向き研究 (H21-糖尿病等-指定-005)」研究報告書を提出した。

2)事後評価結果（平成 22 年 3 月 24 日）は課題の継続「可」、専門評価点数は 10 点中 6.00 点（平均点 6.48 点）、行政評価点数 6.50 点（平均点 6.47 点）であった。

3)同上指定研究として 2 年目である平成 22 年度(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究)研究に交付を申請し受理された(補助金額 2,200 万円)。研究成果は研究成果発表会(平成 23 年 2 月 8 日、東京)で報告した。

4)事後評価結果（平成 23 年 3 月 28 日）は専門評価点数 10 点中 7.33 点（平均点 6.70 点）、行政評価点数 7.25 点（平均点 6.61 点）であり、前年度と比較して改善が認められた。

本研究は日本糖尿病学会内設置された JDCP study 研究統括委員会（南條輝志男委員長）による評価及び会計監査を平成 23 年 4 月 9 日に受け問題のないことが確認された。なお、今年度以降も、JDCP study 研究統括委員会（新委員長：春日雅人理事）により、会計監査および研究評価を受ける。

18)各種委員会

(1)糖尿病治療ガイド編集委員会

委員長 岩本安彦

委員：渥美義仁、荒木栄一、今村 聡、岩本安彦、
柏木厚典、貴田岡正史、田嶋尚子、南條輝志男、野田光彦

委員会開催 1 回：平成 22 年 5 月 29 日（於：東京）

活動内容：

1. 「糖尿病治療ガイド 2010」の発行

当委員会では一昨年以来「糖尿病治療ガイド 2008-2009」の改訂作業を行ってきたが、平成 22 年 4 月に学術評議員校閲用委員会案を配付した。これは「糖尿病診療ガイドライン」などとの整合性を図りつつ、HbA1c の国際標準化、糖尿病の新しい診断基準、インクレチン関連の新しい治療薬を盛り込んだものであ

る。これに対し、41 名の先生方から 160 余りのご意見をいただいた。これらのご意見をもとに委員会案に最終的な修正を加え、平成 22 年 8 月下旬に「糖尿病治療ガイド 2010」を発行した。

タイトルについては、当初「糖尿病治療ガイド 2010-2011」としていたが、日常臨床の現場での HbA1c の表記法が、早ければ 2011 年中にも変更される可能性があったため、2011 年中の本書の改訂も視野に入れて、今回は「糖尿病治療ガイド 2010」のタイトルで発行することとした。

表紙のデザインも若干変更したが、定価については今回は据え置くこととした。

2. HbA1c の国際標準化に伴う表記法の変更について

日常臨床や検診・健康診断などにおいては、当面の間は従来通りの HbA1c 値を用いることとなったが、近い将来の変更にそなえて「糖尿病治療ガイド 2010」では新旧の値を並記し、とくにコラムを設けて変更の背景や表記法の原則を説明した。

3. 編集委員の利益相反について

今回の改訂から、新たに「糖尿病治療ガイド編集委員の利益相反に関して」の記載を入れることとなった。

4. 「糖尿病治療ガイド 2010」の発行部数と売上状況

平成 22 年 8 月 26 日	第 1 刷発行	70,000 部
同 9 月 1 日	第 2 刷発行	30,000 部
同 9 月 11 日	第 3 刷発行	20,000 部
同 10 月 5 日	第 4 刷発行	20,000 部
(累計発行部数 14 万部)		

平成 22 年 8 月～平成 23 年 3 月末の累計売上部数は 121,472 部と、大変好評である。

5. 荒木栄一理事を次期委員長として、改訂版に着手する。

(2)インターネット委員会 委員長 田嶋尚子

平成 22 年度、委員会は開催していない。学会ホームページのアップデートやリンク依頼および広告掲載の許可等については、イ委員会委員メイリングリストを利用して審議、承認した。

学会誌「糖尿病」のオンラインジャーナルは、平成 23 年 3 月現在、54 巻 2 号までが掲載されている。第 47 巻（2004 年）以前の冊子はアーカイブで一般公開する方向で作業が完了している。

平成 19 年以来、日本糖尿病学会と日本医療情報学会は、合同シンポジウムなど定期的な共同企画事業を通じて協力関係を築いてきた。(平成 20 年 5 月 21 日、日本糖尿病学会定例理事会で承認)

平成 22 年は第 30 回医療情報学連合大会（浜松 11 月）において共同企画 9「医療情報を駆使した臨床は、

糖尿病管理を変革させるか」が、オーガナイザー中島直樹（九大）、座長田嶋尚子（日本糖尿病学会）・木村通男（日本情報学会）の構成で開催された。演者は、古井祐司（ヘルスケア・コミッティー（株））、野田光彦（国立国際医療研究センター）および城克文（厚労省保険局総務課）であり、IT を用いた医療情報を特定健診や J-DOIT など国家レベルでの糖尿病管理や大規模臨床研究においていかに活用するかについて最新の情報が提供され、ついで活発な意見交換が行われた。

日本糖尿病学会定例理事会（平成 22 年 11 月 28 日）ならびに日本医療情報学会理事会において検討した結果、IT 化による糖尿病診療の一層の向上を図ることを目的とし、①常置合同委員会を設置すること、②糖尿病の地域連携医療に資する糖尿病診療情報に関するデータセット（診療ミニマムセット：仮称）の策定・標準化を行うこと、③診療ミニマムセット（仮称）は実臨床における実態を十分尊重しながら科学的妥当性と使いやすさを兼ね備えたものとする、などが承認された。

(3) 糖尿病性腎症合同委員会 世話人 羽田勝計
平成 22 年度には 2 回の委員会（第 31 回：6 月 19 日、神戸国際会議場、第 31 回：12 月 5 日、東京慈恵会医科大学）を開催し、下記議論を行った。

1. 糖尿病性腎症の病期分類の改訂について：来年には CKD ステージ分類が改定され、また厚生労働省班研究（和田隆志班長）の成果も見込めることから、それを待って改定することとした。

2. 糖尿病性腎症の食事療法の基準について：CKD 食事療法と摂取エネルギーに関し違いがあることから、小委員会で検討すると共に、日本腎臓学会「CKD における食事療法の基準改定版」作成委員会に猪股委員・古家オブザーバーに加わって頂くこととした。

3. 糖尿病対策推進会議ワーキンググループから、「尿アルブミン測定の実態」に関する調査が、2 万例を目標に各都道府県糖尿病対策推進会議を中心に行われると報告された。

4. 各学会の責任者を定めた（日本糖尿病学会：羽田委員、日本腎臓学会：楨野委員、日本透析医学会：海津委員）。

(4) 移植関係学会合同委員会臓器移植中央調整委員会・臓器移植関連学会協議会報告

委員長 谷口 洋

(i) 第 28 回及び 29 回移植関係学会合同委員会が夫々平成 22 年 7 月 5 日と 12 月 10 日に開催され、①厚労省健康局長並びに臓器移植対策室長から⑦臓器移植改正法による親族への優先提供の規定は平成 22 年 1

月 17 日より施行、その他の部分は平成 22 年 7 月 17 日より施行、④改正の概要として本人の意思が不明の場合、家族の書面による承諾によって脳死判定、臓器摘出ができるとともに 15 歳未満も臓器提供の対象となること、⑤平成 22 年 6 月末現在脳死下での移植実施施設数、平成 9 年 10 月 16 日～平成 22 年 1 月 23 日までの臓器移植法施行後の脳死判定事例数と臓器提供事例数が説明・報告された。②臓器移植施設として獨協医科大学病院、京都大学医学部附属病院が新たに認定された。③悪性腫瘍患者への臓器移植の適応基準について「原則として、悪性腫瘍の治療終了後 5 年を経過し、この間に再発の兆候がなく、根治していると判断される場合は禁忌としない。しかし、その予後については腫瘍の種類・病理組織型・病気によって異なるため、治療終了後 5 年未満の場合には、腫瘍担当の主治医の意見を受けて、移植の適応が考慮される。」への改定が承認された。④その他、成人心臓（11 歳以上のみ対応）、小児心臓（11 歳未満も対応可）、小児心肺、肝臓の移植施設が承認された。

(ii) 平成 22 年度移植関係学会合同委員会臓器移植中央調整委員会は平成 22 年 10 月 20 日、平成 23 年 3 月 4 日に開催され、①平成 23 年 2 月 25 日現在、臓器移植申請は 427 件（内、臓器同時移植 365 件、臓器単独 62 件）あり、40 歳代を中心に 30 歳代から 50 歳代の申請が 398 件を占めている。②平成 23 年 2 月 28 日現在のネットワーク登録状況は 179 件（内、臓器同時移植 132 件、臓器単独 47 件）であり、ネットワーク既登録 333 件の内死体臓器移植済みは 94 件、生体臓器移植は 5 件、待機中死亡 32 件、取消 23 件であることが報告された。③本邦の臓器移植成果の全国横断の評価並びに本邦の糖尿病治療における情報共有と位置づけの検討のため各移植施設の糖尿病専門医ネットワークの立ち上げ、本中央調整委員会事務局業務の日本糖尿病学会事務局への委譲案が金澤委員長から提案され、日本糖尿病学会に検討を依頼することとなった。

(iii) 平成 22 年度第 15 回臓器移植関連学会協議会は平成 22 年 10 月 2 日に開催され、①本協議会参加学会の承認を得た「臓器移植法改正後の移植医療の体制整備に関する提言改訂版」を協議会参加学会に送付、厚労省に提出していること、さらに各臓器の移植施設認定状況が報告された。②また臓器提供施設の負担軽減を求めて参加 37 学会の連名で要望書を厚労省に提出することが決議された。

(5) 糖尿病学用語集編集委員会 委員長 石塚達夫
委員会は昨年度評議委員会終了後平成 22 年 6 月 6 日（日）、9 月 5 日（日）、11 月 23 日（火、祝）、平成 23 年 2 月 6 日（日）の 4 回開催した。

第3版発行までのおよそのスケジュールを確認し、平成23年3月頃を目標とすることを確認した。しかし、東日本大震災により発行がやや遅れ、4月ようやく発行に至った。

2007年5月から引き継ぎ、用語集改訂に9名の委員とともに、3年11ヶ月を経て発行することができた。これは偏に糖尿病学会理事の先生方に加えて、日本糖尿病学会学術評議員、名誉評議員及び基礎、臨床各分野の専門の先生方のご協力の賜物と感謝する。毎回4-5時間の議論や検索を行った。古くなった用語や糖尿病学に直接関連しない用語は削除し、英和編7,019語、和英編6,929語、略語編975語、解説を付した用語809語と第2版にくらべてすべて増加した。用語解説の執筆者73名、執筆協力者は14名にお願いした。

本書が多くの方々にも有効に使用される事を願うと同時に今後とも利用者各位からの忌憚のないご意見を戴ければ幸いである。更に、日本医学会用語集委員会や他学会との今後の交流を含めた意見の統一も必要になり、これらの論議が行われて行くことを切に願う。

(6) 専門医取得のための研修ガイドブック作成委員会
委員長 岡 芳知

第4版を2009年4月末に発刊したが、さらなる最近の新しい糖尿病診療の進歩を取り入れて改訂を行う必要がある。改訂版の作成にあたり、中村二郎理事を委員長とし、所属支部を考慮して選出した9名と、関連する会務・委員会担当の理事5名の計14名を新委員とすることとなった。新しい編集委員のもとで、専門医認定委員会などと密接な連携をとりつつ、改訂を進める。

(7) 倫理委員会
委員長 谷澤幸生

1型糖尿病調査研究委員会、花房俊昭委員長より「劇症1型糖尿病症例における腹部MRIの疫学調査」について審査の依頼があった。倫理委員会で持ち回り審議を行なった結果、研究計画を承認した。ただし、日本糖尿病学会ホームページ上において当該研究の意義、目的、方法、研究機関名を公表することを要望した。

(8) 科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン策定委員会
委員長 田嶋尚子

「科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン2010」を平成22年9月29日に発行した(初刷5,000部)。改訂第3版となる本書には、新章として「糖尿病と歯周病」および「糖尿病と感染症、シックデイ」を設けた。また、2010年7月に日本糖尿病学会が報告した、新しい糖尿病の診断基準、HbA1c値に関する取り扱い、妊娠糖尿病の定義を掲載した。

平成23年3月末の売上は約4,000部であり、同年5月に3,000冊の増刷が出来る予定である。今後の検討課題は、HbA1c(国際標準値)への変更にもつれた血糖コントロールの指標と評価の見直しならびに本書の英文化である。

なお、本委員会は、委員および査読委員、執筆協力者と糖尿病および関連疾患に関与する企業との間の経済的関係につき、日本内科学会および関連学会の「臨床研究の利益相反(COI)に関する共通指針」に従って各委員より利益相反状況の申告を得た。

また、羽田勝計理事を次期委員長として、改訂に着手することとなった。

(9) 将来計画委員会
委員長 羽田勝計

第7回将来計画委員会を、平成22年11月23日、羽田空港内会議室で開催し、「日本糖尿病学会アクションプラン2010(DREAMS)」実現に向けた議論を行った。その結果、下記を理事会に提案した。第8回委員会は4月16日に開催し、残りのアクションプラン実現に向けた議論を行う予定である。

[アクションプラン、1.2.に関して]

1. Diagnosis and Care: 診療ネットワークの構築と拡充:

- 病診連携の点数化、DPCの適正化を目指す: 内保連担当理事を中心にワーキング・グループを作ってご検討する。
- 専門医制度の在り方に関する件: ワーキング・グループで、問題点を抽出し、提言を行う。
- 糖尿病対策推進会議: 各都道府県の糖尿病学会からの委員の立場、問題点を抽出。
- 糖尿病学の進歩: 専門医の教育 session を作るもしくは指定する。糖尿病療養指導士認定機構との共催も視野に、1群認定単位を考慮する。

2. Research to Cure

- DREAMSに合致する研究をサポートする基金作り: 糖尿病財団との協力
- 年次学術集会への増額予算の見直し: AASDが学術集会から離れたため、1,000万円を500万円に減額

(10) パブリックリレーションズ委員会

委員長 加来浩平
委員: 渥美義仁、植木浩二郎、小田原雅人、春日雅人、河盛隆造、田嶋尚子、寺内康夫、戸辺一之、濱野久美子、松田昌文、吉岡成人(50音順)

パブリックリレーションズ委員会は、今年度の委員会開催はなかった。

(11)利益相反委員会 委員長 加来浩平
委員：岩崎直子，岩本安彦，梅田文夫，小泉順二，
寺内康夫，前川 聡，山根公則，山田雅康(顧問
弁護士)(50音順)

昨年度委員会で提案され，理事会において承認を受けた基本方針に則り，内科系関連14学会共通のCOI指針案「臨床研究の利益相反指針」を基に本学会のCOI指針(案)の策定を行った。9月5日，10月21日に委員会を開催し，社団法人日本糖尿病学会「利益相反(COI)に関する指針」(Policy of Conflict of Interest in Japan Diabetes Society)(案)および同指針の細則(案)を協議の上で策定した。本指針(案)及び細則(案)については，本学術評議員会に提出予定である。

雑誌「糖尿病」，英文誌「Diabetes International」投稿時のCOI申請書，学術集会・「糖尿病学の進歩」他，当学会主催の学術集会における発表時のCOI申告スライドフォーマットを作成し，それぞれ可及的速やかに運用を開始する予定である。年次学術集会については，第55回から運用を開始する予定である。

(12)定款・細則検討委員会 委員長 加来浩平
委員：河盛隆造，羽田勝計，富永真琴，岩本安彦，
寺内康夫，中村二郎，井口登与志
事務局：山田雅康弁護士，久保まゆみ会計士，植木
浩二郎事務局長

昨年度内の合意に基づき，H22年5月27日学術評議員会，同28日総会において，一般社団法人化移行について，理事会一任の承認を得た。

平成22年8月22日，同10月31日，平成23年1月8日，同4月10日の計4回の委員会開催と，内閣府公益認定等委員会との法人移行相談等を踏まえて，一般社団法人日本糖尿病学会定款(案)及び同細則(案)を策定した。この間の途中経過及び進捗状況については，平成22年10月23日臨時理事会に報告し承認を得た。また，本定款(案)及び同細則(案)については，平成23年3月上旬より糖尿病学会ホームページ上に掲載すると共に，メールマガジンにより周知を行い，広く会員からの意見聴取を行った。

今後，平成23年5月18日学術評議委員会，同19日総会の決議に基づき，速やかに内閣府に対する認可申請の手続きを行い，平成24年度からは新法人として活動を開始するという当初のスケジュールに従って，移行作業を進めていく予定である。

4. 「糖尿病学の進歩」開催について

第46回「糖尿病学の進歩」

会期 平成24年3月2日(金)・3日(土)

会場 岩手県民会館，盛岡グランドホテル，岩手県公会堂，岩手県水産会館

世話人 佐藤 譲 (岩手医科大学医学部内科学講座糖尿病代謝内科分野)

第47回「糖尿病学の進歩」

会期 平成25年2月15日(金)・16日(土)(予定)

会場 四日市市文化会館，四日市都ホテル(予定)

世話人 住田安弘 (三重大学保健管理センター)

※第48回「糖尿病学の進歩」の開催支部が北海道支部に決定した。

5. 平成22年度収支決算に関する件 (中村理事)

総会で審議の上，22年度収支決算書が承認可決された。(本号 p601～p626)。

6. 平成23年度補正予算並びに平成24年度事業計画および収支予算に関する件

(加来理事・中村理事)

総会で審議の上，平成23年度補正予算(学術調査研究関連，職員の退職と増員の支出増ほか)並びに平成24年度事業計画および収支予算が承認可決された。

(本号 p627～p646)。

7. 名誉会員の推薦に関する件

理事会が推薦した堀田饒会員，名和田新会員の2名が総会において承認された。

8. 学術評議員の承認に関する件

各支部から選出された666名の学術評議員と理事会が推薦した八木橋操六，小島 至，永松信哉，矢田俊彦，豊田長康，山本 博，小泉昭夫，宮崎純一，矢部千尋，蛭名洋介，仁木一郎の11会員が総会において承認された。なお，評議員の選出は理事会に一任することが承認された。(本号 p647～p649)。

9. 次々会長(第57回学術集会)の選任に関する件

学術評議員会にて投票により第57回会長に花房俊昭会員が選出され，総会において承認された。

10. 第55回年次学術集会に関する件

平成24年5月17・18・19日の3日間，パシフィコ横浜(横浜市)において開催の予定である。

11. 編集委員，糖尿病協会委員会委員，および専門医認定委員会・専門医試験委員会委員の交代に関する件

任期満了に伴い各委員会の委員が交代することとなった。

「糖尿病」編集委員会 2011 年度選出委員（2011 年度～2014 年度）

北海道支部	伊藤 博史	医療法人ケイ・アイ オホーツク海病院
東北	五十嵐雅彦	山形大学医学部液性病態診断医学
関東甲信越	石橋 俊 平野 勉 佐々木 敬	自治医科大学内科内分泌代謝 昭和大学医学部内科学講座 東京慈恵会医科大学附属柏病院
中部	河村 孝彦	労働者健康福祉機構中部労災病院
近畿	長嶋 一昭 佐々木秀行	京都大学大学院医学研究科糖尿病・栄養内科学 和歌山県立医科大学付属病院第一内科
中国・四国	大沼 裕	愛媛大学医学部糖尿病内科（臨床検査医学）
九州	小宮 一郎	琉球大学医学部第二内科

「食品交換表」編集委員会 2011 年度選出委員（2011 年度～2014 年度）

北海道支部	横山 宏樹	医療法人社団自由が丘横山内科クリニック
関東甲信越	石田 均	杏林大学医学部第三内科
中部	井上 達秀	静岡県立総合病院糖尿病・内分泌代謝センター
近畿	山本 浩司	住友病院
中国・四国	井上 康	山口県立総合医療センター

「治療の手びき」編集委員会 2011 年度選出委員（2011 年度～2014 年度）

東北	成田 琢磨	秋田大学医学部
関東甲信越	島田 朗	東京都済生会中央病院内科
中部	石塚 達夫	岐阜大学大学院医学系研究科
近畿	絵本 正憲	大阪市立大学大学院
中国・四国	山根 公則	NTT 西日本中国健康管理センター

糖尿病協会委員会 2011 年度選出委員（2011 年度～2014 年度）

北海道支部	青木 伸	青木内科クリニック
東北	木村 健一	木村健一クリニック
関東甲信越	森 豊	東京慈恵会医科大学附属第三病院
中部	住田 安弘	三重大学保健管理センター
近畿	下村伊一郎	大阪大学大学院医学系研究科
中国・四国	中塔 辰明	岡山済生会総合病院内科
九州	浜口 和之	大分大学医学部看護学科地域・老年看護学講座

専門医認定委員会 2011 年度選出委員（2011 年度～2014 年度）

北海道支部	柳沢 克之	市立札幌病院内分泌代謝内科
東北	渡辺 毅	福島県立医科大学
関東甲信越	柴 輝男 平尾 紘一 橋本 尚武	東邦大学医療センター大橋病院糖尿病内科 H.E.C.サイエンスクリニック 東京女子医科大学八千代医療センター
中部	古家 大祐	金沢医科大学内分泌代謝制御学
近畿	黒瀬 健 坂口 一彦	関西電力病院糖尿病・栄養内科 神戸大学大学院医学系研究科
中国・四国	大澤 春彦	愛媛大学大学院医学系研究科
九州	桶田 俊光	(医)森和会赤坂おけだ内科クリニック

専門医試験委員会 2011 年度選出委員 (2011 年度～2014 年度)

北海道支部	関口 雅友	札幌厚生病院第一内科
東北	山口 宏	済生会山形済生病院糖尿病・内分泌科
関東甲信越	粟田 卓也	埼玉医科大学内分泌・糖尿病内科
	大野 敦	東京医科大学八王子医療センター
	阪本 要一	慈恵医大晴海トリトンクリニック
中部	笈田 耕治	福井中央クリニック
近畿	西 理宏	和歌山県立医科大学病態栄養治療学
	豊田健太郎	京都大学医学部附属病院糖尿病・栄養内科
中国・四国	四方 賢一	岡山大学病院新医療研究開発センター
九州	久富 昭孝	ひさとみ内科クリニック

12. 平成 23 年度選挙管理委員会委員の承認について

細則第 38 条により、下記の様に承認された。

北海道支部	渥美 敏也	西成病院糖尿病センター
東北	鈴木 進	太田総合病院附属太田西ノ内病院
関東甲信越	石田 均	杏林大学医学部第三内科
中部	榊原 文彦	住吉町クリニック内科
近畿	中村 直登	京都府立医科大学免疫内分泌内科
中国・四国	澤野 文夫	広島赤十字・原爆病院
九州	豊永 哲至	国立病院機構熊本医療センター
会長経験者	加来 浩平	川崎医科大学糖尿病・代謝・内分泌内科

13. 「糖尿病学の進歩」プログラム委員会について

細則第 42 条により、下記の様に決定された。

「糖尿病学の進歩」プログラム委員会

第 45 回「糖尿病学の進歩」世話人 山田研太郎

第 46 回「糖尿病学の進歩」世話人 佐藤 讓

第 54 回会長 羽田 勝計

第 55 回会長 渥美 義仁

学術担当常務理事 春日 雅人

14. 学会後援について

申し込みのあった 2 件を後援することとした。

1. 第 4 回 JSDEI セミナー 平成 23 年 7 月 31 日

「肥満・糖尿病, 栄養と口腔保健推進セミナー」

2. 第 28 回糖尿病 Up・Date 賢鳥セミナー

平成 23 年 8 月 27 日～28 日

15. 法人移行に伴う定款および細則の変更に関する件

一般社団法人への移行に伴う定款・細則の変更案が承認された。これにより、正会員と名誉会員を社員とすることとなった。

16. 若手研究奨励賞規定の変更に関する件

応募資格の条件の一部である「卒後 10 年以内」の前提条件が現行規定では不明確であるため、これを「大学卒後 10 年以内」に変更し、次回応募から適用することとした。

17. 会費 2 年以上滞納者に関する件

定款第 11 条第 3 号により会費 2 年以上滞納者 105 名の除名を決議した。

以上 文責 庶務担当常務理事 加来浩平

会 報

1. 財 産 目 録

平成23年3月31日 現在

(単位:円)

科 目		金 額	
資 産 の 部	1. 資産の部		
	1. 流動資産		
	1) 現金	5,883,745	
	2) 普通預金		
	三井住友銀行 白山支店	8,507,349	
	みずほ銀行 本郷支店	14,404,333	
	みずほ銀行 本郷支店	961	
	三菱東京UFJ銀行 本郷支店	25,462,758	
	三菱東京UFJ銀行 本郷支店	1,730,173	
	三菱東京UFJ銀行 本郷支店	50	
	三菱東京UFJ銀行 春日町支店	2,799,126	
	三菱東京UFJ銀行 春日町支店	377,525	
	住友信託銀行 東京営業部	1,673,750	
	北陸銀行 東京支店	3,272,357	
	本郷郵便局	20,011,992	78,240,374
	3) 振替貯金		
	ゆうちょ銀行		3,093,080
	4) 定額預金		
	本郷郵便局		1,906,910
	5) 定期預金		
	住友信託銀行 東京営業部		56,010,000
	1)~5)現金・預金合計		145,134,109
	6) 未収入金		
	広告料 2社		3,049,200
	印税 3社		7,485,818
	会誌 18件		200,800
	超過掲載料 2件		100,000
	会費 一般 648名		7,890,000
	賛助 4件		800,000
	第45回糖尿病学の進歩より繰入金		15,765,324
未収入金合計		35,291,142	
7) 立替金			
別刷製作費用 5名分		87,400	
第54回年次学術集会		18,576,361	
第55回年次学術集会		9,000,000	
立替金合計		27,663,761	
8) 前払費用			
平成23年度総会費用		2,654,875	
平成23年度IDF会費		848,442	
前払費用合計		3,503,317	
流動資産合計		211,592,329	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金 住友信託銀行 東京営業部		50,000,000	
基本財産合計		50,000,000	
(2) 特定資産			
1) 退職給付引当資産 住友信託銀行 東京営業部		43,763,938	
2) 坂口賞積立資産 三菱東京UFJ銀行 本郷支店		7,436,294	
本郷郵便局		10,000,000	
3) 学会賞積立資産 三菱東京UFJ銀行 本郷支店		1,952,940	
4) 名簿積立資産 住友信託銀行 東京営業部		8,000,000	
本郷郵便局		3,000,000	
5) 学術調査研究積立資産 三井住友銀行 白山支店		35,153,826	
住友信託銀行 東京営業部		23,090,000	
本郷郵便局		15,061,484	
本郷郵便局		10,000,000	
6) 国際情報交流基金資産 住友信託銀行 東京営業部		25,000,000	
本郷郵便局		5,330,090	
7) O A 機器積立資産 住友信託銀行 東京営業部		16,620,000	
8) 事務所移転・営繕積立資産 住友信託銀行 東京営業部		34,180,000	
9) 国際会議誘致準備積立資産 住友信託銀行 東京営業部		28,100,000	
10) 支部運営積立資産		76,733,607	
特定資産合計		343,422,179	
(3) その他固定資産			
1) 建物附属設備 間仕切		10,004	
2) 器具備品 サーハ-他 5点		230,140	
3) 電話加入権 (03)3815-4364		115,100	
その他固定資産合計		355,244	
固定資産合計		393,777,423	
資産合計		605,369,752	

糖尿病 54 卷 7 号 (2011)

科 目		金 額	
負 の 部	II. 負債の部		
	1. 流動負債		
	1) 前受金		
	会費 1,509名	15,270,000	
	会誌 130名	3,072,800	
	専門医認定審査料 11名	110,000	
	前受金合計	18,452,800	
	2) 預り金		
	社員負担 健保・厚生年金他	1,127,627	
	預り金合計	1,127,627	
	3) 未払金		
	糖尿病学用語集第3版 54号3号	12,221,874	
	専門医診療実態調査	4,712,872	
	地方会演題登録システム	2,236,380	
	Editorial Manager導入費	1,464,750	
	封筒	444,045	
	コピー用紙	229,162	
管理手数料	68,231		
未払法人税等	525,000		
未払金合計	28,714,622		
流動負債合計	50,616,936	70,197,363	
2. 固定負債			
退職給付引当金	43,763,938		
固定負債合計		43,763,938	
負債合計		113,961,301	
正味財産		491,408,451	

2. 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物付属設備及び器具備品・・・定率法による減価償却を実施している。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	50,000,000	0	0	50,000,000
小 計	50,000,000	0	0	50,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	41,235,000	2,528,938	0	43,763,938
坂口賞積立資産	17,425,692	10,602	0	17,436,294
学会賞積立資産	1,945,503	7,437	0	1,952,940
名簿積立資産	9,000,000	2,000,000	0	11,000,000
学術調査研究積立資産	83,305,310	0	0	83,305,310
国際情報交流基金資産	30,330,090	0	0	30,330,090
OA機器積立資産	16,620,000	0	0	16,620,000
事務所移転・営繕積立資産	34,180,000	0	0	34,180,000
国際会議誘致準備積立資産	28,100,000	0	0	28,100,000
支部運営積立資産	66,371,538	145,092,289	134,730,220	76,733,607
小 計	328,513,133	149,639,266	134,730,220	343,422,179
合 計	378,513,133	149,639,266	134,730,220	393,422,179

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	50,000,000	(50,000,000)	(0)	—
小 計	50,000,000	(50,000,000)	(0)	—
特定資産				
退職給付引当資産	43,763,938	(0)	(0)	(43,763,938)
坂口賞積立資産	17,436,294	(0)	(17,436,294)	—
学会賞積立資産	1,952,940	(0)	(1,952,940)	—
名簿積立資産	11,000,000	(0)	(11,000,000)	—
学術調査研究積立資産	83,305,310	(0)	(83,305,310)	—
国際情報交流基金資産	30,330,090	(0)	(30,330,090)	—
OA機器積立資産	16,620,000	(0)	(16,620,000)	—
事務所移転・営繕積立資産	34,180,000	(0)	(34,180,000)	—
国際会議誘致準備積立資産	28,100,000	(0)	(28,100,000)	—
支部運営積立資産	76,733,607	(0)	(76,733,607)	—
小 計	343,422,179	(0)	(299,658,241)	(43,763,938)
合 計	393,422,179	(50,000,000)	(299,658,241)	(43,763,938)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	1,000,000	989,996	10,004
器具備品	4,432,555	4,202,415	230,140
合 計	5,432,555	5,192,411	240,144

3. 貸借対照表 総括表

平成23年3月31日 現在

科 目	一般会計	専門医 特別会計	学術集会 特別会計	糖尿病学の進歩 特別会計	支部 特別会計	地方会 特別会計	支部認定委員会 特別会計	支部認定委員会 特別会計	内部取引消去	(単位:円)	合計
1. 流動資産											
現金	117,181,681										117,181,681
預入金	27,952,428	27,952,428									55,904,116
未収金	35,291,142										35,291,142
立替金	27,683,761										27,683,761
前払費用	3,503,317										3,503,317
流動資産合計	188,639,901	27,952,428									216,592,329
2. 固定資産											
(1) 基本財産											
定期預金	50,000,000										50,000,000
基本財産合計	50,000,000										50,000,000
(2) 特定資産											
退職給付引当資産	43,763,938										43,763,938
坂口賞積立資産	17,436,294										17,436,294
学会賞積立資産	1,952,940										1,952,940
名簿積立資産	11,000,000										11,000,000
学術調査研究積立資産	83,305,310										83,305,310
国際情報交流基金資産	30,330,090										30,330,090
O.A 機器積立資産	16,620,000										16,620,000
事務所移転・宮澤積立資産	34,180,000										34,180,000
国際会議誘致準備積立資産	28,100,000										28,100,000
支部運営積立資産	266,688,572				74,630,563		2,103,044				343,422,179
特定資産合計	266,688,572				74,630,563		2,103,044				343,422,179
(3) その他の固定資産											
建物附属設備	10,004										10,004
器具備品	230,140										230,140
電話加入権	115,100										115,100
その他の固定資産合計	355,244										355,244
固定資産合計	317,043,816				74,630,563		2,103,044				393,777,423
資産合計	500,683,717	27,952,428			74,630,563		2,103,044				605,369,752
II. 負債の部											
1. 流動負債											
前受金	18,342,800	110,000									18,452,800
預り金	1,127,627										1,127,627
未払金	50,616,936										50,616,936
流動負債合計	70,087,363	110,000									70,197,363
2. 固定負債											
退職給付引当金	43,763,938										43,763,938
固定負債合計	43,763,938										43,763,938
負債合計	113,851,301	110,000									113,961,301
III. 正味財産の部											
1. 指定正味財産	50,000,000										50,000,000
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)										(50,000,000)
2. 一般正味財産	336,832,416	27,842,428			74,630,563		2,103,044				441,408,451
(うち特定資産への充当額)	(266,688,572)	(0)			(74,630,563)		(2,103,044)				(343,422,179)
正味財産合計	386,832,416	27,842,428			74,630,563		2,103,044				491,408,451
負債及び正味財産合計	500,683,717	27,952,428			74,630,563		2,103,044				605,369,752

会 報

3. 貸 借 対 照 表 (一般会計)

平成23年3月31日 現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	117,181,681	139,651,733	△ 22,470,052
未収入金	35,291,142	32,118,870	3,172,272
立替金	27,663,761	22,158,698	5,505,063
前払費用	3,503,317	2,764,800	738,517
流動資産合計	183,639,901	196,694,101	△ 13,054,200
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	50,000,000	50,000,000	0
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	43,763,938	41,235,000	2,528,938
坂口賞積立資産	17,436,294	17,425,692	10,602
学会賞積立資産	1,952,940	1,945,503	7,437
名簿積立資産	11,000,000	9,000,000	2,000,000
学術調査研究積立資産	83,305,310	83,305,310	0
国際情報交流基金資産	30,330,090	30,330,090	0
O A 機器積立資産	16,620,000	16,620,000	0
事務所移転・営繕積立資産	34,180,000	34,180,000	0
国際会議誘致準備積立資産	28,100,000	28,100,000	0
特定資産合計	266,688,572	262,141,595	4,546,977
(3) その他の固定資産			
建物附属設備	10,004	20,003	△ 9,999
器具備品	230,140	322,726	△ 92,586
電話加入権	115,100	115,100	0
その他の固定資産合計	355,244	457,829	△ 102,585
固定資産合計	317,043,816	312,599,424	4,444,392
資産合計	500,683,717	509,293,525	△ 8,609,808
II. 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	18,342,800	49,319,600	△ 30,976,800
預り金	1,127,627	319,232	808,395
未払金	50,616,936	23,968,303	26,648,633
流動負債合計	70,087,363	73,607,135	△ 3,519,772
2. 固定負債			
退職給付引当金	43,763,938	41,235,000	2,528,938
固定負債合計	43,763,938	41,235,000	2,528,938
負債合計	113,851,301	114,842,135	△ 990,834
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
定期預金	50,000,000	50,000,000	0
指定正味財産 (うち基本財産への充当額)	50,000,000 (50,000,000)	50,000,000 (50,000,000)	0 (0)
2. 一般正味財産 (うち特定資産への充当額)	336,832,416 (266,688,572)	344,451,390 (262,141,595)	△ 7,618,974 (4,546,977)
正味財産合計	386,832,416	394,451,390	△ 7,618,974
負債及び正味財産合計	500,683,717	509,293,525	△ 8,609,808

3. 貸借対照表 (専門医特別会計)

平成23年3月31日 現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金 預金	27,952,428	36,277,259	△ 8,324,831
流動資産合計	27,952,428	36,277,259	△ 8,324,831
2. 固定資産			
固定資産合計	0	0	0
資産合計	27,952,428	36,277,259	△ 8,324,831
II. 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	110,000	90,000	20,000
負債合計	110,000	90,000	20,000
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産 (うち基本財産への充当額)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産 (うち特定資産への充当額)	27,842,428 (0)	36,277,259 (0)	△ 8,434,831 (0)
正味財産合計	27,842,428	36,277,259	△ 8,434,831
負債及び正味財産合計	27,952,428	36,367,259	△ 8,414,831

3. 貸借対照表 (支部特別会計)

平成23年3月31日 現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金 預金	0	0	0
流動資産合計	0	0	0
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
支部運営積立資産	74,630,563	64,268,494	10,362,069
固定資産合計	74,630,563	64,268,494	10,362,069
資産合計	74,630,563	64,268,494	10,362,069
II. 負債の部			
負債合計	0	0	0
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産 (うち特定資産への充当額)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産 (うち特定財産への充当額)	74,630,563 (74,630,563)	64,268,494 (64,268,494)	10,362,069 (10,362,069)
正味財産合計	74,630,563	64,268,494	10,362,069
負債及び正味財産合計	74,630,563	64,268,494	10,362,069

3. 貸借対照表 (支部認定委員会特別会計)

平成23年3月31日 現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金 預金	0	0	0
流動資産合計	0	0	0
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
支部運営積立資産	2,103,044	2,103,044	0
固定資産合計	2,103,044	2,103,044	0
資産合計	2,103,044	2,103,044	0
II. 負債の部			
負債合計	0	0	0
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産 (うち基本財産への充当額)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産 (うち特定資産への充当額)	2,103,044 (2,103,044)	2,103,044 (2,103,044)	0 (0)
正味財産合計	2,103,044	2,103,044	0
負債及び正味財産合計	2,103,044	2,103,044	0

5. 収支計算書総括表に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、前払費用・前受金及び立替金・預り金未払金を含めることにしている。なお、当期末残高は2. に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内容

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 預 金	175,838,992	145,134,109
未 収 入 金	32,118,870	35,291,142
立 替 金	22,158,698	27,663,761
前 払 費 用	2,764,800	3,503,317
合 計	232,881,360	211,592,329
前 受 金	49,319,600	18,452,800
預 り 金	319,232	1,127,627
未 払 金	23,968,303	50,616,936
合 計	73,607,135	70,197,363
次期繰越収支差額	159,274,225	141,394,966

会 報

6. 収 支 計 算 書 (一 般 会 計)

自 平 成 22 年 4 月 1 日

至 平 成 23 年 3 月 31 日

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	(500,000)	(609,999)	(△ 109,999)	
基本財産運用収入	500,000	609,999	△ 109,999	
会 費 収 入	(175,600,000)	(166,900,000)	(8,700,000)	
正 会 員 会 費 収 入	167,000,000	158,900,000	8,100,000	
賛 助 会 員 会 費 収 入	8,600,000	8,000,000	600,000	
事 業 収 入	(80,000,000)	(92,616,744)	(△ 12,616,744)	
出 版 事 業 収 入	80,000,000	92,616,744	△ 12,616,744	
寄 附 金 収 入	(2,000,000)	(2,000,000)	(0)	
寄 附 金 収 入	2,000,000	2,000,000	0	
雑 収 入	(2,100,000)	(5,413,265)	(△ 3,313,265)	
受 取 利 息 収 入	2,000,000	1,348,221	651,779	
雑 収 入	100,000	4,065,044	△ 3,965,044	
他会計からの繰入金収入	(0)	(22,582,702)	(△ 22,582,702)	
学術集会会計からの繰入金収入	0	22,582,702	△ 22,582,702	
事 業 活 動 収 入 計 (A)	260,200,000	290,122,710	△ 29,922,710	
2. 事業活動支出				
事 業 費 支 出	(248,100,000)	(175,232,227)	(72,867,773)	
調査研究費支出	(20,000,000)	(12,009,760)	(7,990,240)	
旅 費 交 通 費 支 出	6,000,000	2,189,680	3,810,320	
通 信 運 搬 費 支 出	200,000	85,860	114,140	
事 務 費 支 出	200,000	16,587	183,413	
調 査 費 支 出	10,000,000	8,203,486	1,796,514	
印 刷 製 本 費 支 出	100,000	16,000	84,000	
会 議 費 支 出	3,500,000	1,498,147	2,001,853	
糖尿病総合対策支出	(34,000,000)	(7,405,627)	(26,594,373)	
通 信 費 支 出	500,000	66,680	433,320	
印 刷 製 本 費 支 出	500,000	0	500,000	
会 議 費 支 出	7,000,000	703,730	6,296,270	
旅 費 交 通 費 支 出	11,000,000	1,805,217	9,194,783	
調 査 研 究 費 支 出	15,000,000	4,830,000	10,170,000	
インターネット委員会支出	(4,000,000)	(2,405,774)	(1,594,226)	
通 信 費 支 出	100,000	241,294	△ 141,294	
印 刷 製 本 費 支 出	100,000	0	100,000	
備 品 費 支 出	500,000	0	500,000	
会 議 費 支 出	300,000	0	300,000	
I T 関 係 整 備 費 支 出	500,000	209,580	290,420	
ホ ー ム ペ ー ジ 管 理 費 支 出	2,000,000	1,950,900	49,100	
旅 費 交 通 費 支 出	500,000	4,000	496,000	
選挙管理委員会支出	(900,000)	(373,685)	(526,315)	
旅 費 交 通 費 支 出	500,000	285,790	214,210	
会 議 費 支 出	300,000	87,895	212,105	
印 刷 製 本 費 支 出	50,000	0	50,000	
事 務 費 支 出	50,000	0	50,000	
各種委員会支出	(9,200,000)	(7,537,582)	(1,662,418)	
会 議 費 支 出	3,000,000	1,565,100	1,434,900	
旅 費 交 通 費 支 出	6,000,000	5,945,775	54,225	
通 信 費 支 出	100,000	24,292	75,708	
雑 費 支 出	100,000	2,415	97,585	
出版事業支出	(139,600,000)	(112,971,534)	(26,628,466)	
「糖尿病」	旅 費 交 通 費 支 出	6,000,000	5,864,940	135,060
	通 信 運 搬 費 支 出	26,500,000	23,408,980	3,091,020
	会 議 費 支 出	2,500,000	2,203,672	296,328
	事 務 費 支 出	500,000	625,530	△ 125,530
	印 刷 製 本 費 支 出	85,000,000	71,502,394	13,497,606
	租 税 公 課 支 出	0	261,327	△ 261,327
「英文誌」	旅 費 交 通 費 支 出	2,000,000	246,640	1,753,360
	通 信 運 搬 費 支 出	100,000	59,110	40,890
	会 議 費 支 出	600,000	218,220	381,780
	事 務 費 支 出	3,400,000	168,645	3,231,355
	印 刷 製 本 費 支 出	13,000,000	8,412,076	4,587,924

糖尿病 54巻7号 (2011)

科	目	予算額	決算額	差異	摘要
国際交流事業支出		(19,800,000)	(15,250,741)	(4,549,259)	
	旅 費 交 通 費 支 出	7,000,000	2,901,194	4,098,806	
	国 際 学 会 費 支 出	1,100,000	868,283	231,717	
	事 務 費 支 出	200,000	24,922	175,078	
	会 議 費 支 出	300,000	455,392	△ 155,392	
	通 信 運 搬 費 支 出	200,000	950	199,050	
	「国際糖尿病デー」開催支出	5,000,000	5,000,000	0	
	「 A A S D 」 支 出	4,000,000	4,000,000	0	
	East-West フォーラム	2,000,000	2,000,000	0	
「用語集」作成支出		(15,500,000)	(12,221,874)	(3,278,126)	
	印 刷 製 本 費 支 出	13,500,000	12,221,874	1,278,126	
	発 送 費 支 出	2,000,000	0	2,000,000	
助成費支出		(3,000,000)	(3,000,000)	(0)	
	助 成 費 支 出	3,000,000	3,000,000	0	
学術研究助成支出		(2,000,000)	(2,000,000)	(0)	
	学 術 研 究 助 成 支 出	2,000,000	2,000,000	0	
坂口賞支出		(100,000)	(55,650)	(44,350)	
	坂 口 賞 支 出	100,000	55,650	44,350	
管 理 費 支 出		[90,900,000]	[85,106,761]	[5,793,239]	
	給 料 手 当 支 出	43,000,000	39,999,539	3,000,461	
	福 利 厚 生 費 支 出	7,000,000	5,715,914	1,284,086	
	会 議 費 支 出	2,000,000	1,680,280	319,720	
	旅 費 交 通 費 支 出	4,000,000	4,697,575	△ 697,575	
	通 信 運 搬 費 支 出	5,000,000	4,256,882	743,118	
	事 務 費 支 出	3,000,000	3,653,992	△ 653,992	
	印 刷 製 本 費 支 出	2,500,000	1,890,537	609,463	
	支 払 手 数 料 支 出	12,000,000	11,708,383	291,617	
	光 熱 水 料 費 支 出	900,000	799,029	100,971	
	賃 借 料 支 出	11,000,000	10,209,462	790,538	
	雑 費 支 出	500,000	495,168	4,832	
他会計への繰入金支出		[37,046,000]	[34,427,593]	[2,618,407]	
学術・地方集会開催事業支出		(37,046,000)	(34,427,593)	(2,618,407)	
	糖尿病学の進歩会計への繰入金支出	4,000,000	4,000,000	0	
	年次学術集會会計への繰入金支出	14,000,000	14,000,000	0	
	支部会計への繰入金支出	19,046,000	16,427,593	2,618,407	
	事 業 活 動 支 出 計 (B)	376,046,000	294,766,581	81,279,419	
	事 業 活 動 収 支 差 額 (C) = (A) - (B)	△ 115,846,000	△ 4,643,871	△ 111,202,129	
II. 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
特定資産取崩収入		(45,000,000)	(0)	(45,000,000)	
	学術調査研究積立資産取崩収入	35,000,000	0	35,000,000	
	国際情報交流基金資産取崩収入	10,000,000	0	10,000,000	
	投 資 活 動 収 入 計 (D)	45,000,000	0	45,000,000	
2. 投資活動支出					
特定資産取得支出		(4,500,000)	(4,546,977)	(△ 46,977)	
	退職給付引当資産取得支出	2,500,000	2,500,000	0	
	退職給付引当資産繰入支出	0	28,938	△ 28,938	
	坂口賞積立資産取得支出	0	10,602	△ 10,602	
	学会賞積立資産繰入額	0	7,437	△ 7,437	
	名簿積立資産取得支出	2,000,000	2,000,000	0	
	投 資 活 動 支 出 計 (E)	4,500,000	4,546,977	△ 46,977	
	投 資 活 動 収 支 差 額 (F) = (D) - (E)	40,500,000	△ 4,546,977	45,046,977	
III. 予備費支出 (G)					
	当 期 収 支 差 額 (H) = (C) + (F) - (G)	△ 105,996,000	△ 9,190,848	△ 96,805,152	
	前 期 繰 越 収 支 差 額 (I)	123,086,966	123,086,966	0	
	次 期 繰 越 収 支 差 額 (J) = (H) + (I)	17,090,966	113,896,118	△ 96,805,152	

会 報

6. 収 支 計 算 書 (専 門 医 特 別 会 計)

自 平 成 22 年 4 月 1 日

至 平 成 23 年 3 月 31 日

(単 位 : 円)

科	目	予算額	決算額	差異	備考
I. 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
事業収入		(35,500,000)	(31,180,000)	(4,320,000)	
	専門医認定審査料収入	3,300,000	2,700,000	600,000	
	専門医認定料収入	6,600,000	4,720,000	1,880,000	
	専門医更新審査料収入	19,000,000	18,240,000	760,000	
	専門医受験料収入	6,600,000	5,520,000	1,080,000	
事業活動収入計(A)		35,500,000	31,180,000	4,320,000	
2. 事業活動支出					
事業費支出		[26,950,000]	[38,683,758]	[△ 11,733,758]	
	旅費交通費支出	10,000,000	12,703,790	△ 2,703,790	
	人件費支出	6,000,000	6,684,440	△ 684,440	
	会議費支出	3,000,000	2,902,366	97,634	
	会場費支出	4,000,000	3,042,652	957,348	
	通信費支出	800,000	4,744,650	△ 3,944,650	
	消耗品費支出	100,000	6,967,756	△ 6,867,756	
	印刷製本費支出	2,000,000	890,796	1,109,204	
	雑費支出	1,050,000	747,308	302,692	
他会計への繰入金支出		[2,100,000]	[841,073]	[1,258,927]	
	支部認定委員会への繰入金支出	2,100,000	841,073	1,258,927	
事業活動支出計(B)		29,050,000	39,524,831	△ 10,474,831	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)		6,450,000	△ 8,344,831	14,794,831	
II. 予備費支出(D)		1,750,000	0	1,750,000	
当期収支差額(E)=(C)-(D)		4,700,000	△ 8,344,831	13,044,831	
前期繰越収支差額(F)		36,187,259	36,187,259	0	
次期繰越収支差額(J)=(E)-(F)		40,887,259	27,842,428	13,044,831	

6. 収支計算書 (学術集会特別会計)

自平成22年4月1日

至平成23年3月31日

(単位:円)

科	目	予算額	決算額	差異	備考
I. 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
事業収入		(193,000,000)	(356,915,580)	(△ 163,915,580)	
	参加費収入	80,000,000	108,888,000	△ 28,888,000	
	展示会出展料収入	25,000,000	81,605,550	△ 56,605,550	
	各種セミナー共催費収入	45,000,000	103,424,700	△ 58,424,700	
	広告掲載料収入	3,000,000	22,802,200	△ 19,802,200	
	寄付金・助成金収入	40,000,000	35,330,000	4,670,000	
	その他収入	0	4,865,130	△ 4,865,130	
他会計からの繰入金収入		(14,000,000)	(14,000,000)	(0)	
	本部会計からの繰入金収入	14,000,000	14,000,000	0	
事業活動収入計(A)		207,000,000	370,915,580	△ 163,915,580	
2. 事業活動支出					
事業費支出		[194,000,000]	[364,098,202]	[△ 170,098,202]	
会議準備費支出		(28,500,000)	(70,258,050)	(△ 41,758,050)	
	事務局費支出	5,500,000	13,831,440	△ 8,331,440	
	会議費支出	3,000,000	1,860,005	1,139,995	
	印刷関係費支出	10,000,000	38,829,840	△ 28,829,840	
	通信費・運搬費支出	1,000,000	1,246,914	△ 246,914	
	委託費支出	9,000,000	14,489,851	△ 5,489,851	
会議運営費支出		(154,500,000)	(278,589,172)	(△ 124,089,172)	
	事務局費支出	2,000,000	0	2,000,000	
	会場関係費支出	70,000,000	56,973,192	13,026,808	
	機材関係費支出	35,000,000	79,817,492	△ 44,817,492	
	看板・ポスター・パネル関係費支出	5,500,000	9,350,460	△ 3,850,460	
	要員関係費支出	10,000,000	41,380,675	△ 31,380,675	
	展示会場設営費支出	8,000,000	26,854,321	△ 18,854,321	
	消耗品・その他運営費支出	2,000,000	1,408,227	591,773	
	飲食・会合関係費支出	10,000,000	34,601,876	△ 24,601,876	
	招待者旅費関係費支出	12,000,000	28,202,929	△ 16,202,929	
事後処理費支出		(1,000,000)	(2,031,180)	(△ 1,031,180)	
その他経費支出		(10,000,000)	(13,219,800)	(△ 3,219,800)	
他会計への繰入金支出		[0]	[6,817,378]	[△ 6,817,378]	
	本部会計への繰入金支出	0	6,817,378	△ 6,817,378	
事業活動支出計(B)		194,000,000	370,915,580	△ 176,915,580	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)		13,000,000	0	13,000,000	
II. 予備費支出 (D)					
当期収支差額(E)=(C)-(D)		0	0	0	
前期繰越収支差額(F)		0	0	0	
次期繰越収支差額(J)=(E)-(F)		0	0	0	

会 報

6. 収 支 計 算 書 (進 歩 特 別 会 計)

自 平 成 22 年 4 月 1 日

至 平 成 23 年 3 月 31 日

(単 位 : 円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
事業収入	(83,000,000)	(87,916,954)	(△ 4,916,954)	
参加費	35,000,000	34,690,000	310,000	
展示出展料	25,000,000	37,426,883	△ 12,426,883	
共催セミナー	7,000,000	11,025,000	△ 4,025,000	
広告費	8,000,000	1,806,000	6,194,000	
その他補助金	7,900,000	2,550,000	5,350,000	
雑収入	100,000	419,071	△ 319,071	
他会計からの繰入金収入	(4,000,000)	(4,000,000)	(0)	
本部会計からの繰入金収入	4,000,000	4,000,000	0	
事業活動収入計(A)	87,000,000	91,916,954	△ 4,916,954	
2. 事業活動支出				
事業費支出	[84,000,000]	[76,151,630]	[7,848,370]	
会議準備費支出	(18,900,000)	(13,540,927)	(5,359,073)	
演題処理関係費支出	6,000,000	207,932	5,792,068	
事前登録処理費支出	400,000	1,963,680	△ 1,563,680	
印刷・製作物関係費支出	4,000,000	4,309,200	△ 309,200	
通信・運搬関係費支出	500,000	996,844	△ 496,844	
事前準備人件費、打合せ費支出	5,000,000	2,653,560	2,346,440	
ホームページ作成費支出	1,000,000	0	1,000,000	
消耗品・備品関係費支出	2,000,000	3,409,711	△ 1,409,711	
会議運営費支出	(59,300,000)	(55,600,203)	(3,699,797)	
会場関係費支出	18,000,000	6,288,436	11,711,564	
機材・看板関係費支出	15,000,000	15,589,360	△ 589,360	
機器展示関係費支出	4,000,000	4,656,067	△ 656,067	
運営要員関係費支出	7,300,000	7,414,086	△ 114,086	
会合費支出	3,000,000	10,047,018	△ 7,047,018	
招聘費支出	12,000,000	11,605,236	394,764	
事後処理費支出	(800,000)	(340,200)	(459,800)	
その他経費支出	(5,000,000)	(6,670,300)	(△ 1,670,300)	
他会計への繰入金支出	[0]	[15,765,324]	[△ 15,765,324]	
本部会計への繰入金支出	0	15,765,324	△ 15,765,324	
事業活動支出計(B)	84,000,000	91,916,954	△ 7,916,954	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)	3,000,000	0	3,000,000	
II. 予備費支出(D)	3,000,000	0	3,000,000	
当期収支差額(E)=(C)-(D)	0	0	0	
前期繰越収支差額(F)	0	0	0	
次期繰越収支差額(J)=(E)-(F)	0	0	0	

6. 収支計算書 (支部特別会計)

自平成 22 年 4 月 1 日

至平成 23 年 3 月 31 日

(単位: 円)

科	目	予算額	決算額	差異	備考
I. 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
事業収入		(0)	(63,000)	(△ 63,000)	
	雑収入	0	63,000	△ 63,000	
他会計からの繰入金収入		(19,046,000)	(23,836,252)	(△ 4,790,252)	
	本部会計からの繰入金収入	19,046,000	16,427,593	2,618,407	
	地方会計からの繰入金収入	0	7,408,659	△ 7,408,659	
事業活動収入計 (A)		19,046,000	23,899,252	△ 4,853,252	
2. 事業活動支出					
事業費支出		[14,850,000]	[8,486,916]	[6,363,084]	
	人件費支出	1,650,000	1,003,327	646,673	
	通信費支出	380,000	641,670	△ 261,670	
	印刷費支出	330,000	272,998	57,002	
	会議費支出	2,170,000	790,454	1,379,546	
	旅費交通費支出	700,000	531,310	168,690	
	事務費支出	252,000	299,243	△ 47,243	
	消耗品費支出	300,000	3,112	296,888	
	学術評議員選挙費支出	7,500,000	4,625,593	2,874,407	
	雑費支出	1,568,000	319,209	1,248,791	
他会計への繰入金支出		[3,300,000]	[5,048,500]	[△ 1,748,500]	
	地方会会計への繰入金支出	3,300,000	5,048,500	△ 1,748,500	
事業活動支出計 (B)		18,150,000	13,535,416	4,614,584	
事業活動収支差額 (C) = (A) - (B)		896,000	10,363,836	△ 9,467,836	
II. 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
特定資産取崩収入		(0)	(0)	(0)	
	支部運営積立資産収入			0	
投資活動収入計 (D)		0	0	0	
2. 投資活動支出					
特定資産取得支出		(0)	(10,363,836)	(△ 10,363,836)	
	支部運営積立資産支出	0	10,363,836	△ 10,363,836	
投資活動支出計 (E)		0	10,363,836	△ 10,363,836	
投資活動収支差額 (F) = (D) - (E)		0	△ 10,363,836	10,363,836	
III. 予備費支出 (G)		896,000	0	896,000	
当期収支差額 (H) = (C) + (F) - (G)		0	0	0	
前期繰越収支差額 (I)		0	0	0	
次期繰越収支差額 (J) = (H) + (I)		0	0	0	

会 報

6. 収 支 計 算 書 (地方会特別会計)

自 平成 22 年 4 月 1 日

至 平成 23 年 3 月 31 日

(単 位 : 円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
事業収入	(75,035,000)	(115,302,993)	(△ 40,267,993)	
参加費	25,350,000	40,929,500	△ 15,579,500	
寄付金	15,570,000	16,766,975	△ 1,196,975	
広告料	7,240,000	10,603,500	△ 3,363,500	
展示料	8,240,000	14,715,236	△ 6,475,236	
共催セミナー	17,935,000	29,635,000	△ 11,700,000	
雑収入	700,000	2,652,782	△ 1,952,782	
他会計からの繰入金収入	(3,300,000)	(5,048,500)	(△ 1,748,500)	
支部会計からの繰入金収入	3,300,000	5,048,500	△ 1,748,500	
事業活動収入計(A)	78,335,000	120,351,493	△ 42,016,493	
2. 事業活動支出				
地方会事業費支出	[71,107,900]	[112,942,834]	[△ 41,834,934]	
会場賃借料支出	17,716,950	18,998,741	△ 1,281,791	
会場設営費支出	13,630,950	16,084,349	△ 2,453,399	
機器使用料支出	9,356,200	18,106,389	△ 8,750,189	
印刷費支出	9,187,600	14,561,887	△ 5,374,287	
通信費支出	3,143,500	4,377,664	△ 1,234,164	
事務費支出	3,782,700	11,576,758	△ 7,794,058	
消耗品費支出	1,838,000	1,948,131	△ 110,131	
旅費交通費支出	2,920,000	3,865,397	△ 945,397	
人件費支出	7,692,000	11,502,082	△ 3,810,082	
雑費支出	1,840,000	8,440,741	△ 6,600,741	
租税公課支出	0	3,480,695	△ 3,480,695	
他会計への繰入金支出	[0]	[7,408,659]	[△ 7,408,659]	
支部会計への繰入金支出	0	7,408,659	△ 7,408,659	
事業活動支出計(B)	71,107,900	120,351,493	△ 49,243,593	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)	7,227,100	0	7,227,100	
II. 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定資産取崩収入	(0)	(0)	(0)	
投資活動収入計(D)	0	0	0	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出	(0)	(0)	(0)	
投資活動支出計(E)	0	0	0	
投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	0	0	0	
III. 予備費支出	(G)			
当期収支差額(H)=(C)+(F)-(G)	0	0	0	
前期繰越収支差額(I)	0	0	0	
次期繰越収支差額(J)=(H)+(I)	0	0	0	

6. 収支計算書（支部認定委員会特別会計）

自平成22年4月1日

至平成23年3月31日

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備考
I. 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
事業収入		(0)	(471)	(△ 471)	
	雑収入	0	471	△ 471	
他会計からの繰入金収入		(2,100,000)	(841,073)	(1,258,927)	
	専門医特別会計からの繰入金収入	2,100,000	841,073	1,258,927	
事業活動収入計(A)		2,100,000	841,544	1,258,456	
2. 事業活動支出					
支部認定委員会事業費支出		(2,100,000)	(843,311)	(1,256,689)	
	通信費支出	200,000	93,640	106,360	
	印刷費支出	200,000	0	200,000	
	会議費支出	220,000	200,851	19,149	
	旅費交通費支出	1,130,000	544,200	585,800	
	事務費支出	30,000	0	30,000	
	消耗品費支出	320,000	4,620	315,380	
事業活動支出計(B)		2,100,000	843,311	1,256,689	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)		0	△ 1,767	1,767	
II. 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
特定資産取崩収入		(0)	(1,767)	(△ 1,767)	
支部運営積立資産収入		0	1,767	△ 1,767	
投資活動収入計(D)		0	1,767	△ 1,767	
2. 投資活動支出					
特定資産取得支出		(0)	(0)	(0)	
	支部運営積立資産支出	0	0	0	
投資活動支出計(E)		0	0	0	
投資活動収支差額(F)=(D)-(E)		0	1,767	△ 1,767	
III. 予備費支出 (G)		0	0	0	
当期収支差額(H)=(C)+(F)-(G)		0	0	0	
前期繰越収支差額(I)		0	0	0	
次期繰越収支差額(J)=(H)+(I)		0	0	0	

7. 収支計算書(一般会計)に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、前払費用・前受金及び立替金・預り金・未払金を含めることにしている。なお、当期末残高は2. に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内容

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 預 金	139,561,733	117,181,681
未 収 入 金	32,118,870	35,291,142
立 替 金	22,158,698	27,663,761
前 払 費 用	2,764,800	3,503,317
合 計	196,604,101	183,639,901
前 受 金	49,229,600	18,342,800
預 り 金	319,232	1,127,627
未 払 金	23,968,303	50,616,936
合 計	73,517,135	70,087,363
次期繰越収支差額	123,086,966	113,552,538

7. 収支計算書(専門医会計)に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、前払費用・前受金及び立替金・預り金・未払金を含めることにしている。なお、当期末残高は2. に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内容

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 預 金	36,277,259	27,952,428
合 計	36,277,259	27,952,428
前 受 金	90,000	110,000
合 計	90,000	110,000
次期繰越収支差額	36,187,259	27,842,428

糖尿病 54巻7号 (2011)

8. 正味財産増減計算書総括表
自 平成22年4月 1日
至 平成23年3月31日

(単位:円)

科 目	一般会計	専門医 特別会計	学術集会 特別会計	糖尿病学の進歩 特別会計	支部 特別会計	地方会 特別会計	支部認定委員会 特別会計	内部取引消去	合計
I. 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用収入	609,999								609,999
基本財産運用収入	609,999								609,999
会費収入	166,900,000								166,900,000
正会員会費収入	158,900,000								158,900,000
賛助会員会費収入	8,000,000								8,000,000
事業収入	92,616,744	31,180,000	356,915,580	87,916,954	63,000	115,302,993	471		683,995,742
出版事業収入	92,616,744								92,616,744
専門医認定審査料収入		2,700,000							2,700,000
専門医認定料収入		4,720,000							4,720,000
専門医更新審査料収入		18,240,000							18,240,000
専門医受験料収入		5,520,000							5,520,000
参加費収入			108,888,000	34,690,000		40,929,500			184,507,500
展示会出展料収入			81,605,550	37,426,883		14,715,236			133,747,669
各種セミナー共催費収入			103,424,700	11,025,000		29,635,000			144,084,700
広告掲載料収入			22,802,200	1,806,000		10,603,500			35,211,700
寄付金・助成金収入			35,330,000	2,550,000		16,766,975	471		54,647,446
その他収入			4,865,130	419,071	63,000	2,652,782			7,999,983
寄附金収入	2,000,000								2,000,000
寄附金収入	2,000,000								2,000,000
雑収入	5,413,265								5,413,265
受取利息収入	1,348,221								1,348,221
雑収入	4,065,044								4,065,044
他会計からの繰入金収入	22,582,702		14,000,000	4,000,000	23,836,252	5,048,500	841,073	△ 70,308,527	0
学術集會会計からの繰入金収入	22,582,702							△ 22,582,702	0
本部会計からの繰入金収入			14,000,000	4,000,000	16,427,593		841,073	△ 35,268,666	0
地方会計からの繰入金収入					7,408,659			△ 7,408,659	0
支部会計からの繰入金収入						5,048,500		△ 5,048,500	0
専門医特別会計からの繰入金収入								△ 5,048,500	0
経常収益計	290,122,710	31,180,000	370,915,580	91,916,954	23,899,252	120,351,493	841,544	△ 70,308,527	858,919,006
(2) 経常費用									
事業費	175,232,227	38,683,758	364,098,202	76,151,630	8,486,916	112,942,834	843,311		776,438,878
旅費交通費	19,243,236	12,703,790			531,310	3,865,397	544,200		36,887,933
通信運搬費	23,887,166	4,744,650	1,246,914	996,844	641,670	4,377,664	93,640		35,988,548
事務費	835,684								835,684
調査費	13,033,486								13,033,486
印刷製本費	92,152,344	890,796	38,829,840	4,309,200	272,998	14,561,887	0		151,017,065
会議費	6,732,156	2,902,366	1,860,005		790,454		200,851		12,485,832
備品費	0								0
IT関係整備費	209,580								209,580
ホームページ管理費	1,950,900								1,950,900
学術評議員選挙費					4,625,593				4,625,593
雑費	2,415	747,308			319,209	8,440,741			9,509,673
租税公課	261,327					3,480,695			3,742,022
国際学会費	868,283								868,283
「国際糖尿病デー」開催	5,000,000								5,000,000
「A A S D」	4,000,000								4,000,000
East-West フォーラム	2,000,000								2,000,000
助成費	3,000,000								3,000,000
学術研究助成費	2,000,000								2,000,000
返送料	55,650								55,650
入件費		6,684,440			1,003,327	11,502,082			19,189,849
会場費		3,042,652	56,973,192	6,288,436		18,998,741			85,303,021
消耗品費		6,967,756			3,112	1,948,131	4,620		8,923,619
車務局費			13,831,440		299,243	11,576,758	0		25,707,441
委託費			14,489,851			16,084,349			30,574,200
機材・託板関係費			89,167,952	15,589,360		18,106,389			122,863,701
要員関係費			41,380,675	7,414,086					48,794,761
展示会場設営費			26,854,321	4,656,067					31,510,388
消耗品・その他運営費			1,408,227	3,409,711					4,817,938
飲食・会合関係費			34,601,876	10,047,018					44,648,894
招待者旅費関係費			28,202,929	11,605,236					39,808,165
事後処理費			2,031,180	340,200					2,371,380
その他経費			13,219,800	6,670,300					19,890,100
演題処理関係費				207,932					207,932
事前登録処理費				1,963,680					1,963,680
事前準備人件費、打合せ費				2,653,560					2,653,560
ホームページ作成費									0
管理費	87,707,206								87,707,206
給料手当	39,999,539								39,999,539
退職給付費用	2,528,938								2,528,938
福利厚生費	5,715,914								5,715,914
会議費	1,680,280								1,680,280
旅費交通費	4,697,575								4,697,575
通信運搬費	4,256,882								4,256,882
事務費	3,653,992								3,653,992
印刷製本費	1,890,537								1,890,537
支払手数料	11,708,383								11,708,383
光熱水料費	799,029								799,029
賃借料	10,209,462								10,209,462
雑費	495,168								495,168
減価償却費	71,507								71,507
他会計への繰入額	34,427,593	841,073	6,817,378	15,765,324	5,048,500	7,408,659	0	△ 70,308,527	0
糖尿病学の進歩会計への繰入額	4,000,000							△ 4,000,000	0
年次学術集會会計への繰入額	14,000,000							△ 14,000,000	0
支部会計への繰入額	16,427,593					7,408,659		△ 23,836,252	0
支部認定委員会への繰入額		841,073						△ 841,073	0
本部会計への繰入額			6,817,378	15,765,324				△ 22,582,702	0
地方会計への繰入額					5,048,500			△ 5,048,500	0
経常費用計	297,367,026	39,524,831	370,915,580	91,916,954	13,535,416	120,351,493	843,311	△ 70,308,527	864,146,084
当期経常増減額	△ 7,244,316	△ 8,344,831	0	0	10,363,836	0	△ 1,767	△ 70,308,527	△ 5,227,078
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
固定資産廃棄損	31,078								31,078
仕器備品廃棄損	31,078								31,078
経常外費用計	31,078	0	0	0	0	0	0		31,078
当期一般正味財産増減額	△ 7,275,394	△ 8,344,831	0	0	10,363,836	0	△ 1,767		△ 5,258,156
一般正味財産期首残高	344,451,390	36,187,259	0	0	63,244,740	3,126,798	0		447,010,187
一般正味財産期末残高	337,175,996	27,842,428	0	0	73,608,576	3,125,031	0		441,752,031
II. 指定正味財産増減の部									
(1) 基本財産運用益									
基本財産受取利息	609,999								609,999
(2) 一般正味財産への振替額									
一般正味財産への振替額	△ 609,999	0	0	0	0	0	0	0	△ 609,999
当期指定正味財産収支差額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	50,000,000	0	0	0	0	0	0	0	50,000,000
指定正味財産期末残高	50,000,000	0	0	0	0	0	0	0	50,000,000
III. 正味財産期末残高	387,175,996	27,842,428	0	0	73,608,576	0	3,125,031	0	491,752,031

会 報

9. 正味財産増減計算書（一般会計）

自平成22年4月1日
至平成23年3月31日

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	(609,999)	(609,999)	(0)
会 費 収 入	609,999	609,999	0
正 会 員 会 費 収 入	166,900,000	172,560,000	(△ 5,660,000)
賛 助 会 員 会 費 収 入	158,900,000	162,960,000	△ 4,060,000
事 業 収 入	8,000,000	9,600,000	△ 1,600,000
出 版 事 業 収 入	(92,616,744)	(68,384,141)	(24,232,603)
寄 附 金 収 入	92,616,744	68,384,141	24,232,603
寄 附 金 収 入	(2,000,000)	(2,000,000)	(0)
雑 収 入	2,000,000	2,000,000	0
受 取 利 息 収 入	(5,413,265)	(2,777,100)	(2,636,165)
雑 収 入	1,348,221	1,693,228	△ 345,007
他 会 計 からの 繰 入 金 収 入	4,065,044	1,083,872	2,981,172
本 部 会 計 からの 繰 入 金 収 入	(22,582,702)	(10,098,048)	(12,484,654)
経 常 収 益 計 (A)	22,582,702	10,098,048	12,484,654
(2) 経常費用	290,122,710	256,429,288	33,693,422
事 業 費	(175,232,227)	(152,832,230)	(22,399,997)
調 査 研 究 費	(12,009,760)	(12,452,438)	(△ 442,678)
旅 費 交 通 費	2,189,680	5,335,560	△ 3,145,880
通 信 運 搬 費	85,860	116,633	△ 30,773
事 務 費	16,587	58,075	△ 41,488
調 査 費	8,203,486	1,743,600	6,459,886
印 刷 製 本 費	16,000	385,263	△ 369,263
会 議 費	1,498,147	4,813,307	△ 3,315,160
糖 尿 病 総 合 対 策	(7,405,627)	(8,185,594)	(△ 779,967)
通 信 費	66,680	412,491	△ 345,811
印 刷 製 本 費	0	1,448,649	△ 1,448,649
会 議 費	703,730	1,553,006	△ 849,276
旅 費 交 通 費	1,805,217	3,677,300	△ 1,872,083
調 査 研 究 費	4,830,000	1,094,148	3,735,852
イ ン タ ー ネ ッ ト 委 員 会	(2,405,774)	(1,981,645)	(424,129)
通 信 費	241,294	176,380	64,914
印 刷 製 本 費	0	0	0
備 品 費	0	0	0
会 議 費	0	0	0
I T 関 係 整 備 費	209,580	203,700	5,880
ホ ー ム ペ ー ジ 管 理 費	1,950,900	1,601,565	349,335
旅 費 交 通 費	4,000	0	4,000
選 挙 管 理 委 員 会	(373,685)	(68,087)	(305,598)
旅 費 交 通 費	285,790	0	285,790
会 議 費	87,895	68,087	19,808
印 刷 製 本 費	0	0	0
事 務 費	0	0	0
各 種 委 員 会	(7,537,582)	(5,607,369)	(1,930,213)
会 議 費	1,565,100	1,863,163	△ 298,063
旅 費 交 通 費	5,945,775	3,736,821	2,208,954
通 信 費	24,292	2,320	21,972
雑 費	2,415	5,065	△ 2,650
出 版 事 業	(112,971,534)	(107,842,090)	(5,129,444)
「糖尿病」	5,864,940	7,853,020	△ 1,988,080
通 信 運 搬 費	23,408,980	23,208,311	200,669
会 議 費	2,203,672	2,791,707	△ 588,035
事 務 費	625,530	584,192	41,338
印 刷 製 本 費	71,502,394	72,192,160	△ 689,766
租 税 公 課	261,327	1,212,700	△ 951,373
「英文誌」	246,640	0	246,640
通 信 運 搬 費	59,110	0	59,110
会 議 費	218,220	0	218,220
事 務 費	168,645	0	168,645
印 刷 製 本 費	8,412,076	0	8,412,076

糖尿病 54巻7号 (2011)

科	目	当年度	前年度	増 減
	国際交流事業	(15,250,741)	(11,500,507)	(3,750,234)
	旅 費 交 通 費	2,901,194	4,477,940	△ 1,576,746
	国 際 学 会 費	868,283	464,930	403,353
	事 務 費	24,922	414,610	△ 389,688
	会 議 費	455,392	141,559	313,833
	通 信 運 搬 費	950	1,468	△ 518
	「世界糖尿病デー」開催	5,000,000	5,000,000	0
	「A A S D」開催	4,000,000	1,000,000	3,000,000
	East-West フォーラム	2,000,000	0	2,000,000
	「用語集」作成	(12,221,874)	(0)	(12,221,874)
	印 刷 製 本 費	12,221,874	0	12,221,874
	発 送 費	0	0	0
	助 成 金	(3,000,000)	(3,100,000)	(△ 100,000)
	助 成 金	3,000,000	3,100,000	△ 100,000
	学 術 研 究 助 成	(2,000,000)	(2,000,000)	(0)
	学 術 研 究 助 成	2,000,000	2,000,000	0
	坂 口 賞	(55,650)	(94,500)	(△ 38,850)
	坂 口 賞	55,650	94,500	△ 38,850
管 理 費		[87,707,206]	[90,579,757]	[△ 2,872,551]
	給 料 手 当	39,999,539	33,714,185	6,285,354
	退 職 給 付 費 用	2,528,938	9,709,006	△ 7,180,068
	福 利 厚 生 費	5,715,914	5,307,263	408,651
	会 議 費	1,680,280	1,633,766	46,514
	旅 費 交 通 費	4,697,575	5,877,307	△ 1,179,732
	通 信 運 搬 費	4,256,882	6,289,801	△ 2,032,919
	事 務 費	3,653,992	6,510,022	△ 2,856,030
	印 刷 製 本 費	1,890,537	2,033,612	△ 143,075
	支 払 手 数 料	11,708,383	9,127,104	2,581,279
	光 熱 水 料 費	799,029	687,615	111,414
	貸 借 料	10,209,462	9,011,601	1,197,861
	雑 費	495,168	576,808	△ 81,640
	減 価 償 却 費	71,507	101,667	△ 30,160
他 会 計 へ の 繰 出 額		[34,427,593]	[29,907,727]	[4,519,866]
	学 術 ・ 地 方 集 会 開 催 事 業	(34,427,593)	(29,907,727)	(4,519,866)
	糖尿病学の進歩会計への繰出額	4,000,000	4,000,000	0
	年次学術集會会計への繰出額	14,000,000	14,294,227	△ 294,227
	支部会計への繰出額	16,427,593	11,613,500	4,814,093
	経 常 費 用 計 (B)	297,367,026	273,319,714	24,047,312
	当 期 経 常 増 減 額 (C) = (A) - (B)	△ 7,244,316	△ 16,890,426	9,646,110
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
	経 常 外 収 益 計 (D)	0	0	0
(2) 経常外費用				
				0
固 定 資 産 廃 棄 損		[31,078]	[0]	[31,078]
	什 器 備 品 廃 棄 損	31,078	0	31,078
	経 常 外 費 用 計 (E)	31,078	0	31,078
	当 期 経 常 外 増 減 額 (F) = (D) - (E)	△ 31,078	0	△ 31,078
	当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額 (G) = (C) + (F)	△ 7,275,394	△ 16,890,426	9,615,032
	一 般 正 味 財 産 期 首 残 高 (H)	344,451,390	361,341,816	△ 16,890,426
	一 般 正 味 財 産 期 末 残 高 (I) = (G) + (H)	337,175,996	344,451,390	△ 7,275,394
II. 指定正味財産増減の部				
(1) 基本財産運用益				
	基 本 財 産 受 取 利 息	609,999	609,999	0
(2) 一般正味財産への振替額				
	一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 609,999	△ 609,999	0
	当 期 指 定 正 味 財 産 取 支 差 額 (J)	0	0	0
	指 定 正 味 財 産 期 首 残 高 (K)	50,000,000	50,000,000	0
	指 定 正 味 財 産 期 末 残 高 (L) = (J) + (K)	50,000,000	50,000,000	0
III. 正味財産期末残高	(M) = (I) + (L)	387,175,996	394,451,390	△ 7,275,394

会 報

9. 正味財産増減計算書（専門医特別会計）

自平成22年4月1日

至平成23年3月31日

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収入	(31,180,000)	(29,390,000)	(1,790,000)
専門医認定審査料収入	2,700,000	3,010,000	△ 310,000
専門医認定料収入	4,720,000	4,700,000	20,000
専門医更新審査料収入	18,240,000	15,800,000	2,440,000
専門医受験料収入	5,520,000	5,880,000	△ 360,000
経常収益計(A)	31,180,000	29,390,000	1,790,000
(2) 経常費用			
事業費支出	[38,683,758]	[29,921,378]	[8,762,380]
旅費交通費	12,703,790	13,025,570	△ 321,780
人件費	6,684,440	6,000,000	684,440
会議費	2,902,366	3,353,896	△ 451,530
会場費	3,042,652	3,387,609	△ 344,957
通信費	4,744,650	1,014,574	3,730,076
消耗品費	6,967,756	840,102	6,127,654
印刷製本費	890,796	1,548,595	△ 657,799
雑費	747,308	751,032	△ 3,724
他会計への繰出額	[841,073]	[761,500]	[79,573]
支部認定委員会への繰出額	841,073	761,500	79,573
経常費用計(B)	39,524,831	30,682,878	8,841,953
当期経常増減額(C)=(A)-(B)	△ 8,344,831	△ 1,292,878	△ 7,051,953
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計(D)	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計(E)	0	0	0
当期経常外増減額(F)=(D)-(E)	0	0	0
当期一般正味財産増減額(G)=(C)+(F)	△ 8,344,831	△ 1,292,878	△ 7,051,953
一般正味財産期首残高(H)	36,187,259	37,480,137	△ 1,292,878
一般正味財産期末残高(I)=(G)+(H)	27,842,428	36,187,259	△ 8,344,831
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産収支差額(J)	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高(L)=(J)+(K)	0	0	0
III. 正味財産期末残高(M)=(I)+(L)	27,842,428	36,187,259	△ 8,344,831

9. 正味財産増減計算書 (学術集会特別会計)

自 平成 22 年 4 月 1 日

至 平成 23 年 3 月 31 日

(単位: 円)

科 目		当年度	前年度	増 減
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収入		(356,915,580)	(294,184,082)	(62,731,498)
	参加費	108,888,000	73,220,000	35,668,000
	展示会出展料	81,605,550	66,227,400	15,378,150
	各種セミナー共催費	103,424,700	95,130,000	8,294,700
	広告掲載料	22,802,200	22,223,000	579,200
	寄付金・助成金	35,330,000	34,265,000	1,065,000
	その他収入	4,865,130	3,118,682	1,746,448
他会計からの繰入金収入		(14,000,000)	(14,294,227)	(△ 294,227)
	本部会計からの繰入金収入	14,000,000	14,294,227	△ 294,227
経常収益計(A)		370,915,580	308,478,309	62,437,271
(2) 経常費用				
事業費支出		[364,098,202]	[308,478,309]	[55,619,893]
	会議準備費	(70,258,050)	(59,341,266)	(10,916,784)
	事務局費	13,831,440	8,138,306	5,693,134
	会議費	1,860,005	301,761	1,558,244
	印刷関係費	38,829,840	32,172,744	6,657,096
	通信費・運搬費	1,246,914	634,749	612,165
	委託費	14,489,851	18,093,706	△ 3,603,855
	会議運営費	(278,589,172)	(234,611,778)	(43,977,394)
	事務局費	0	7,628,795	△ 7,628,795
	会場関係費	56,973,192	88,188,561	△ 31,215,369
	機材関係費	79,817,492	49,967,762	29,849,730
	看板・ホスターパネル関係費	9,350,460	10,969,222	△ 1,618,762
	要員関係費	41,380,675	22,341,522	19,039,153
	展示会場設営費	26,854,321	11,359,304	15,495,017
	消耗品・その他運営費	1,408,227	2,548,011	△ 1,139,784
	飲食・会合関係費	34,601,876	3,391,383	31,210,493
	招待者旅費関係費	28,202,929	38,217,218	△ 10,014,289
	事後処理費	(2,031,180)	(185,265)	(1,845,915)
	その他経費	(13,219,800)	(14,340,000)	(△ 1,120,200)
他会計への繰出額		[6,817,378]	[0]	[6,817,378]
	本部会計への繰出額	6,817,378	0	6,817,378
経常費用計(B)		370,915,580	308,478,309	62,437,271
当期経常増減額(C)=(A)-(B)		0	0	0
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計(D)		0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計(E)		0	0	0
当期経常外増減額(F)=(D)-(E)		0	0	0
当期一般正味財産増減額(G)=(C)+(F)		0	0	0
一般正味財産期首残高(H)		0	0	0
一般正味財産期末残高(I)=(G)+(H)		0	0	0
II. 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産収支差額(J)		0	0	0
指定正味財産期首残高(K)		0	0	0
指定正味財産期末残高(L)=(J)+(K)		0	0	0
III. 正味財産期末残高(M)=(I)+(L)		0	0	0

会 報

9. 正味財産増減計算書（進歩特別会計）

自 平成 22 年 4 月 1 日

至 平成 23 年 3 月 31 日

（単位：円）

科 目		当年度	前年度	増 減
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収入		(87,916,954)	(93,202,870)	(△ 5,285,916)
	参加費	34,690,000	39,700,000	△ 5,010,000
	展示出展料	37,426,883	33,036,750	4,390,133
	共催セミナー	11,025,000	16,590,000	△ 5,565,000
	広告費	1,806,000	1,543,500	262,500
	その他補助金	2,550,000	2,000,000	550,000
	雑収入	419,071	332,620	86,451
他会計からの繰入額		(4,000,000)	(4,000,000)	(0)
	本部会計からの繰入額	4,000,000	4,000,000	0
経常収益計(A)		91,916,954	97,202,870	△ 5,285,916
(2) 経常費用				
事業費		[76,151,630]	[87,104,822]	[△ 10,953,192]
	会議準備費	(13,540,927)	(22,007,535)	(△ 8,466,608)
	演題処理関係費	207,932	6,688,482	△ 6,480,550
	事前登録処理費	1,963,680	429,800	1,533,880
	印刷・製作物関係費	4,309,200	7,638,638	△ 3,329,438
	通信・運搬関係費	996,844	1,487,000	△ 490,156
	事前準備人件費、打合せ費	2,653,560	2,392,427	261,133
	ホームページ作成費	0	866,250	△ 866,250
	消耗品・備品関係費	3,409,711	2,504,938	904,773
	会議運営費	(55,600,203)	(57,141,220)	(△ 1,541,017)
	会場関係費	6,288,436	16,584,655	△ 10,296,219
	機材・看板関係費	15,589,360	9,894,423	5,694,937
	機器展示関係費	4,656,067	3,215,520	1,440,547
	運営要員関係費	7,414,086	10,151,394	△ 2,737,308
	会合費	10,047,018	7,580,712	2,466,306
	招聘費	11,605,236	9,714,516	1,890,720
	事後処理費	(340,200)	(3,538,067)	(△ 3,197,867)
	その他経費	(6,670,300)	(4,418,000)	(2,252,300)
他会計への繰出額		[15,765,324]	[10,098,048]	[5,667,276]
	本部会計への繰出額	15,765,324	10,098,048	5,667,276
経常費用計(B)		91,916,954	97,202,870	△ 5,285,916
当期経常増減額(C)=(A)-(B)		0	0	0
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計(D)		0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計(E)		0	0	0
当期経常外増減額(F)=(D)-(E)		0	0	0
当期一般正味財産増減額(G)=(C)+(F)		0	0	0
一般正味財産期首残高(H)		0	0	0
一般正味財産期末残高(I)=(G)+(H)		0	0	0
II. 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産収支差額(J)		0	0	0
指定正味財産期首残高(K)		0	0	0
指定正味財産期末残高(L)=(J)+(K)		0	0	0
III. 正味財産期末残高(M)=(I)+(L)		0	0	0

9. 正味財産増減計算書 (支部特別会計)

自 平成 22 年 4 月 1 日

至 平成 23 年 3 月 31 日

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収入	(63,000)	(2,538,070)	(△ 2,475,070)
雑収入	63,000	2,538,070	△ 2,475,070
他会計からの繰入額	(23,836,252)	(20,187,831)	(3,648,421)
本部会計からの繰入額	16,427,593	11,613,500	4,814,093
本部会計からの繰入額	7,408,659	8,574,331	△ 1,165,672
経常収益計(A)	23,899,252	22,725,901	1,173,351
(2) 経常費用			
支部事業費	[8,486,916]	[5,996,352]	[2,490,564]
人件費	1,003,327	1,133,328	△ 130,001
通信費	641,670	268,542	373,128
印刷費	272,998	180,006	92,992
会議費	790,454	717,542	72,912
旅費交通費	531,310	585,180	△ 53,870
事務費	299,243	106,777	192,466
消耗品費	3,112	69,743	△ 66,631
学術評議員選挙費	4,625,593	0	4,625,593
雑費	319,209	2,935,234	△ 2,616,025
他会計への繰出額	[5,048,500]	[5,159,000]	[△ 110,500]
地方会会計への繰出額	5,048,500	5,159,000	△ 110,500
経常費用計(B)	13,535,416	11,155,352	2,380,064
当期経常増減額(C)=(A)-(B)	10,363,836	11,570,549	△ 1,206,713
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計(D)	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計(E)	0	0	0
当期経常外増減額(F)=(D)-(E)	0	0	0
当期一般正味財産増減額(G)=(C)+(F)	10,363,836	11,570,549	△ 1,206,713
一般正味財産期首残高(H)	63,244,740	51,374,191	11,870,549
一般正味財産期末残高(I)=(G)+(H)	73,608,576	62,944,740	10,663,836
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産収支差額(J)	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高(L)=(J)+(K)	0	0	0
III. 正味財産期末残高 (M)=(I)+(L)	73,608,576	62,944,740	10,663,836

会 報

9. 正味財産増減計算書（地方会特別会計）

自 平成 22 年 4 月 1 日

至 平成 23 年 3 月 31 日

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収入	(115,302,993)	(111,138,576)	(4,164,417)
参加費	40,929,500	40,948,500	△ 19,000
寄付金	16,766,975	11,432,850	5,334,125
広告料	10,603,500	9,841,000	762,500
展示料	14,715,236	11,696,786	3,018,450
共催セミナー	29,635,000	36,062,295	△ 6,427,295
雑収入	2,652,782	1,157,145	1,495,637
他会計からの繰入額	(5,048,500)	(5,159,000)	(△ 110,500)
支部会計からの繰入額	5,048,500	5,159,000	△ 110,500
経常収益計(A)	120,351,493	116,297,576	4,053,917
(2) 経常費用			
事業費	(112,942,834)	(107,423,245)	(5,519,589)
会場賃借料	18,998,741	22,557,534	△ 3,558,793
会場設営費	16,084,349	15,589,304	495,045
機器使用料	18,106,389	16,138,781	1,967,608
印刷費	14,561,887	17,142,504	△ 2,580,617
通信費	4,377,664	2,210,115	2,167,549
事務費	11,576,758	12,948,515	△ 1,371,757
消耗品費	1,948,131	1,744,204	203,927
旅費交通費	3,865,397	740,613	3,124,784
人件費	11,502,082	8,382,070	3,120,012
雑費	8,440,741	6,315,113	2,125,628
租税公課	3,480,695	3,654,492	△ 173,797
他会計への繰出額	(7,408,659)	(8,874,331)	(△ 1,465,672)
支部会計への繰出額	7,408,659	8,874,331	△ 1,465,672
経常費用計(B)	120,351,493	116,297,576	4,053,917
当期経常増減額(C)=(A)-(B)	0	0	0
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計(D)	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額(F)=(D)-(E)	0	0	0
当期一般正味財産増減額(G)=(C)+(F)	0	0	0
一般正味財産期首残高(H)	0	0	0
一般正味財産期末残高(I)=(G)+(H)	0	0	0
II. 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産収支差額(J)	0	0	0
指定正味財産期首残高(K)	0	0	0
指定正味財産期末残高(L)=(J)+(K)	0	0	0
III. 正味財産期末残高(M)=(I)+(L)	0	0	0

9. 正味財産増減計算書 (支部認定委員会特別会計)

自 平成 22 年 4 月 1 日

至 平成 23 年 3 月 31 日

(単 位 : 円)

科 目		当年度	前年度	増 減
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事 業 収 入		(471)	(492)	(△ 21)
	雑 収 入	471	492	△ 21
他会計からの繰入額		(841,073)	(761,500)	(79,573)
	本部会計からの繰入額	841,073	761,500	79,573
経 常 収 益 計 (A)		841,544	761,992	79,552
(2) 経常費用				
事 業 費		[843,311]	[764,355]	[78,956]
	通 信 費	93,640	61,330	32,310
	印 刷 費	0	3,140	△ 3,140
	会 議 費	200,851	195,763	5,088
	旅 費 交 通 費	544,200	494,900	49,300
	事 務 費	0	3,962	△ 3,962
	消 耗 品 費	4,620	5,260	△ 640
経 常 費 用 計 (B)		843,311	764,355	78,956
当 期 経 常 増 減 額 (C) = (A) - (B)		△ 1,767	△ 2,363	596
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経 常 外 収 益 計 (D)		0	0	0
(2) 経常外費用				
経 常 外 費 用 計 (E)		0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額 (F) = (D) - (E)		0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額 (G) = (C) + (F)		△ 1,767	△ 2,363	596
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高 (H)		3,126,798	3,129,161	△ 2,363
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高 (I) = (G) + (H)		3,125,031	3,126,798	△ 1,767
II. 指定正味財産増減の部				
当 期 指 定 正 味 財 産 収 支 差 額 (J)		0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高 (K)		0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高 (L) = (J) + (K)		0	0	0
III. 正味財産期末残高 (M) = (I) + (L)		3,125,031	3,126,798	△ 1,767

平成23年度収支補正予算書総括表

自平成23年4月1日
至平成24年3月31日

(単位:円)

科目	(単位:円)						
	1 一般会計	2 専門医 特別会計	3 学術集会 特別会計	4 糖尿病学の進歩 特別会計	5 支部 特別会計	6 地方会 特別会計	7 支部認定委員会 特別会計
I. 事業活動収支の部							内部取引消去
1. 事業活動収入							
基本財産運用収入	500,000						
会費収入	177,600,000						
助成金収入	0						
事業収入	499,135,000	29,900,000	231,200,000	83,000,000		75,035,000	0
寄付金収入	2,000,000						
雑収入	2,100,000						
他会計繰入金収入	0						
他会計繰入金収入	262,200,000	29,900,000	240,200,000	87,000,000	11,850,000	3,950,000	2,100,000
事業活動収入計	681,335,000	29,900,000	240,200,000	87,000,000	11,850,000	3,950,000	2,100,000
2. 事業活動支出							
管理費支出	97,400,000						
事業費支出	689,737,400	26,950,000	233,100,000	84,000,000	6,529,500	71,257,900	2,100,000
他会計への繰入金支出	0	2,100,000			3,950,000		
事業活動支出計	787,137,400	29,050,000	233,100,000	84,000,000	10,479,500	71,257,900	2,100,000
事業活動収支差額	△ 105,802,400	850,000	7,100,000	3,000,000	1,370,500	7,727,100	0
II. 投資活動収支の部							
1. 投資活動収入							
特定資産取崩収入	132,405,310						
投資活動収入計	132,405,310	0	0	0	0	0	0
2. 投資活動支出							
特定資産取得支出	2,500,000						
投資活動支出計	2,500,000	0	0	0	0	0	0
投資活動収支差額	129,905,310	0	0	0	0	0	0
III. 予備費支出							
当期収支差額	△ 27,494,690	△ 900,000	7,100,000	3,000,000	1,370,500	7,727,100	0
前期繰越収支差額	141,394,966	27,842,428	0	0	0	0	0
次期繰越収支差額	113,900,276	26,942,428	0	0	0	0	0

糖尿病 54巻7号 (2011)

1. 収支補正予算書 (一般会計)

自 平成 23 年 4 月 1 日
至 平成 24 年 3 月 31 日

(単 位 : 円)

科	目	補正予算額	当初予算額	差異	備考	
1. 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
基本財産運用収入		(500,000)	(500,000)	(0)		
	基本財産運用収入	500,000	500,000	0		
会費収入		(177,600,000)	(177,600,000)	(0)		
	正会員会費収入	169,000,000	169,000,000	0		
	賛助会員会費収入	8,600,000	8,600,000	0		
事業収入		(80,000,000)	(80,000,000)	(0)		
	出版事業収入	80,000,000	80,000,000	0		
寄附金収入		(2,000,000)	(2,000,000)	(0)		
	寄附金収入	2,000,000	2,000,000	0		
雑収入		(2,100,000)	(2,100,000)	(0)		
	受取利息収入	2,000,000	2,000,000	0		
	雑収入	100,000	100,000	0		
事業活動収入計(A)		262,200,000	262,200,000	0		
2. 事業活動支出						
管理費支出		[97,400,000]	[85,400,000]	[12,000,000]		
	給料手当支出	48,000,000	38,000,000	10,000,000	職員の退職と増員	
	福利厚生費支出	7,000,000	6,500,000	500,000	"	
	会議費支出	2,000,000	2,000,000	0		
	旅費交通費支出	5,000,000	4,000,000	1,000,000	臨時理事会・職員増員	
	通信運搬費支出	5,000,000	5,000,000	0		
	事務費支出	3,000,000	3,000,000	0		
	印刷製本費支出	2,500,000	2,500,000	0		
	支払手数料支出	12,000,000	12,000,000	0		
	光熱水料費支出	900,000	900,000	0		
	賃借料支出	11,000,000	11,000,000	0		
	雑費支出	1,000,000	500,000	500,000	関連団体会費等	
事業費支出		[265,800,000]	[241,860,000]	[23,940,000]		
	調査研究費支出	(51,000,000)	(20,000,000)	(31,000,000)		
		旅費交通費支出	6,000,000	6,000,000	0	
		通信運搬費支出	200,000	200,000	0	
		事務費支出	200,000	200,000	0	
		調査費支出	40,000,000	10,000,000	30,000,000	学術調査研究委員会・新診断基準の検証・災害時の職
		印刷製本費支出	100,000	100,000	0	
		会議費支出	3,500,000	3,500,000	0	
		合併症学会共同研究費	1,000,000	0	1,000,000	
	糖尿病総合対策支出	(34,000,000)	(34,000,000)	(0)		
		通信費支出	500,000	500,000	0	
		印刷製本費支出	500,000	500,000	0	
		会議費支出	7,000,000	7,000,000	0	
		旅費交通費支出	11,000,000	11,000,000	0	
		調査研究費支出	15,000,000	15,000,000	0	
	インターネット委員会支出	(4,000,000)	(4,000,000)	(0)		
		通信費支出	100,000	100,000	0	
		印刷製本費支出	100,000	100,000	0	
		備品費支出	500,000	500,000	0	
		会議費支出	300,000	300,000	0	
		IT関係整備費支出	500,000	500,000	0	
		ホームページ管理費支出	2,000,000	2,000,000	0	
		旅費交通費支出	500,000	500,000	0	
	選挙管理委員会支出	(900,000)	(900,000)	(0)		
		旅費交通費支出	500,000	500,000	0	
		会議費支出	300,000	300,000	0	
		印刷製本費支出	50,000	50,000	0	
		事務費支出	50,000	50,000	0	
	各種委員会支出	(9,200,000)	(9,200,000)	(0)		
		会議費支出	3,000,000	3,000,000	0	
		旅費交通費支出	6,000,000	6,000,000	0	
		通信費支出	100,000	100,000	0	
		雑費支出	100,000	100,000	0	

会 報

科	目	補正予算額	当初予算額	差異	摘要
事業費支出	出版事業支出	(142,300,000)	(141,300,000)	(1,000,000)	
	「糖尿病」				
	旅費交通費支出	6,000,000	6,000,000	0	
	通信運搬費支出	26,500,000	26,500,000	0	
	会議費支出	2,500,000	2,500,000	0	
	事務費支出	500,000	500,000	0	
	印刷製本費支出	85,000,000	85,000,000	0	
	「英文誌」				
	旅費交通費支出	2,000,000	2,000,000	0	
	通信運搬費支出	100,000	100,000	0	
	会議費支出	600,000	600,000	0	
	事務費支出	3,600,000	3,600,000	0	
	印刷製本費支出	15,500,000	14,500,000	1,000,000	
	国際交流事業支出	(21,800,000)	(19,800,000)	(2,000,000)	
	旅費交通費支出	9,000,000	9,000,000	0	
	国際学会費支出	1,100,000	1,100,000	0	
	事務費支出	200,000	200,000	0	
	会議費支出	300,000	300,000	0	
	通信運搬費支出	200,000	200,000	0	
	「国際糖尿病デー」開催支出	5,000,000	5,000,000	0	
	「A A S D」支出	4,000,000	4,000,000	0	
	East-West フォーラム	0	0	0	
	I S P A D 開催支出	2,000,000	0	2,000,000	ISPADへの助成
	Web名簿運営費用	(3,780,000)	(7,560,000)	(△ 3,780,000)	
	システム構築支出	2,500,000	5,000,000	△ 2,500,000	今期だけ
	システム使用料	1,280,000	2,560,000	△ 1,280,000	今期から以降年間維持費
	「用語集」作成支出	(0)	(0)	(0)	
	印刷製本費支出	0	0	0	
	発送支出	0	0	0	
	助成費支出	(0)	(3,000,000)	(△ 3,000,000)	
	合併症学会	0	1,000,000	△ 1,000,000	
	療養指導士認定機構	0	500,000	△ 500,000	管理の雑費支出へ
	サマーキャンプ	0	1,500,000	△ 1,500,000	各支部で支出する
	学術研究助成支出	(2,500,000)	(2,000,000)	(500,000)	
	学会賞	2,000,000	2,000,000	0	
	Y I A	500,000	0	500,000	
	坂口賞支出	(100,000)	(100,000)	(0)	
	坂口賞支出	100,000	100,000	0	
他会計への繰入金支出		(24,850,000)	(29,850,000)	(△ 5,000,000)	
	学術・地方集会開催事業支出	(24,850,000)	(29,850,000)	(△ 5,000,000)	
	糖尿病学の進歩支出	4,000,000	4,000,000	0	
	年次学術集会支出	9,000,000	14,000,000	△ 5,000,000	
	支部補助費支出	11,850,000	11,850,000	0	
事業活動支出計(B)		388,050,000	357,110,000	30,940,000	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)		△ 125,850,000	△ 94,910,000	△ 30,940,000	
II. 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
特定資産取崩収入		(132,405,310)	(114,000,000)	(18,405,310)	
	学術調査研究積立資産取崩収入	83,305,310	95,000,000	△ 11,694,690	
	国際情報交流基金資産取崩収入	10,000,000	10,000,000	0	
	国際会議誘致準備積立資金取崩収入	28,100,000	0	28,100,000	積み立て全額取り崩し
	名簿作成積立資産取崩収入	11,000,000	9,000,000	2,000,000	積み立て全額取り崩し
投資活動収入計(D)		132,405,310	114,000,000	18,405,310	
2. 投資活動支出					
特定資産取得支出		(2,500,000)	(2,500,000)	(0)	
	退職給付引当資産取得支出	2,500,000	2,500,000	0	
	名簿積立資産取得支出	0	0	0	
投資活動支出計(E)		2,500,000	2,500,000	0	
投資活動収支差額(F)=(D)-(E)		129,905,310	111,500,000	18,405,310	
III. 予備費支出 (G)					
当期収支差額(H)=(C)+(F)-(G)		△ 26,594,690	△ 14,060,000	△ 12,534,690	
前期繰越収支差額(I)		113,552,538	113,552,538	0	
次期繰越収支差額(J)=(H)+(I)		86,957,848	99,492,538	△ 12,534,690	

2. 収支補正予算書 (専門医特別会計)

自 平成 23 年 4 月 1日
至 平成 24 年 3 月 31日

(単位:円)

科	目	補正予算額	当初予算額	差異	備考
I. 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
認定事業収入		(29,900,000)	(29,900,000)	(0)	
	専門医認定審査料収入	3,300,000	3,300,000	0	
	専門医認定料収入	6,600,000	6,600,000	0	
	専門医更新審査料収入	13,400,000	13,400,000	0	
	専門医受験料収入	6,600,000	6,600,000	0	
事業活動収入計(A)		29,900,000	29,900,000	0	
2. 事業活動支出					
認定事業費支出		[26,950,000]	[26,950,000]	[0]	
	旅費交通費支出	10,000,000	10,000,000	0	
	人件費支出	6,000,000	6,000,000	0	
	会議費支出	3,000,000	3,000,000	0	
	会場費支出	4,000,000	4,000,000	0	
	通信費支出	800,000	800,000	0	
	消耗品費支出	100,000	100,000	0	
	印刷製本費支出	2,000,000	2,000,000	0	
	雑費支出	1,050,000	1,050,000	0	
他会計への繰入金支出		[2,100,000]	[2,100,000]	[0]	
	支部認定委員会への繰入金支出	2,100,000	2,100,000	0	
事業活動支出計(B)		29,050,000	29,050,000	0	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)		850,000	850,000	0	
II. 予備費支出(D)		1,750,000	1,750,000	0	
当期収支差額(E)=(C)-(D)		△ 900,000	△ 900,000	0	
前期繰越収支差額(F)		27,842,428	27,842,428	0	
次期繰越収支差額(J)=(E)-(F)		26,942,428	26,942,428	0	

会 報

3. 収 支 補 正 予 算 書 (学 術 集 会 特 別 会 計)

自 平 成 23 年 4 月 1 日
至 平 成 24 年 3 月 31 日

(単 位 : 円)

科 目	補正予算額	当初予算額	差 異	備 考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
学 術 集 会 事 業 収 入	(231,200,000)	(231,200,000)	(0)	
参 加 費 収 入	96,440,000	96,440,000	0	
展 示 会 出 展 料 収 入	48,075,000	48,075,000	0	
各 種 セ ミ ナ ー 共 催 費 収 入	57,330,000	57,330,000	0	
広 告 掲 載 料 収 入	5,355,000	5,355,000	0	
寄 付 金 ・ 助 成 金 収 入	24,000,000	24,000,000	0	
そ の 他 収 入	0	0	0	
他 会 計 か ら の 繰 入 金 収 入	(9,000,000)	(14,000,000)	(△ 5,000,000)	
本 部 会 計 か ら の 繰 入 金 収 入	9,000,000	14,000,000	△ 5,000,000	
事 業 活 動 収 入 計 (A)	240,200,000	245,200,000	△ 5,000,000	
2. 事業活動支出				
学 術 集 会 事 業 費 支 出	[233,100,000]	[238,100,000]	[△ 5,000,000]	
会 議 準 備 費 支 出	(43,000,000)	(43,000,000)	(0)	
事 務 局 費 支 出	4,000,000	4,000,000	0	
会 議 費 支 出	1,000,000	1,000,000	0	
印 刷 関 係 費 支 出	19,000,000	19,000,000	0	
通 信 費 ・ 運 搬 費 支 出	1,000,000	1,000,000	0	
委 託 費 支 出	18,000,000	18,000,000	0	
会 議 運 営 費 支 出	(173,800,000)	(173,800,000)	(0)	
事 務 局 費 支 出	1,500,000	1,500,000	0	
会 場 関 係 費 支 出	45,000,000	45,000,000	0	
機 材 関 係 費 支 出	44,000,000	44,000,000	0	
看 板 ・ ホ ス タ ー ハ ン ネ ル 関 係 費 支 出	8,000,000	8,000,000	0	
要 員 関 係 費 支 出	12,000,000	12,000,000	0	
展 示 会 場 設 営 費 支 出	8,500,000	8,500,000	0	
消 耗 品 ・ そ の 他 運 営 費 支 出	4,800,000	4,800,000	0	
飲 食 ・ 会 合 関 係 費 支 出	15,000,000	15,000,000	0	
招 待 者 旅 費 関 係 費 支 出	35,000,000	35,000,000	0	
事 後 処 理 費 支 出	(1,300,000)	(1,300,000)	(0)	
そ の 他 経 費 支 出	(15,000,000)	(20,000,000)	(△ 5,000,000)	
事 業 活 動 支 出 計 (B)	233,100,000	238,100,000	△ 5,000,000	
事 業 活 動 収 支 差 額 (C) = (A) - (B)	7,100,000	7,100,000	0	
II. 予 備 費 支 出 (D)	7,100,000	7,100,000	0	
当 期 収 支 差 額 (E) = (C) - (D)	0	0	0	
前 期 繰 越 収 支 差 額 (F)	0	0	0	
次 期 繰 越 収 支 差 額 (I) = (E) - (F)	0	0	0	

4. 収支補正予算書(進歩特別会計)

自 平成23年4月1日
至 平成24年3月31日

(単位:円)

科	目	補正予算額	当初予算額	差異	備考
I. 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
糖尿病学の進歩事業収入		(83,000,000)	(83,000,000)	(0)	
	参加費収入	35,000,000	35,000,000	0	
	展示出展料収入	25,000,000	25,000,000	0	
	共催セミナー	7,000,000	7,000,000	0	
	広告費収入	8,000,000	8,000,000	0	
	その他補助金収入	7,900,000	7,900,000	0	
	雑収入	100,000	100,000	0	
他会計からの繰入金収入		(4,000,000)	(4,000,000)	(0)	
	本部会計からの繰入金収入	4,000,000	4,000,000	0	
事業活動収入計(A)		87,000,000	87,000,000	0	
2. 事業活動支出					
糖尿病学の進歩事業費支出		(84,000,000)	(84,000,000)	(0)	
	会議準備費支出	(18,900,000)	(18,900,000)	(0)	
	演題処理関係費支出	6,000,000	6,000,000	0	
	事前登録処理費支出	400,000	400,000	0	
	印刷・製作物関係費支出	4,000,000	4,000,000	0	
	通信・運搬関係費支出	500,000	500,000	0	
	事前準備人件費、打合費支出	5,000,000	5,000,000	0	
	ホームページ作成費支出	1,000,000	1,000,000	0	
	消耗品・備品関係費支出	2,000,000	2,000,000	0	
	会議運営費支出	(59,300,000)	(59,300,000)	(0)	
	会場関係費支出	18,000,000	18,000,000	0	
	機材・看板関係費支出	15,000,000	15,000,000	0	
	機器展示関係費支出	4,000,000	4,000,000	0	
	運営要員関係費支出	7,300,000	7,300,000	0	
	会合費支出	3,000,000	3,000,000	0	
	招聘費支出	12,000,000	12,000,000	0	
	事後処理費支出	(800,000)	(800,000)	(0)	
	その他経費支出	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)	
事業活動支出計(B)		84,000,000	84,000,000	0	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)		3,000,000	3,000,000	0	
II. 予備費支出(D)		3,000,000	3,000,000	0	
当期収支差額(E)=(C)-(D)		0	0	0	
前期繰越収支差額(F)		0	0	0	
次期繰越収支差額(J)=(E)-(F)		0	0	0	

会 報

5. 収 支 補 正 予 算 書 (支 部 特 別 会 計)

自 平 成 23 年 4 月 1 日
至 平 成 24 年 3 月 31 日

(単 位 : 円)

科 目		補正予算額	当初予算額	差 異	備 考
I. 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
支 部 事 業 収 入		(0)	(0)	(0)	
	雑 収 入	0	0	0	
他 会 計 からの 繰 入 金 収 入		(11,850,000)	(11,850,000)	(0)	
	本部会計からの繰入金収入	11,850,000	11,850,000	0	
事 業 活 動 収 入 計 (A)		11,850,000	11,850,000	0	
2. 事業活動支出					
支 部 事 業 費 支 出		[6,529,500]	[6,529,500]	[0]	
	人 件 費	1,650,000	1,650,000	0	
	通 信 費	380,000	380,000	0	
	印 刷 費	350,000	350,000	0	
	会 議 費	1,438,000	1,438,000	0	
	旅 費 交 通 費	650,000	650,000	0	
	事 務 費	252,000	252,000	0	
	消 耗 品 費	150,000	150,000	0	
	雑 費	1,659,500	1,659,500	0	
他 会 計 への 繰 入 金 支 出		[3,950,000]	[3,960,000]	[△ 10,000]	
	地方会会計への繰入金支出	3,950,000	3,960,000	△ 10,000	※当初予算額の10,000金額誤謬
事 業 活 動 支 出 計 (B)		10,479,500	10,489,500	△ 10,000	
事 業 活 動 収 支 差 額 (C) = (A) - (B)		1,370,500	1,360,500	10,000	
II. 予備費支出 (D)					
当 期 収 支 差 額 (E) = (C) - (D)		0	0	0	
前 期 繰 越 収 支 差 額 (F)		0	0	0	
次 期 繰 越 収 支 差 額 (J) = (E) - (F)		0	0	0	

5. 収 支 補 正 予 算 書 (地方会特別会計)

自 平成 23 年 4 月 1 日
至 平成 24 年 3 月 31 日

(単位 : 円)

科 目		補正予算額	当初予算額	差 異	備 考
I. 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
地方会事業収入		(75,035,000)	(75,035,000)	(0)	
	参加費収入	25,350,000	25,350,000	0	
	寄付金収入	15,570,000	15,570,000	0	
	広告料収入	7,240,000	7,240,000	0	
	展示料収入	8,240,000	8,240,000	0	
	共催セミナー収入	17,935,000	17,935,000	0	
	雑収入	700,000	700,000	0	
他会計からの繰入金収入		(3,950,000)	(3,950,000)	(0)	
	支部会計からの繰入金収入	3,950,000	3,950,000	0	
事業活動収入計 (A)		78,985,000	78,985,000	0	
2. 事業活動支出					
地方会事業費支出		[71,257,900]	[71,257,900]	[0]	
	会場賃借料支出	17,716,950	17,716,950	0	
	会場設営費支出	13,780,950	13,780,950	0	
	機器使用料支出	9,356,200	9,356,200	0	
	印刷費支出	9,187,600	9,187,600	0	
	通信費支出	3,143,500	3,143,500	0	
	事務費支出	3,782,700	3,782,700	0	
	消耗品費支出	1,838,000	1,838,000	0	
	旅費交通費支出	2,920,000	2,920,000	0	
	人件費支出	7,692,000	7,692,000	0	
	雑費支出	1,840,000	1,840,000	0	
	租税公課支出	0	0	0	
事業活動支出計 (B)		71,257,900	71,257,900	0	
事業活動収支差額 (C) = (A) - (B)		7,727,100	7,727,100	0	
II. 予備費支出 (D)		7,727,100	7,727,100	0	
当期収支差額 (E) = (C) - (D)		0	0	0	
前期繰越収支差額 (F)		0	0	0	
次期繰越収支差額 (J) = (E) - (F)		0	0	0	

会 報

5. 収 支 補 正 予 算 書 (支 部 認 定 委 員 会 特 別 会 計)

自 平 成 23 年 4 月 1日
至 平 成 24 年 3 月 31日

(単 位 : 円)

科	目	補正予算額	当初予算額	差 異	備考
I. 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
事 業 収 入		(0)	(0)	(0)	
	寄 附 金 収 入	0	0		
他 会 計 か ら の 繰 入 金 収 入		(2,100,000)	(2,100,000)	(0)	
	本 部 会 計 か ら の 繰 入 金 収 入	2,100,000	2,100,000	0	
事 業 活 動 収 入 計 (A)		2,100,000	2,100,000	0	
2. 事業活動支出					
事 業 費 支 出		[2,100,000]	[2,100,000]	[0]	
	通 信 費 支 出	200,000	200,000	0	
	印 刷 費 支 出	200,000	200,000	0	
	会 議 費 支 出	220,000	220,000	0	
	旅 費 交 通 費 支 出	1,130,000	1,130,000	0	
	事 務 費 支 出	30,000	30,000	0	
	消 耗 品 費 支 出	320,000	320,000	0	
事 業 活 動 支 出 計 (B)		2,100,000	2,100,000	0	
事 業 活 動 収 支 差 額 (C) = (A) - (B)		0	0	0	
II. 予 備 費 支 出 (D)					
当 期 収 支 差 額 (E) = (C) - (D)		0	0	0	
前 期 繰 越 収 支 差 額 (F)		0	0	0	
次 期 繰 越 収 支 差 額 (J) = (E) - (F)		0	0	0	

社団法人 日本糖尿病学会事業計画
(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

- I. 糖尿病に関する調査及び研究 (定款第 5 条 1)
1. 糖尿病関連検査の標準化に関する調査検討
 2. 1 型糖尿病に関する調査研究
 3. 日本を含めたアジア地域のメタボリックシンドロームの臨床像の把握およびその原因の解明
 4. 糖尿病の死因に関する調査研究
- II. 糖尿病に関する学術講演会, 討論会及び研究会の開催 (定款第 5 条 2)
1. 第 55 回年次学術集会
会 期 平成 24 年 5 月 17 日 (木) ～5 月 19 日 (土)
会 場 パシフィコ横浜 (横浜市)
会 長 渥美 義仁(東京都済生会中央病院)
○特別講演
○招待講演
○シンポジウム
○ワークショップ
 2. 第 47 回「糖尿病学の進歩」(東北支部)
会 期 平成 25 年 2 月 15 日 (金)・16 日 (土)(予定)
会 場 四日市市文化会館, 四日市都ホテル (四日市市・予定)
世話人 住田 安弘 (三重大学保健管理センター)
 3. 地方会活動
1) 第 46 回日本糖尿病学会北海道地方会
2) 第 50 回日本糖尿病学会東北地方会
3) 第 50 回日本糖尿病学会関東甲信越地方会
4) 第 85・86 回日本糖尿病学会中部地方会
5) 第 49 回日本糖尿病学会近畿地方会
6) 第 50 回日本糖尿病学会中国・四国地方会
7) 第 50 回日本糖尿病学会九州地方会
 4. 分科会活動
1) 第 27 回日本糖尿病合併症学会
会 期 平成 24 年 11 月 2 日 (金)・3 日 (土)
会 場 アクロス福岡
会 長 梅田 文夫 (医療法人森和会行橋中央病院)
- III. 会誌, 研究報告, 研究資料及び図書の刊行 (定款

第 5 条 3)

- 1) 会誌の発行
①「糖尿病」
②Diabetology International
 - 2) 糖尿病患者むけ指導書の発行
①糖尿病治療の手びき
②糖尿病食事療法のための食品交換表
③糖尿病食事療法のための食品交換表 CD-ROM 版
④糖尿病性腎症の食品交換表
⑤糖尿病性腎症の食品交換表 CD-ROM 版付き
⑥Food Exchange Lists
⑦糖尿病食事療法のための食品交換表 活用編
 - 3) 医師およびコ・メディカルむけ指導書の発行
①こどもの糖尿病・サマーキャンプの手引き
②「食品交換表」を用いる糖尿病食事療法指導の手びき
③糖尿病療養指導の手びき
④糖尿病治療ガイド
⑤小児・思春期糖尿病管理の手びき
⑥糖尿病専門医研修ガイドブック
⑦糖尿病学用語集
⑧糖尿病遺伝子診断ガイド
⑨糖尿病学の進歩
⑩糖尿病の療養指導
⑪科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン
⑫Treatment Guide for Diabetes
- IV. 海外の関係団体等との連絡調整 (定款第 5 条 4)
- 1) IDF 理事会への出席
 - 2) IDF-WPR Congress への参加
 - 3) AASD への参加
 - 4) EASD との共同企画への参加
 - 5) IDF-WPR の開催 (京都, 平成 24 年 11 月 25 日-27 日)
- V. その他本会の目的を達成するために必要な事業 (定款第 5 号 5)
1. 関連学術団体との連携及び協力
1) 第 48 回全国糖尿病週間の共催
2) 社団法人日本糖尿病協会への協力
3) 世界糖尿病デーへの参加
 2. 功労賞および研究奨励・研究業績の顕彰
1) 坂口賞の授与
2) ハーゲドーン賞の授与
3) リリー賞の授与

4) 若手研究奨励賞 (YIA) の授与

3. 糖尿病対策事業

- ① 糖尿病対策推進会議への参画
- ② 対糖尿病戦略5ヵ年計画作成委員会
- ③ 「健康日本21」の糖尿病対策検討委員会
- ④ 糖尿病データベースの構築委員会

4. 特別事業

- 1) 学会専門医, 研修指導医, 認定教育施設の認定

平成24年度収支予算書総括表

自 平成24年4月 1日
至 平成25年3月31日

(単位:円)

科目	(単位:円)							内部取引消去
	1 一般会計	2 専門医 特別会計	3 学術集会 特別会計	4 糖尿病学の進歩 特別会計	5 支部 特別会計	6 地方会 特別会計	7 支部認定委員会 特別会計	
I. 事業活動収支の部								
1. 事業活動収入								
基本財産運用収入	500,000							
会費収入	179,600,000							
助成金収入	0							
事業収入	80,000,000	27,100,000	300,000,000	83,000,000		75,035,000	0	
寄付金収入	2,000,000							
雑収入	2,100,000							
他会計繰入金収入	0		9,000,000	4,000,000	11,950,000	3,950,000	2,100,000	△ 31,000,000
事業活動収入計	264,200,000	27,100,000	309,000,000	87,000,000	11,950,000	78,985,000	2,100,000	△ 31,000,000
2. 事業活動支出								
管理費支出	98,900,000							
事業費支出	749,937,400	26,450,000	298,800,000	84,000,000	6,529,500	71,257,900	2,100,000	
他会計への繰入金支出	0	2,100,000			3,950,000			△ 31,000,000
事業活動支出計	848,837,400	28,550,000	298,800,000	84,000,000	10,479,500	71,257,900	2,100,000	△ 31,000,000
事業活動収支差額	△ 99,502,400	△ 1,450,000	10,200,000	3,000,000	1,470,500	7,727,100	0	0
II. 投資活動収支の部								
1. 投資活動収入								
特定資産取崩収入	50,800,000							
投資活動収入計	50,800,000	0	0	0	0	0	0	
2. 投資活動支出								
特定資産取得支出	2,500,000							
投資活動支出計	2,500,000	0	0	0	0	0	0	
投資活動収支差額	48,300,000	0	0	0	0	0	0	
III. 予備費支出								
当期収支差額	34,047,600	1,000,000	10,200,000	3,000,000	1,470,500	7,727,100	0	
前期繰越収支差額	△ 85,250,000	△ 2,450,000	0	0	0	0	0	
前期繰越収支差額	113,900,276	26,942,428	0	0	0	0	0	
次期繰越収支差額	28,650,276	24,492,428	0	0	0	0	0	

会 報

1. 収 支 予 算 書 (一 般 会 計)

自 平成 24 年 4 月 1 日
至 平成 25 年 3 月 31 日

(単 位 : 円)

科 目	当期予算額	前期予算額	差 異	備 考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	(500,000)	(500,000)	(0)	
基本財産運用収入	500,000	500,000	0	
会 費 収 入	(179,600,000)	(177,600,000)	(2,000,000)	
正 会 員 会 費 収 入	171,000,000	169,000,000	2,000,000	
賛 助 会 員 会 費 収 入	8,600,000	8,600,000	0	
事 業 収 入	(80,000,000)	(80,000,000)	(0)	
出 版 事 業 収 入	80,000,000	80,000,000	0	
寄 附 金 収 入	(2,000,000)	(2,000,000)	(0)	
寄 附 金 収 入	2,000,000	2,000,000	0	
雑 収 入	(2,100,000)	(2,100,000)	(0)	
受 取 利 息 収 入	2,000,000	2,000,000	0	
雑 収 入	100,000	100,000	0	
事 業 活 動 収 入 計 (A)	264,200,000	262,200,000	2,000,000	
2. 事業活動支出				
管 理 費 支 出	[98,900,000]	[97,400,000]	[1,500,000]	
給 料 手 当 支 出	49,000,000	48,000,000	1,000,000	
福 利 厚 生 費 支 出	7,500,000	7,000,000	500,000	
会 議 費 支 出	2,000,000	2,000,000	0	
旅 費 交 通 費 支 出	5,000,000	5,000,000	0	
通 信 運 搬 費 支 出	5,000,000	5,000,000	0	
事 務 費 支 出	3,000,000	3,000,000	0	
印 刷 製 本 費 支 出	2,500,000	2,500,000	0	
支 払 手 数 料 支 出	12,000,000	12,000,000	0	
光 熱 水 料 費 支 出	900,000	900,000	0	
賃 借 料 支 出	11,000,000	11,000,000	0	
雑 費 支 出	1,000,000	1,000,000	0	
事 業 費 支 出	[260,800,000]	[265,800,000]	[△ 5,000,000]	
調 査 研 究 費 支 出	(51,000,000)	(51,000,000)	(0)	
旅 費 交 通 費 支 出	6,000,000	6,000,000	0	
通 信 運 搬 費 支 出	200,000	200,000	0	
事 務 費 支 出	200,000	200,000	0	
調 査 費 支 出	40,000,000	40,000,000	0	
印 刷 製 本 費 支 出	100,000	100,000	0	
会 議 費 支 出	3,500,000	3,500,000	0	
合 併 症 学 会 共 同 研 究 費	1,000,000	1,000,000	0	
糖 尿 病 総 合 対 策 支 出	(34,000,000)	(34,000,000)	(0)	
通 信 費 支 出	500,000	500,000	0	
印 刷 製 本 費 支 出	500,000	500,000	0	
会 議 費 支 出	7,000,000	7,000,000	0	
旅 費 交 通 費 支 出	11,000,000	11,000,000	0	
調 査 研 究 費 支 出	15,000,000	15,000,000	0	
イ ン タ ー ネット 委 員 会 支 出	(4,000,000)	(4,000,000)	(0)	
通 信 費 支 出	100,000	100,000	0	
印 刷 製 本 費 支 出	100,000	100,000	0	
備 品 費 支 出	500,000	500,000	0	
会 議 費 支 出	300,000	300,000	0	
I T 関 係 整 備 費 支 出	500,000	500,000	0	
ホ ー ム ペ ー ジ 管 理 費 支 出	2,000,000	2,000,000	0	
旅 費 交 通 費 支 出	500,000	500,000	0	
選 挙 管 理 委 員 会 支 出	(900,000)	(900,000)	(0)	
旅 費 交 通 費 支 出	500,000	500,000	0	
会 議 費 支 出	300,000	300,000	0	
印 刷 製 本 費 支 出	50,000	50,000	0	
事 務 費 支 出	50,000	50,000	0	

糖尿病 54巻7号 (2011)

科	目	当期予算額	前期予算額	差異	摘要	
事業費支出	各種委員会支出	(9,200,000)	(9,200,000)	(0)		
	会議費支出	3,000,000	3,000,000	0		
	旅費交通費支出	6,000,000	6,000,000	0		
	通信費支出	100,000	100,000	0		
	雑費支出	100,000	100,000	0		
	出版事業支出	(142,300,000)	(142,300,000)	(0)		
	「糖尿病」	旅費交通費支出	6,000,000	6,000,000	0	
		通信運搬費支出	26,500,000	26,500,000	0	
		会議費支出	2,500,000	2,500,000	0	
		事務費支出	500,000	500,000	0	
		印刷製本費支出	85,000,000	85,000,000	0	
	「英文誌」	旅費交通費支出	2,000,000	2,000,000	0	
		通信運搬費支出	100,000	100,000	0	
		会議費支出	600,000	600,000	0	
		事務費支出	3,600,000	3,600,000	0	
		印刷製本費支出	15,500,000	15,500,000	0	
	国際交流事業支出	(16,800,000)	(21,800,000)	(△ 5,000,000)		
		旅費交通費支出	9,000,000	9,000,000	0	
		国際学会費支出	1,100,000	1,100,000	0	
		事務費支出	200,000	200,000	0	
		会議費支出	300,000	300,000	0	
		通信運搬費支出	200,000	200,000	0	
		「国際糖尿病デー」開催支出	0	5,000,000	△ 5,000,000	
		「AASD」支出	4,000,000	4,000,000	0	
		East-West フォーラム	2,000,000	0	2,000,000	今期はJapanで
		ISPAD開催支出	0	2,000,000	△ 2,000,000	
	Web名簿運営費用	(1,280,000)	(3,780,000)	(△ 2,500,000)		
		システム構築支出	0	2,500,000	△ 2,500,000	構築は前期で完了
		システム使用料	1,280,000	1,280,000	0	システム運用費用
	学術研究助成支出	(2,500,000)	(2,500,000)	(0)		
		学会賞	2,000,000	2,000,000	0	
		Y I A	500,000	500,000	0	
	坂口賞支出	(100,000)	(100,000)	(0)		
		坂口賞支出	100,000	100,000	0	
他会計への繰入金支出		(24,950,000)	(24,850,000)	(100,000)		
	学術・地方集会開催事業支出	(24,950,000)	(24,850,000)	(100,000)		
		糖尿病学の進歩支出	4,000,000	4,000,000	0	
		年次学術集会支出	9,000,000	9,000,000	0	
		支部補助費支出	11,950,000	11,850,000	100,000	200名増
	事業活動支出計(B)	384,650,000	388,050,000	△ 3,400,000		
	事業活動収支差額(C)=(A)-(B)	△ 120,450,000	△ 125,850,000	5,400,000		
II. 投資活動収支の部						
1. 投資活動収入						
特定資産取崩収入		(50,800,000)	(132,405,310)	(△ 81,605,310)		
	○A機器積立資産取崩収入	16,620,000	0	16,620,000		
	事務所移転・営繕積立資産取崩収入	34,180,000	0	34,180,000		
	学術調査研究積立資産取崩収入	0	83,305,310	△ 83,305,310		
	国際情報交流基金資産取崩収入	0	10,000,000	△ 10,000,000		
	国際会議誘致準備積立資金取崩収入	0	28,100,000	△ 28,100,000		
	名簿作成積立資産取崩収入	0	11,000,000	△ 11,000,000		
	投資活動収入計(D)	50,800,000	132,405,310	△ 81,605,310		
2. 投資活動支出						
特定資産取得支出		(2,500,000)	(2,500,000)	(0)		
	退職給付引当資産取得支出	2,500,000	2,500,000	0		
	投資活動支出計(E)	2,500,000	2,500,000	0		
	投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	48,300,000	129,905,310	△ 81,605,310		
III. 予備費支出						
	(G)	10,650,000	30,650,000	△ 20,000,000		
	当期収支差額(H)=(C)+(F)-(G)	△ 82,800,000	△ 26,594,690	△ 56,205,310		
	前期繰越収支差額(I)	86,957,848	113,552,538	△ 26,594,690		
	次期繰越収支差額(J)=(H)+(I)	4,157,848	86,957,848	△ 82,800,000		

会 報

2. 収支予算書（専門医特別会計）

自 平成 24 年 4 月 1 日
至 平成 25 年 3 月 31 日

（単位：円）

科	目	当期予算額	前期予算額	差異	備考
I. 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
認定事業収入		(27,100,000)	(29,900,000)	(△ 2,800,000)	
	専門医認定審査料収入	2,500,000	3,300,000	△ 800,000	
	専門医認定料収入	5,000,000	6,600,000	△ 1,600,000	
	専門医更新審査料収入	14,600,000	13,400,000	1,200,000	
	専門医受験料収入	5,000,000	6,600,000	△ 1,600,000	250名(概算)
事業活動収入計(A)		27,100,000	29,900,000	△ 2,800,000	
2. 事業活動支出					
認定事業費支出		[26,450,000]	[26,950,000]	[△ 500,000]	
	旅費交通費支出	10,000,000	10,000,000	0	
	人件費支出	6,000,000	6,000,000	0	
	会議費支出	3,000,000	3,000,000	0	
	会場費支出	4,000,000	4,000,000	0	
	通信費支出	800,000	800,000	0	
	消耗品費支出	100,000	100,000	0	
	印刷製本費支出	1,500,000	2,000,000	△ 500,000	
	雑費支出	1,050,000	1,050,000	0	
他会計への繰入金支出		[2,100,000]	[2,100,000]	[0]	
	支部認定委員会への繰入金支出	2,100,000	2,100,000	0	
事業活動支出計(B)		28,550,000	29,050,000	△ 500,000	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)		△ 1,450,000	850,000	△ 2,300,000	
II. 予備費支出(D)		1,000,000	1,750,000	△ 750,000	
当期収支差額(E)=(C)-(D)		△ 2,450,000	△ 900,000	△ 1,550,000	
前期繰越収支差額(F)		26,942,428	27,842,428	△ 900,000	
次期繰越収支差額(J)=(E)-(F)		24,492,428	26,942,428	△ 2,450,000	

3. 収支予算書 (学術集会特別会計)

自 平成 24 年 4 月 1 日
至 平成 25 年 3 月 31 日

(単位: 円)

科 目		当期予算額	前期予算額	差 異	備考
I. 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
学術集会事業収入		(300,000,000)	(231,200,000)	(68,800,000)	
	参加費収入	110,000,000	96,440,000	13,560,000	
	展示会出展料収入	75,000,000	48,075,000	26,925,000	
	各種セミナー共催費収入	70,000,000	57,330,000	12,670,000	
	広告掲載料収入	20,000,000	5,355,000	14,645,000	
	寄付金・助成金収入	25,000,000	24,000,000	1,000,000	
	その他収入	0	0	0	
他会計からの繰入金収入		(9,000,000)	(14,000,000)	(△ 5,000,000)	
	本部会計からの繰入金収入	9,000,000	14,000,000	△ 5,000,000	
事業活動収入計(A)		309,000,000	245,200,000	63,800,000	
2. 事業活動支出					
学術集会事業費支出		[298,800,000]	[238,100,000]	[60,700,000]	
	会議準備費支出	(61,500,000)	(43,000,000)	(18,500,000)	
	事務局費支出	9,500,000	4,000,000	5,500,000	
	会議費支出	1,000,000	1,000,000	0	
	印刷関係費支出	35,000,000	19,000,000	16,000,000	
	通信費・運搬費支出	1,000,000	1,000,000	0	
	委託費支出	15,000,000	18,000,000	△ 3,000,000	
	会議運営費支出	(226,000,000)	(173,800,000)	(52,200,000)	
	事務局費支出	3,000,000	1,500,000	1,500,000	
	会場関係費支出	75,000,000	45,000,000	30,000,000	
	機材関係費支出	46,000,000	44,000,000	2,000,000	
	看板・ホスターネル関係費支出	20,000,000	8,000,000	12,000,000	
	要員関係費支出	15,000,000	12,000,000	3,000,000	
	展示会場設営費支出	15,000,000	8,500,000	6,500,000	
	消耗品・その他運営費支出	2,000,000	4,800,000	△ 2,800,000	
	飲食・会合関係費支出	15,000,000	15,000,000	0	
	招待者旅費関係費支出	35,000,000	35,000,000	0	
	事後処理費支出	(1,300,000)	(1,300,000)	(0)	
	その他経費支出	(10,000,000)	(20,000,000)	(△ 10,000,000)	
事業活動支出計(B)		298,800,000	238,100,000	60,700,000	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)		10,200,000	7,100,000	3,100,000	
II. 予備費支出(D)		10,200,000	7,100,000	3,100,000	
当期収支差額(E)=(C)-(D)		0	0	0	
前期繰越収支差額(F)		0	0	0	
次期繰越収支差額(J)=(E)-(F)		0	0	0	

会 報

4. 収 支 予 算 書 (進 歩 特 別 会 計)

自 平 成 24 年 4 月 1 日

至 平 成 25 年 3 月 31 日

(単 位 : 円)

科 目	当期予算額	前期予算額	差 異	備考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
糖尿病学の進歩事業収入	(83,000,000)	(83,000,000)	(0)	
参加費収入	35,000,000	35,000,000	0	
展示出展料収入	25,000,000	25,000,000	0	
共催セミナー	7,000,000	7,000,000	0	
広告費収入	8,000,000	8,000,000	0	
その他補助金収入	7,900,000	7,900,000	0	
雑収入	100,000	100,000	0	
他会計からの繰入金収入	(4,000,000)	(4,000,000)	(0)	
本部会計からの繰入金収入	4,000,000	4,000,000	0	
事業活動収入計(A)	87,000,000	87,000,000	0	
2. 事業活動支出				
糖尿病学の進歩事業費支出	[84,000,000]	[84,000,000]	(0)	
会議準備費支出	(18,900,000)	(18,900,000)	(0)	
演題処理関係費支出	6,000,000	6,000,000	0	
事前登録処理費支出	400,000	400,000	0	
印刷・製作物関係費支出	4,000,000	4,000,000	0	
通信・運搬関係費支出	500,000	500,000	0	
事前準備人件費、打合費支出	5,000,000	5,000,000	0	
ホームページ作成費支出	1,000,000	1,000,000	0	
消耗品・備品関係費支出	2,000,000	2,000,000	0	
会議運営費支出	(59,300,000)	(59,300,000)	(0)	
会場関係費支出	18,000,000	18,000,000	0	
機材・看板関係費支出	15,000,000	15,000,000	0	
機器展示関係費支出	4,000,000	4,000,000	0	
運営要員関係費支出	7,300,000	7,300,000	0	
会合費支出	3,000,000	3,000,000	0	
招聘費支出	12,000,000	12,000,000	0	
事後処理費支出	(800,000)	(800,000)	(0)	
その他経費支出	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)	
事業活動支出計(B)	84,000,000	84,000,000	0	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)	3,000,000	3,000,000	0	
II. 予備費支出(D)	3,000,000	3,000,000	0	
当期収支差額(E)=(C)-(D)	0	0	0	
前期繰越収支差額(F)	0	0	0	
次期繰越収支差額(J)=(E)-(F)	0	0	0	

5. 収支予算書 (支部特別会計)

自 平成 24 年 4 月 1 日
至 平成 25 年 3 月 31 日

(単位:円)

科 目		当期予算額	前期予算額	差異	備考
I. 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
支部事業収入		(0)	(0)	(0)	
	雑収入	0	0	0	
他会計からの繰入金収入		(11,950,000)	(11,850,000)	(100,000)	
	本部会計からの繰入金収入	11,950,000	11,850,000	100,000	200名増
事業活動収入計(A)		11,950,000	11,850,000	100,000	
2. 事業活動支出					
支部事業費支出		[6,529,500]	[6,529,500]	[0]	
	人件費	1,650,000	1,650,000	0	
	通信費	380,000	380,000	0	
	印刷費	350,000	350,000	0	
	会議費	1,438,000	1,438,000	0	
	旅費交通費	650,000	650,000	0	
	事務費	252,000	252,000	0	
	消耗品費	150,000	150,000	0	
	雑費	1,659,500	1,659,500	0	
他会計への繰入金支出		[3,950,000]	[3,960,000]	[△ 10,000]	
	地方会会計への繰入金支出	3,950,000	3,960,000	△ 10,000	
事業活動支出計(B)		10,479,500	10,489,500	△ 10,000	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)		1,470,500	1,360,500	110,000	
II. 予備費支出(D)		1,470,500	1,360,500	110,000	
当期収支差額(E)=(C)-(D)		0	0	0	
前期繰越収支差額(F)		0	0	0	
次期繰越収支差額(J)=(E)-(F)		0	0	0	

会 報

6. 収 支 予 算 書 (地方会特別会計)

自 平成 24 年 4 月 1 日
至 平成 25 年 3 月 31 日

(単 位 : 円)

科 目	当期予算額	前期予算額	差 異	備考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
地方会事業収入	(75,035,000)	(75,035,000)	(0)	
参加費収入	25,350,000	25,350,000	0	
寄付金収入	15,570,000	15,570,000	0	
広告料収入	7,240,000	7,240,000	0	
展示料収入	8,240,000	8,240,000	0	
共催セミナー収入	17,935,000	17,935,000	0	
雑収入	700,000	700,000	0	
他会計からの繰入金収入	(3,950,000)	(3,950,000)	(0)	
本部会計からの繰入金収入	3,950,000	3,950,000	0	
事業活動収入計(A)	78,985,000	78,985,000	0	
2. 事業活動支出				
地方会事業費支出	[71,257,900]	[71,257,900]	[0]	
会場賃借料支出	17,716,950	17,716,950	0	
会場設営費支出	13,780,950	13,780,950	0	
機器使用料支出	9,356,200	9,356,200	0	
印刷費支出	9,187,600	9,187,600	0	
通信費支出	3,143,500	3,143,500	0	
事務費支出	3,782,700	3,782,700	0	
消耗品費支出	1,838,000	1,838,000	0	
旅費交通費支出	2,920,000	2,920,000	0	
人件費支出	7,692,000	7,692,000	0	
雑費支出	1,840,000	1,840,000	0	
租税公課支出	0	0	0	
事業活動支出計(B)	71,257,900	71,257,900	0	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)	7,727,100	7,727,100	0	
II. 予備費支出(D)	7,727,100	7,727,100	0	
当期収支差額(E)=(C)-(D)	0	0	0	
前期繰越収支差額(F)	0	0	0	
次期繰越収支差額(J)=(E)-(F)	0	0	0	

7. 収 支 予 算 書 (支 部 認 定 委 員 会 特 別 会 計)

自 平 成 24 年 4 月 1 日
至 平 成 25 年 3 月 31 日

(単 位 : 円)

科	目	当期予算額	前期予算額	差異	備考
I. 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
事業収入		(0)	(0)	(0)	
	寄附金収入	0	0		
他会計からの繰入金収入		(2,100,000)	(2,100,000)	(0)	
	本部会計からの繰入金収入	2,100,000	2,100,000	0	
事業活動収入計 (A)		2,100,000	2,100,000	0	
2. 事業活動支出					
事業費支出		[2,100,000]	[2,100,000]	[0]	
	通信費支出	200,000	200,000	0	
	印刷費支出	200,000	200,000	0	
	会議費支出	220,000	220,000	0	
	旅費交通費支出	1,130,000	1,130,000	0	
	事務費支出	30,000	30,000	0	
	消耗品費支出	320,000	320,000	0	
事業活動支出計 (B)		2,100,000	2,100,000	0	
事業活動収支差額 (C) = (A) - (B)		0	0	0	
II. 予備費支出					
当期収支差額 (E) = (C) - (D)		0	0	0	
前期繰越収支差額 (F)		0	0	0	
次期繰越収支差額 (J) = (E) - (F)		0	0	0	

(社) 日本糖尿病学会学術評議員

(2011年5月選出)

◎理事会推薦

北海道支部 (28名)

- 1 青木 伸
- 2 渥美 敏也
- 3 安孫子亜津子
- 4 伊藤 博史
- 5 小野 百合
- 6 加藤 雅彦
- 7 栗原 義夫
- 8 黒田 義彦
- 9 小池 隆夫
- 10 小森 克俊
- 11 近藤 琢磨
- 12 斎藤 重幸
- 13 坂上 慎二
- 14 島本 和明
- 15 関口 雅友
- 16 種田 紳二
- 17 辻 昌宏
- 18 羽田 勝計
- 19 藤田 征弘
- 20 萬田 直紀
- 21 宮本 義博
- 22 三好 秀明
- 23 武藤 英二
- 24 森川 秋月
- 25 柳沢 克之
- 26 横山 宏樹
- 27 吉岡 成人
- 28 吉田 晃敏

東北支部 (38名)

- 1 赤井 裕輝
- 2 石垣 泰
- 3 伊藤 貞嘉
- 4 江口 英行
- 5 大澤 佳之
- 6 大沼 寛
- 7 岡 芳知
- 8 小川 吉司
- 9 奥口 文宣
- 10 小野 利夫
- 11 片桐 秀樹
- 12 木村 健一
- 13 後藤 尚
- 14 佐藤 讓
- 15 佐藤 博亮
- 16 佐藤 義憲
- 17 佐野 隆一
- 18 鈴木 進
(太田西ノ内病院)
- 19 鈴木 教敬
- 20 清野 弘明
- 21 大門 真
- 22 高橋 和真
- 23 玉澤 直樹
- 24 塚本 和久*
- 25 内藤 孝
- 26 中園 誠
- 27 成田 琢磨
- 28 檜尾 好徳
- 29 平井 完史
- 30 増田 光男

- 31 松井 淳
- 32 間中 英夫
- 33 八木橋操六◎
- 34 山口 宏
- 35 山田 憲一
- 36 山田 哲也
- 37 山田祐一郎
- 38 渡辺 毅

関東甲信越支部(224名)

- 1 会田 薫
- 2 朝岡 昭
- 3 渥美 義仁
- 4 雨宮 伸
- 5 新井 桂子
- 6 荒木 厚
- 7 有坂 知之
- 8 粟田 卓也
- 9 池本 卓均
- 10 石田 健一
- 11 石橋 俊
- 12 石原 寿光
- 13 泉 哲郎
- 14 板垣 英二
- 15 伊藤 裕
- 16 稲澤 健志
- 17 犬飼 浩一
- 18 井上 郁夫
- 19 井上 岳
- 20 井口 利樹
- 21 入江潤一郎
- 22 岩崎 直子
- 23 岩崎 晴美
- 24 岩本 安彦
- 25 植木 彬夫
- 26 植木 浩二郎
- 27 宇治原典子
- 28 内潟 安子
- 29 内村 功
- 30 宇都宮一典
- 31 浦上 達彦
- 32 江藤 一弘
- 33 及川 真一
- 34 及川 洋一
- 35 太田 明雄
- 36 大谷 敏嘉
- 37 大塚 史子
- 38 大野 敦
- 39 大橋 健
- 40 尾形真規子
- 41 岡本真由美
- 42 小川 理
- 43 小川 佳宏
- 44 荻原 典和
- 45 遅野井 健
- 46 小田原雅人
- 47 小沼 富男
- 48 景山 茂
- 49 笠井 貴久男
- 50 梶尾 裕
- 51 春日 雅人

- 53 方波見卓行
- 54 片平 宏
- 55 片山 茂裕
- 56 片山 隆司
- 57 桂 善也
- 58 加藤 秀一
- 59 加藤 則子
- 60 加藤 光敏
- 61 門脇 孝
- 62 金澤 昭雄
- 63 金沢 昭
- 64 金沢 真雄
- 65 金塚 東
- 66 金森 晃
- 67 亀山 正明
- 68 河合 俊英
- 69 川角 正彦
- 70 川村 光信
- 71 菅野 一男
- 72 貴田岡正史
- 73 北野 滋彦
- 74 木下 誠
- 75 草間 芳樹
- 76 久保木幸司
- 77 熊谷 悦子
- 78 熊坂 一成
- 79 蔵田 英明
- 80 栗林 伸一
- 81 小島 至◎
- 82 小林 哲郎
- 83 小林 陸博
- 84 駒津 光久
- 85 小谷野 肇
- 86 近藤 照貴
- 87 堺 弘治
- 88 阪本 要一
- 89 佐倉 宏
- 90 櫻井 健一
- 91 佐々木 敬
- 92 佐藤 麻子
- 93 佐藤 幸裕
- 94 佐藤 吉彦
- 95 佐中眞由実
- 96 佐野 浩斎
- 97 沢 丞
- 98 七里 眞義
- 99 柴 輝男
- 100 島田 朗
- 101 島野 仁
- 102 清水 友章
- 103 調 進一郎
- 104 新城 孝道
- 105 菅原 正弘
- 106 杉原 茂孝
- 107 鈴木 克典
- 108 鈴木 大輔
- 109 住友 秀孝
- 110 関 直人
- 111 関口 芳弘
- 112 関根 信夫
- 113 曾根 博仁
- 114 高井 昌彦

- 115 高田一太郎
- 116 高田 哲秀
- 117 高田 良久
- 118 高橋 秀夫
- 119 高橋 良当
- 120 高橋 義彦
- 121 田上 幹樹
- 122 高村 宏
- 123 武井 泉
- 124 武田 浩
- 125 多田 久也
- 126 田中 彰彦
- 127 田中 明
- 128 田中 啓司
- 129 田中 逸
- 130 田中 祐司
- 131 谷 長行
- 132 谷山 松雄
- 133 辻野 元祥
- 134 津田 晶子
- 135 寺内 康夫
- 136 寺本 民生
- 137 道口佐多子
- 138 富野康日己
- 139 朝長 修
- 140 伴野 祥一
- 141 仲 元司
- 142 中尾 俊之
- 143 中神 朋子
- 144 中川 理
- 145 中川 道夫
- 146 長坂昌一郎
- 147 永瀬 晃正
- 148 中野 忠澄
- 149 中野 博司
- 150 永松 信哉◎
- 151 仲本 信也
- 152 成宮 學
- 153 西川 哲男
- 154 西田 賢司
- 155 西村 一弘
- 156 西村 理明
- 157 根本 昌実
- 158 野田 光彦
- 159 橋本 尚武
- 160 荷見 澄子
- 161 羽入 修
- 162 馬場園哲也
- 163 林 道夫
- 164 原 義人
- 165 比嘉眞理子
- 166 平尾 節子
- 167 平田結喜緒
- 168 平野 勉
- 169 弘世 貴久
- 170 広瀬 寛
- 171 藤井 仁美
- 172 藤田 寛子
- 173 藤谷与士夫
- 174 武城 英明
- 175 船山 秀昭
- 176 堀 貞夫

- 177 堀内 敏行
- 178 本田 正志
- 179 本田 律子
- 180 前田 士郎
- 181 前田 俊彦
- 182 前田 一
- 183 町村 英郎
- 184 松尾 哲
- 185 松下 隆哉
- 186 松島 雅人
- 187 松田 昌文
- 188 松葉 育郎
- 189 的場 清和
- 190 丸山 太郎
- 191 丸山 雅弘
- 192 三浦順之助
- 193 三木 隆司
- 194 三村 正裕
- 195 宮川 高一
- 196 宮崎 滋
- 197 宮下 洋隆
- 198 三輪 隆
- 199 目黒 周
- 200 百都 健
- 201 森 保道
- 202 森 豊
- 203 盛田 幸司
- 204 守屋 達美
- 205 安田 和基
- 206 矢田 俊彦◎
- 207 柳川 達生
- 208 柳澤 慶香
- 209 八幡 和明
- 210 山内 恵史
- 211 山内 敏正
- 212 山田 悟
- 213 山田 信博
- 214 山谷 恵一
- 215 横田 邦信
- 216 横田 太持
- 217 横手幸太郎
- 218 横山 淳一
- 219 芳野 原
- 220 吉元 勝彦
- 221 和田 幹子
- 222 綿田 裕孝
- 223 渡辺 孝之
- 224 渡邊 祐子

中部支部 (81名)

- 1 家城 恭彦
- 2 石木 学
- 3 石塚 達夫
- 4 石森 正敏
- 5 伊藤 光泰
- 6 稲垣 朱実
- 7 井上 達秀
- 8 今井 龍幸
- 9 今枝 憲郎
- 10 井村 満男
- 11 薄井 勲
- 12 臼田 里香

- 13 浦風 雅春
- 14 笈田 耕治
- 15 大磯^{ユタカ} 功
- 16 大沢 功
- 17 岡山 直司
- 18 沖 隆
- 19 押田 芳治
- 20 梶田 和男
- 21 加藤 宏一
- 22 加藤 弘巳
- 23 加藤 泰久
- 24 神谷 英紀
- 25 河村 孝彦
- 26 小泉 順二
- 27 洪 尚樹
- 28 古家 大祐
- 29 近藤 國和
- 30 榊原 文彦
- 31 笹岡 利安
- 32 佐々木^{洋光} 賢
- 33 佐藤 隆久
- 34 佐野 純治
- 35 篠田 敏朗
- 36 柴田 敦詞
- 37 鈴木 英司
- 38 鈴木 英司
- 39 住田 安弘
- 40 瀬田 孝
- 41 傍島 裕司
- 42 高見 和久
- 43 篁 俊成
- 44 武田 純
- 45 武田 則之
- 46 武田 仁勇
- 47 田中 剛史
- 48 田中 博志
- 49 棚橋 忍
- 50 玉川 達雄
- 51 戸谷^{理英子} 一之
- 52 戸邊 長康[◎]
- 53 豊田 孝太郎
- 54 中川 淳
- 55 中島 英太郎
- 56 中村 二郎
- 57 成瀬 桂子
- 58 西村 泰行
- 59 丹村 敏則
- 60 能登 洋司
- 61 浜田 慎
- 62 林 良成
- 63 林 良成
- 64 番度 行弘
- 65 堀川 幸男
- 66 宮元 進
- 67 宮森 勇
- 68 森田 浩之
- 69 森田 浩之
- 70 森田 浩之
- 71 八木 邦公
- 72 矢野 裕
- 73 山田 浩司
- 74 山之内^{国男} 博[◎]
- 75 山本 眞由美
- 76 山本 眞由美
- 77 山守 育雄

近畿支部 (146 名)

- 78 吉岡 修子
- 79 吉本 幸子
- 80 若杉 隆伸
- 81 脇 昌子
- 1 井垣 直哉
- 2 池上 博司
- 3 池田 弘毅
- 4 池田 雅彦
- 5 石井 均
- 6 石田 芳彦
- 7 石村 栄治
- 8 磯谷 治彦
- 9 伊藤 秀樹
- 10 稲垣 暢也
- 11 稲葉 雅章
- 12 井上 元
- 13 井上 喜通
- 14 今川 彰久
- 15 今野 英一
- 16 岩倉 敏夫
- 17 上田 容生
- 18 宇津 貴
- 19 馬屋原 豊
- 20 江川 公浩
- 21 絵本 正憲
- 22 大月 道夫
- 23 大野 恭裕
- 24 大原 毅
- 25 大星 隆司
- 26 大屋 道洋
- 27 岡井 一彦
- 28 岡本 新悟
- 29 岡本三^{希子} 元純
- 30 岡本 元純
- 31 小川 涉
- 32 隠岐 尚吾
- 33 奥野 泰久
- 34 鍵本 伸二
- 35 笠山 宗正
- 36 梶山 静夫
- 37 柏木 厚典
- 38 門脇 誠三
- 39 金内 雅夫
- 40 金藤 秀明
- 41 川畑^{由美子} 智行
- 42 川村 智行
- 43 北岡 治子
- 44 北川 良裕
- 45 北野 則和
- 46 木戸 良明
- 47 久保田 稔
- 48 黒江 彰
- 49 黒瀬 健夫[◎]
- 50 小泉 昭夫[◎]
- 51 河野 茂夫
- 52 小崎 篤志
- 53 越山 裕行
- 54 小杉 圭右
- 55 小山 英則
- 56 近藤 溪
- 57 紺屋 浩之
- 58 坂井 誠
- 59 坂上 元祥

- 60 坂口 一彦
- 61 佐々木^{秀行} 利彦
- 62 佐藤 利彦
- 63 三家^{登喜夫} 一郎
- 64 下村伊^{一郎} 哲雄
- 65 庄司 哲雄
- 66 鈴木 正昭
- 67 清野 進
- 68 瀬野 倫代
- 69 千丸 博司
- 70 瀧 秀樹
- 71 田中 一成
- 72 田中 清
- 73 田中 史朗
- 74 田中 亨
- 75 田守 義和
- 76 千原 和夫
- 77 辻 和雄
- 78 辻井 悟
- 79 津田 謹輔
- 80 筒泉 正春
- 81 寺前 純吾
- 82 徳永 勝人
- 83 富永 啓一
- 84 中 啓吾
- 85 中尾 一和
- 86 長嶋 一昭
- 87 中島 弘
- 88 永田 正男
- 89 中埜 幸治
- 90 中野 好夫
- 91 中村 正
- 92 中村 直登
- 93 中村 嘉夫
- 94 南條^{輝志男} 光義
- 95 難波 光義
- 96 西 重生
- 97 西 理宏
- 98 西尾 善彦
- 99 西川 光重
- 100 西沢 良記
- 101 西村 治男
- 102 野村 誠
- 103 長谷川^{剛二} 正和
- 104 服部 正和
- 105 英 肇
- 106 花房 俊昭
- 107 浜口 朋也
- 108 林 達也
- 109 原 賢太
- 110 日高 秀樹
- 111 廣田 勇士
- 112 福井 道明
- 113 福島 光夫
- 114 藤倉 純二
- 115 藤澤 智巳
- 116 藤本 新平
- 117 船橋 徹
- 118 古田 浩人
- 119 別所 寛人
- 120 朴 孝憲
- 121 細井 雅之
- 122 細川 雅也
- 123 細田 公則
- 124 前川 聡

- 125 榊田 出
- 126 松岡 孝昭
- 127 嶺尾 郁夫
- 128 宮川潤^{一郎} 純一[◎]
- 129 宮崎 純一[◎]
- 130 宮田 哲宏
- 131 宮本 恵宏
- 132 森山 啓明
- 133 安田浩^{一朗} 尚史
- 134 安田 尚史
- 135 安田 斎
- 136 矢野 秀樹
(彦根市立病院)
- 137 矢部 千尋[◎]
- 138 山崎 義光
- 139 山崎 祐也
- 140 山本 浩司
- 141 山本 泰三
- 142 山本 康久
- 143 横野 浩一
- 144 吉岡 敬治
- 145 吉田 俊秀
- 146 若崎 久生

中国・四国支部 (75 名)

- 1 浅野知^{一郎} 秀夫
- 2 綾目 秀夫
- 3 池田 幸雄
- 4 石井 啓太
- 5 石田 和史
- 6 石田 俊彦
- 7 石橋不可^止 光夫
- 8 板倉 康
- 9 井上 正博
- 10 岩本 正博
- 11 江草 玄士
- 12 蛭名 洋介[◎]
- 13 江本 政広
- 14 大國 智司
- 15 大久保^{正士} 雅通
- 16 大久保^{雅通} 春彦
- 17 大澤 裕
- 18 大沼 裕
- 19 奥屋 茂
- 20 恩地 森一
- 21 加来 浩平
- 22 川崎 史子
- 23 河村 智一
- 24 久保 敬二
- 25 公文 義雄
- 26 倉橋 明男
- 27 桑島 正道
- 28 高上 悦志
- 29 近藤^{しおり} 利昭
- 30 佐藤 利昭
- 31 澤野 文夫
- 32 四方 賢一
- 33 清水 一紀
- 34 白川 悦久
- 35 新谷 保実
- 36 末廣 正
- 37 杉本 利嗣
- 38 鈴木 貴博
- 39 大工^{原裕之} 健二
- 40 高橋 健二

九州支部 (85 名)

- 1 新生 忠司
- 2 荒木 栄一
- 3 安山 慶三
- 4 生山^{祥一郎} 英博
- 5 石井 啓輔
- 6 伊奈 啓輔
- 7 稲田^{千鶴子} 与志
- 8 井口^{登与志} 洋一
- 9 今村 正典
- 10 岩瀬 浩晶
- 11 上野 文夫
- 12 梅田 英津子
- 13 大武^{英津子} 泰一郎
- 14 岡嶋^{泰一郎} 朗
- 15 岡田 洋右
- 16 岡田 俊光
- 17 小田^{辺修一} 哲也
- 18 加隈 智子
- 19 加藤 健
- 20 岸嶋 秀樹
- 21 幸川 裕
- 22 清原 真
- 23 國崎 弥生
- 24 栗田 修介
- 25 香野 邦久
- 26 小林 邦久
- 27 小堀 祥三

- 29 小山 研一
30 近藤 龍也
31 犀川 哲典
32 迫 康博
33 笹原 誉之
34 佐藤 秀一
35 佐藤 雄一
(聖マリア病院)
- 36 下田 誠也
37 陣内 秀昭
38 関口 直孝
39 高根 直子
40 高橋 毅
41 高柳 涼一
42 竹田 晴生
43 田尻 祐司
44 筒 信隆
45 水流添 覚
46 土井 康文
47 東儀 宣哲
48 富田 裕子
49 豊永 哲至
50 中里 雅光
51 中島 直樹
52 中津留 邦展
53 中村 宇大
54 中山ひとみ
55 新関 史
56 仁木 一郎◎
57 西川 武志
58 西田 健朗
59 二村 育実
60 布井 清秀
61 野田 和良
62 樋川 岩穂
63 浜口 和之
64 林 秀樹
65 久富 昭孝
66 廣松 雄治
67 福島 英生
68 古川 昇
69 松村 剛
70 松本 雅裕
71 南 昌江
72 三村 和郎
73 宮村 信博
74 本島 寛之
75 森田恵美子
76 矢野 智彦
77 山内 照章
78 山縣 和也
79 山岸 昌一
80 山田研太郎
81 山名 泰生
82 吉住 秀之
83 吉成 元孝
84 吉松 博信
85 渡辺 淳
- (合計 677 名)

* : 関東甲信越で選
出後
支部を移動

(社) 日本糖尿病学会功労学術評議員 (2011 年 5 月)

北海道支部 11 名

井出 肇 入山 祿郎 鬼原 彰 工藤 守 佐々木 嵩 清水 昇
高杉 佑一 ☆竹田 宗泰 花井 尚志 ☆福島 直樹 ☆渡辺 卓二

東北支部 11 名

伊藤 隆司 ☆上原 修 大根田 昭 ☆大平 誠一 岡本 宏 久保田奉幸
佐藤 一俊 佐藤信一郎 武部 和夫 本間 一男 丸浜 喜亮

関東甲信越支部 99 名

相磯 嘉孝 渥美 久 ☆穴澤 園子 飯塚 哲司 池田 義雄 石井 淳
石井 暢 磯貝 行秀 井出 健彦 ☆伊藤 眞一 ☆伊藤 正毅(イトウセイキ)
伊藤 徳治 ☆井藤 英喜 井上 修二 入江 實 ☆大井 一輝 大河原久子
大和田 操 岡 博 尾形 安三 小田桐玲子 女屋 敏正 ☆笠原 督
梶沼 宏 片岡 邦三 金子 兼三 亀谷麒與隆 ☆鴨井 久司 川 明
川合 厚生 ☆川井 紘一 ☆河津 捷二 河原 玲子 河村 眞人 ☆河盛 隆造
菊池 方利 北川 照男 北村 信一 小林 功 小山 勝一 近藤甲斐夫
斉藤 壽一 齋藤 宣彦 ☆齋藤 康 堺 秀人 佐々木 望 ☆佐藤 幸示
佐藤徳太郎 山東 博之 紫芝 良昌 鎮目 和夫 七理 泰 清水 直容
下田 新一 鈴木 晟時 ☆鈴木 裕也 染谷 一彦 ☆高須 信行 高橋きよ子
竹内 節弥 ☆武居 正郎 竹村 喜弘 田坂 仁正 ☆田嶋 尚子 田中 剛二
種瀬 富男 對馬 敏夫 ☆土田 弘基 土屋 和子 東島 利夫 永野 允
中村 治雄 新美 仁男 仁木 豊 羽倉 稜子 ☆橋詰 直孝 林 正紀
☆林 洋一 原 正雄 ☆平尾 紘一 平山 章 ☆藤田 芳邦 細谷 憲政
松浦 信夫 松田 文子 ☆丸山 博 丸山 博 三木 英司 水野 美淳
皆川 彰 ☆南 信明 村勢 敏郎 望月 峻成 本吉 光隆 矢島 義忠
山下亀次郎 ☆山田 幸男 結城 千草 吉田 尚

中部支部 32 名

秋山 俊夫 ☆井口 昭久 伊藤 清次 今村 文也 奥山 牧夫 ☆角田 博信
勝又 一夫 加藤 克己 加藤 讓 ☆鬼頭 柳三 ☆小林 正 佐古 伊康
柴田 昌雄 高桜 英輔 竹越 忠美 土田 勇 富田 明夫 ☆中井 継彦
☆中林 肇 ☆新実 光朗 仁木 厚 林 弘 廣岡 良文 馬淵 宏
三浦 清 三崎 盛治 三輪 梅夫 向野 栄 森本 眞平 安田 圭吾
☆山本 昌弘(安城更生病院) 吉見 輝也

近畿支部 46 名

青木 矩彦 秋田 茂夫 五十嵐哲也 池田 正毅 泉 寛治 市原紀久雄
一色 玄 稲田 満夫 老邨 宗忠 大澤 仲昭 ☆大槻 眞 奥野 巍一
☆鹿住 敏 門田 一郎 金綱 隆弘 金子 滋夫 ☆葛谷 英嗣 ☆倉八 博之
黒田 耕平 河野 典夫 近藤 元治 桜井 英雄 新光 毅 ☆清野 裕
関 淳一 谷口 洋 土井 邦紘 西川 和典 林 泰三 原納 優
福井 巖 福田 恒夫 伏見 尚子 星 充 楨林 親教 正木 清孝
☆松澤 佑次 松山 辰男 宮村 敬 宮本 義勝 ☆森寺邦三郎 森本 昌親
☆山本 雅規 八幡三喜男 横尾 定美 吉田 宗儀

会 報

中国・四国支部 23名

岩崎 皓一	大西 泰憲	☆岡崎 悟	☆岡田 奏二	河西 浩一	北室 文昭
木畑 正義	木村 浩	楠本 亨	斎藤 史郎	下村 董	☆武田 倬
田中 昭	☆田港 朝彦	近森 一正	坪井 修平	☆富長 将人	西田 聖幸
野間 興二	☆橋本 浩三	藤井 靖久	☆牧野 英一	☆松村 茂一	

九州支部 30名

☆赤澤 昭一	阿南 育男	石津 汪	☆石本祥二郎	☆大江 宣春	小串 俊雄
奥村 恂	☆小野 順子	☆梶原 敬三	城戸 菫爾	☆栗林 忠信	河野 泰子
児玉 嘉生	小寺 稔	小村 一寿	坂本 安弘	☆佐々木 悠	定永 竹志
佐藤 八郎	陣内 富男	高木良三郎	玉井 一	中野 昌弘	橋口 純
原口 義邦	細迫 有昌	松倉 茂	三宅清兵衛	☆山口 康平	若杉 英之

(合計 252 人)

☆：2011年5月就任

※お気付きの事がありましたら事務局までご連絡ください。